Canon

MP375R
ソフトウェアガイド

本書では、MP375R のことを「本機」と書きます。

目次

はじめに

本書について

本書は、Windows の基本的な使い方やパソコンを起動する方法を理解していることを前提に説明しています。ウィンドウ、ダイアログボックス、ポイント、ドラッグなどの一般的な Windows の用語については、説明していません。これらの用語については、Microsoft Windows の取扱説明書をご覧ください。

本書では、原則として Windows XP の画面を使っていますが、必要に応じて Windows2000/Me/98 の画面も掲載しています。お使いの環境によって画面が少し異なることがあります。ご了承ください。
Windows XP のコントロールパネルの操作は、「カテゴリの表示」での操作を掲載しています。

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

表記について

本書では、次のように表記しています。

[ ]	[ ] で囲んでいるものは、画面名、画面に表示される項目、ボタン名、メニューのコマンドです。メニュー名は [ ] で囲んでいません。
/（スラッシュ）	OS や機種名を併記するときに使います。 たとえば、Windows 2000 と Windows XP を、「Windows 2000/XP」と表記しています。
画面	ダイアログボックスは「画面」と表記しています。
本機	PIXUS MP375R を指します。
原稿	本機でコピーしたり読み込んだりする書類や写真、本などを指します。

商標について

Canon は、キヤノン株式会社の登録商標です。PIXUS、ScanGear、BJ、および、Bubble Jet は、キヤノン株式会社の商標です。
Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

略称について

本書に記載している名称は下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 98 および 98 Second Edition：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition：	Windows Me
Microsoft® Windows® 2000 Professional：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP Professional および Home Edition：	Windows XP
Microsoft® Word：	Word

お客様へのお願い

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。

本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどにお気づきの点がございましたら、最寄のお客様ご相談窓口までご連絡ください。

本機を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

出版物などからスキャンした文章や画像を自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられておりますので、ご注意ください。

本書以外の取扱説明書、ヘルプ

本書のほかに、次の取扱説明書やヘルプがあります。

オンラインヘルプ	プリンタドライバの画面や操作手順の説明をパソコンで見ることができます。
セットアップガイド	はじめてお使いになるときは、必ずお読みください。 本機をご購入後、開梱、設置、取り付けからご利用になるまでに必要な説明が記載されています。
基本操作ガイド	コピー、写真プリント、パソコンを使った印刷やスキャンの操作、日常のお手入れ、および困ったときの対処方法など、本機をお使いいただく上で基本となる操作と機能について説明しています。

1

1 セットアップ

使うための準備をする

1章 セットアップ（使うための準備をする）

必要な機器・ソフトウェア

ソフトウェアをインストールして使うためには、次のような機器およびソフトウェアが必要です。

パソコン

IBM PC/AT 互換機

その他のソフトウェア

Internet Explorer 4.01 以降（Service Pack 2 以降）

重要

無線 LAN 接続の場合、MP ドライバをインストールする前に、Internet Explorer の設定が［オフライン作業］になっていないことを確認してください。［オフライン作業］になっているとインストールが正常に行えないことがあります。

ハードディスク

空き容量 70MB 以上（200MB 以上を推奨）
MP ドライバインストール時：55MB 以上の空き容量
MP Toolbox インストール時：15MB 以上の空き容量

CD-ROM ドライブ

単独、またはネットワーク接続を介してアクセスできる CD-ROM ドライブ

モニタ

256 色 SVGA 以上のモニタ（High Color 以上を推奨）

無線 LAN インタフェース

WiFi 認定 IEEE802.11b 準拠の無線 LAN カード / アダプタ
インフラストラクチャモードで使用する場合は、WiFi 認定 IEEE802.11b 準拠または IEEE802.11a/b/g（混合モード）の無線アクセスポイント

オペレーションシステム（OS） ※日本語版のみ対応	CPU	必要なメモリ容量
Microsoft Windows 98	Pentium / Celeron 233MHz プロセッサ以上 （300MHz 以上を推奨）	64 MB 以上 （128 MB 以上を推奨）
Microsoft Windows Me		
Microsoft Windows 2000 Professional （Service Pack 3 以降）	Pentium / Celeron 566MHz プロセッサ以上	128 MB 以上 （256 MB 以上を推奨）
Microsoft Windows XP Professional/Home Edition （Service Pack 1 以降）		

USB インタフェース

USB1.1 と USB2.0 に対応しています。

●USB2.0 Hi-Speed で使用する場合：

本機には USB2.0 Hi-Speed 対応のコネクタが装備されています。Hi-Speed モードは大幅に通信速度を向上させた高速 USB モードです。ただし、使用する環境が USB2.0 Hi-Speed に対応している必要があります。USB2.0 Hi-Speed でご使用の場合は、USB2.0 Hi-Speed インタフェースが標準で装備されているパソコンと接続してください。

USB ケーブルは USB2.0 対応のケーブル（市販品）を使用してください。

<table>
<tr><th>オペレーションシステム（OS）
※日本語版のみ対応</th><th>CPU</th><th>必要なメモリ容量</th></tr>
<tr><td>Microsoft Windows 2000 Professional
(Service Pack 4 以降)</td><td rowspan="2">Pentium / Celeron
566MHz プロセッサ以上</td><td rowspan="2">128 MB 以上
(256 MB 以上を推奨)</td></tr>
<tr><td>Microsoft Windows XP Professional/Home Edition
(Service Pack 1 以降)</td></tr>
</table>

参考

- USB 2.0 Hi-Speedインタフェースを標準装備したパソコンのすべての動作を保証するものではありません。最新情報については、キヤノン ピクサス ホームページを参照してください。
- USB2.0 Hi-Speed インタフェースは USB Full-Speed(USB1.1 相当)に完全上位互換ですので、USB Full-Speed（USB1.1 相当）としてもご使用いただけます。
- 自作 PC、ショップブランド PC では動作しない場合があります。
- Windows 2000 でご利用いただくためには、Windows 2000 に Service Pack 4 以降がインストールされている必要があります。
- Windows XPでご利用いただくためには、Windows XPにService Pack 1以降がインストールされている必要があります。

●USB Full-Speed（USB1.1）相当で使用する場合：

USB Full-Speed で使用する場合は、パソコンが次の条件を満たしている必要があります。USB ケーブルは長さ５メートル以内の USB-IF 認定の USB ケーブル（市販品）を使用してください。

<table>
<tr><th>オペレーションシステム（OS）
※日本語版のみ対応</th><th>CPU</th><th>必要なメモリ容量</th></tr>
<tr><td>Microsoft Windows 98</td><td rowspan="3">Pentium / Celeron
233MHz プロセッサ以上
(300MHz 以上を推奨)</td><td rowspan="4">64 MB 以上
(128 MB 以上を推奨)</td></tr>
<tr><td>Microsoft Windows Me</td></tr>
<tr><td>Microsoft Windows 2000 Professional
(Service Pack 1 以降)</td></tr>
<tr><td>Microsoft Windows XP Professional/Home Edition</td><td>Pentium / Celeron
300MHz プロセッサ以上</td></tr>
</table>

重要

パソコンに本機を接続して印刷または画像を読み込んでいるときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに、次のことをしないでください。

– USB ケーブルの抜き差し

– 無線 LAN カード / アダプタの取り外し

– 無線アクセスポイントの設定変更または停止

Windows 2000/XP 使用時のユーザ権限について

Windows 2000 にソフトウェアをインストールするときは、Administrator としてログオンするか、Administrator 権限が必要です。
Windows XP にソフトウェアをインストールするときは、管理者としてログオンする必要があります。
使用時は、Users 権限以上のユーザでログオンしてください。

参考

パソコンにソフトウェアをインストールしたり、ユーザの種類を管理する権限を、Administrator と呼びます（Windows XP では、管理者と呼ぶこともあります）。

Service Pack について

Service Pack とは、Windows 自体のトラブルを修正するためのプログラムで、Microsoft 社から提供されています。
Service Pack の入手方法は、Microsoft 社にお問い合わせください。

参考

パソコンにどの Service Pack がインストールされているかは、次の方法で確認できます。

1.［マイ コンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］を選択します。
2.［システム］に現在インストールされている Service Pack が表示されます。

パソコンとの接続とソフトウェアのインストール

ここでは、本機を使って印刷やスキャンを行うときに必要なソフトウェアのインストール方法について説明します。次のようなソフトウェアを、お使いのパソコンのハードディスク上にインストールします。

MP ドライバ

MP ドライバをインストールすると、印刷したり原稿を読み込んだりすることができます。
無線 LAN 接続の場合は、MP ドライバ以外に MP Network Utility も同時にインストールされます。MP Network Utility を使うと、無線ネットワーク上にある本機の状態確認や設定変更などをパソコン上で行うことができます。

MP Toolbox

簡単な操作でパソコンに原稿を読み込むためのソフトウェアです。

アプリケーションソフトウェア

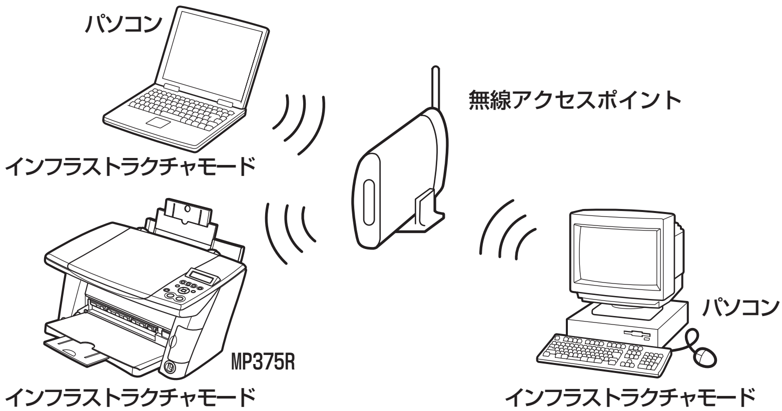
本機と組み合わせて使用する便利なアプリケーションソフトウェアです。

さまざまな接続方法

お使いのパソコンに無線 LAN カード / アダプタが装着されている場合、本機とパソコンを無線ネットワークで接続することができます。また、本機とパソコンを USB ケーブルで直接接続することもできます。
設定の方法は、無線ネットワークの種類によって異なります。また、USB 接続の場合も設定の方法が異なります。
設定をはじめる前に、次の 3 つのうちどの接続方法を使用するかを確認してください。

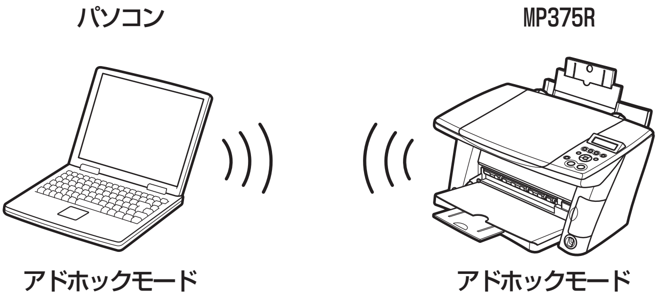
インフラストラクチャモード

インフラストラクチャの無線ネットワークでは、すべての通信が無線アクセスポイントを介して行われます。無線アクセスポイントは、WiFi 認定 IEEE802.11b または IEEE 802.11a/b/g（混合モード）に対応している必要があります。
本機をはじめて使うときは、インフラストラクチャモードのネットワークに適した設定になっており、このモードでの設定を推奨します。→「無線 LAN の設定」



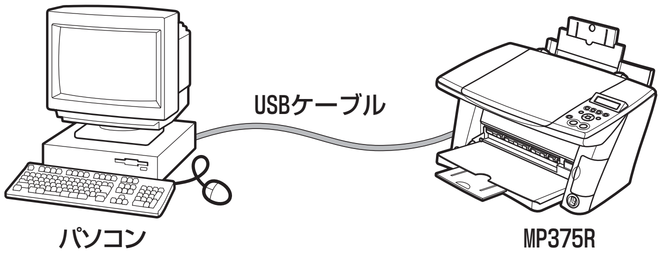
アドホックモード

アドホックの無線ネットワークでは、無線アクセスポイントを介さずにパソコンと本機が直接通信を行います。→「無線 LAN の設定」



USB ケーブルで直接接続する

本機とパソコンを USB ケーブルで直接接続します。→「USB 接続の場合のインストール」



無線 LAN の設定

無線 LAN 接続の設定は、次のフロー図の順に進めます。

参考

- USB 接続で使用する場合は、事前に設定する必要はありません。「USB 接続の場合のインストール」へ進んでください。→「USB 接続の場合のインストール」
- 本機と複数のパソコンを接続して使用する場合は、本機の設定をそれぞれ行う必要はありません。2 台目以降のパソコンは、1 台目のパソコンと同じように無線の設定をして、ソフトウェアのインストールをしてください。

開始

接続方法の確認

・接続するネットワークの種類を確認する。
・IP アドレスの割り当て方法を確認する。
・セキュリティ設定を確認する。

「インフラストラクチャモード」か「アドホックモード」を選ぶ

「DHCP」か「固定 IP アドレス」を選ぶ

セキュリティを使用するかどうかを確認する（インフラストラクチャモードのみ）

本機の電源を入れる

インストールする前の準備

無線 LAN カード / アダプタまたは無線アクセスポイントの設定を確認し、必要に応じて本機の操作パネルで設定を行います。

→「ファイアウォールの設定」
→「無線ネットワークの準備」
→「本機の準備」
→「無線 LAN 接続を確認する」

ソフトウェアをインストールする

印刷やスキャンを行うときに必要なソフトウェアをインストールします。MP ドライバをインストールすると、自動的に本機との接続が確立します。すべての設定が終了したあと、テストプリントを実行し、本機の動作確認を行います。

→「MP ドライバをインストールする」
→「MP Toolbox をインストールする」
→「アプリケーションをインストールする」
→「テストプリントをする」

終了

接続方法の確認

本機をはじめて使うときは、インフラストラクチャモードに設定されており、DHCP サービスを使用するネットワークでの使用を前提とした設定で出荷されます。また、セキュリティは設定されていません。
それ以外のネットワークを設定するには、ソフトウェアをインストールする前に本機の操作パネルの設定が必要です。
次の項目を確認してください。

参考

設定したあとでも、必要に応じて本機の無線ネットワークの設定を、MP Network Utility コンソールを使って変更することができます。→「MP Network Utility コンソールでできること」

「インフラストラクチャモード」か「アドホックモード」を選ぶ

本機をはじめて使うときは、インフラストラクチャモードのネットワークに適した設定になっており、このモードでの設定を推奨します。インフラストラクチャモードでは、WiFi 認定 IEEE802.11b または IEEE802.11a/b/g（混合モード）に対応している無線アクセスポイントが必要です。
アドホックモードは、無線アクセスポイントを必要としません。このモードを使用するには、本機の操作パネルの設定が必要です。

「DHCP」か「固定 IP アドレス」を選ぶ

ネットワーク機器に自動的に IP アドレスを割り当てる機能を DHCP サービスと呼びます。無線アクセスポイント機能付きブロードバンドルータの多くはこの機能を持っています。
本機をはじめて使うときは、DHCP サービスを使用するネットワークでの使用を前提とした設定になっています。
インフラストラクチャモードのネットワークで、パソコンや無線アクセスポイントに固定 IP アドレスを設定している場合、本機にも固定 IP アドレスを設定する必要があります。ソフトウェアをインストールする前に本機の操作パネルで設定してください。
アドホックモードの場合、パソコンが IP アドレスを自動取得する設定になっていれば、本機も自動的に IP アドレスを取得します。パソコンが固定 IP アドレスを使用している場合、ソフトウェアをインストールする前に本機にも固定 IP アドレスを設定してください。

セキュリティを使用するかどうかを確認する

本機をはじめて使うときは、セキュリティ機能を使用しないネットワークでの使用を前提とした設定になっています。
インフラストラクチャネットワークの無線アクセスポイントでセキュリティを使用する場合は、ソフトウェアをインストールする前に、本機の操作パネルでセキュリティモードを選び、暗号化キーを設定してください。

参考

- アドホックモードではセキュリティは設定できません。
- 本機は WEP 機能のうち、64bit/128bit で、オープンシステムの WEP キーのみ、また WEP キーインデックス「1」のみ対応しています。それ以外の設定がされた WEP キーは使用できません。詳しくは無線アクセスポイントや無線 LAN カード / アダプタの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は WPA 機能のうち、事前共有キーを設定する PSK（Pre-Shared Key）方式および暗号化方式として TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）に対応しています。それ以外の設定がされた WPA 機能は使用できません。詳しくは無線アクセスポイントや無線 LAN カード / アダプタの取扱説明書をご覧ください。

- セキュリティとして WPA-PSK（TKIP）機能を使うには、次のようなオペレーションシステム（OS）の環境が必要です。「サポート修正プログラム」の入手方法は、Microsoft 社にお問い合わせください。→「Service Pack について」

オペレーションシステム（OS）		必要な他のプログラム
Microsoft Windows 98		お使いの無線 LAN カード / アダプタの取扱説明書をご覧ください。また、メーカーサイトで最新の情報を確認してください。
Microsoft Windows Me		
Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack 3 以降）		
Microsoft Windows XP Professional/Home Edition	Service Pack 1	「サポート修正プログラム」またはメーカー提供のプログラムをインストールする必要があります。
	Service Pack なし	Service Pack 1 を適用し、「サポート修正プログラム」またはメーカー提供のプログラムをインストールする必要があります。

インストールする前の準備

ソフトウェアをインストールする前に、ネットワークと本機の設定を確認し、無線 LAN 接続が確立されていることを確認してください。

ファイアウォールの設定

ファイアウォール（パーソナルファイアウォール）ソフトウェア、または Windows XP のインターネット接続ファイアウォール（ICF）がオンになっている無線 LAN 環境では、パソコンからの本機のセットアップがうまくできない、または使用できなくなる場合があります。
ファイアウォールをオンのまま使用する場合は、サービス設定（ポートの設定）が必要です。
ファイアウォールがオフの場合は、特に設定は必要ありません。

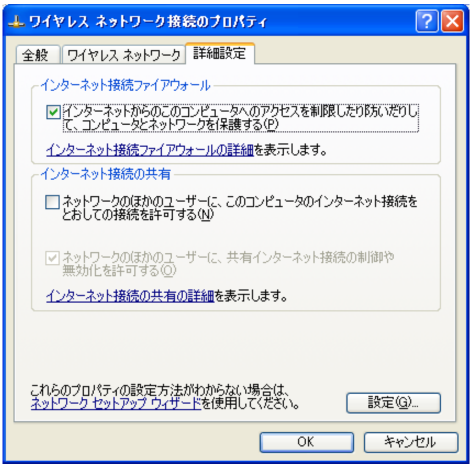
重要

- **Windows XP をお使いの場合は、オンになっている可能性もありますので、必ずインターネット接続ファイアウォール（ICF）の設定を確認してください。**
- **ファイアウォール（パーソナルファイアウォール）ソフトウェアはお使いのパソコンにあらかじめインストールされている場合がありますので、パソコンの取扱説明書をご覧ください。**

Windows XP のインターネット接続ファイアウォール（ICF）の設定を確認する

ここでは Windows XP のインターネット接続ファイアウォール（ICF）の設定を確認する手順を説明します。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロール パネル］→［ネットワークとインターネット接続］→［ネットワーク接続］をクリックし、［ワイヤレス ネットワーク接続］を右クリックして、［プロパティ］をクリックします。



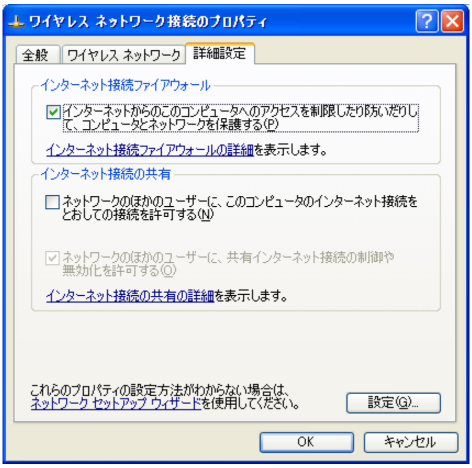
2 [詳細設定] タブで、[インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり防いだりして、コンピュータとネットワークを保護する] という項目にチェックマークが付いているかどうか確認してください。

チェックマークが付いている場合は、インターネット接続ファイアウォール（ICF）がオンになっています。続けてサービス設定（ポートの設定）をしてください。

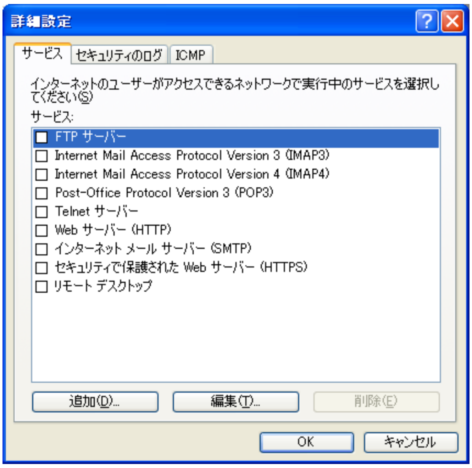
チェックマークが付いていない場合は、サービス設定（ポートの設定）は必要ありません。

サービス設定（ポートの設定）をする

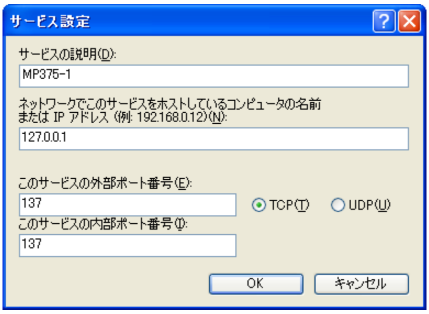
ここでは本機と通信するポートを開く手順を説明します。



1 [ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ] 画面で [設定] をクリックします。

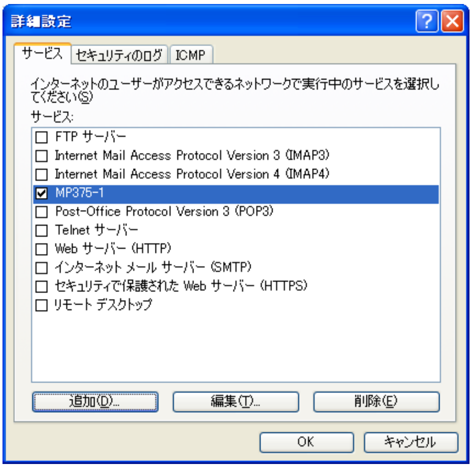


2 ［追加］をクリックし、画面にしたがって項目を入力します。



3 以下の表の（Ⅰ）行のサービス定義を入力し、［OK］をクリックします。

	サービスの説明	IP アドレス	外部／内部ポート番号	プロトコル
（Ⅰ）	MP375-1	127.0.0.1	137	TCP
（Ⅱ）	MP375-2	127.0.0.1	137	UDP
（Ⅲ）	MP375-3	127.0.0.1	138	UDP
（Ⅳ）	MP375-4	127.0.0.1	139	TCP
（Ⅴ）	MP375-5	127.0.0.1	1900	UDP
（Ⅵ）	MP375-6	127.0.0.1	30310	TCP
（Ⅶ）	MP375-7	127.0.0.1	30323	TCP
（Ⅷ）	MP375-8	127.0.0.1	30336	TCP
（Ⅸ）	MP375-9	127.0.0.1	30349	TCP



4 [詳細設定] 画面で、設定したサービス定義が追加されていて、チェックマークがついているかどうか確認してください。

5 手順 2 から 4 を繰り返し、14 ページの表の（Ⅱ）行から（Ⅸ）行のサービス定義（8 個）すべてを入力します。



6 全て入力し終わったら［OK］をクリックします。

ポートの設定が完了しました。

インターネット接続ファイアウォール（ICF）以外のファイアウォール（パーソナルファイアウォール）ソフトウェアを設定する

以下の表を参照して、パソコンから本機へのアクセスに必要なポートを開いてください。
お使いのブロードバンドルータなどの DHCP サービスを使用して、パソコンと本機に IP アドレスを自動的に割り当てている場合、ファイアウォール（パーソナルファイアウォール）ソフトウェアで、DHCP サービスが割り当てる IP アドレスの範囲に対し、ポートを開いてください。
詳細な設定手順は、ファイアウォール（パーソナルファイアウォール）ソフトウェアによって異なりますので、それぞれのソフトウェアの取扱説明書またはキヤノンホームページ（http://cweb.canon.jp/bj/support/mp375r）をご覧ください。

外部／内部ポート番号	プロトコル
137	TCP
137	UDP
138	UDP
139	TCP
1900	UDP
30310	TCP
30323	TCP
30336	TCP
30349	TCP

無線ネットワークの準備

ここでの説明は、無線 LAN カード / アダプタがパソコンに装着されていることを前提としています。詳しくは、無線 LAN カード / アダプタの取扱説明書をご覧ください。

1 次のいずれかのことを確認してください。

DHCP サービスを使用する場合：

○ DHCP サービスが動作していることを確認してください。確認手順は、DHCP サービスがどのように供給されるかによって異なります。無線アクセスポイントから供給されている場合は、無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。それ以外の場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

固定 IP アドレスを使用する場合：

○ 本機に設定する IP アドレスを確認してください。

参考

固定 IP アドレスを使用する場合、IP アドレスとサブネットマスクは、無線アクセスポイントやパソコンと同じネットワークになるような値である必要があります。例えば、ネットワークで使用している IP アドレスが XXX.XXX.XXX.YYY の場合、無線アクセスポイントとパソコンの IP アドレスも XXX.XXX.XXX の部分を同じに設定してください。サブネットマスクは、XXX.XXX.XXX の部分をそれぞれ「255」に設定（255.255.255.0）してください。

2 パソコンと無線アクセスポイントの接続を確認します。（インフラストラクチャモードのみ）

■無線アクセスポイントが、接続されている機器との無線通信が可能な範囲内（屋内 50m 以内）に設置されていることを確認してください。

■無線アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。

■無線アクセスポイントに MAC アドレスフィルタリングが設定されている場合は、解除または追加登録してください。

■SSID（ESSID）と、セキュリティを使用する場合はセキュリティモードと暗号化 キーを確認してください。

■無線アクセスポイントで SSID（ESSID）を非通知にする機能（ステルス SSID）が有効になっている場合は、無線アクセスポイントの SSID（ESSID）と MAC アドレスを確認するか、機能を無効にしてください。

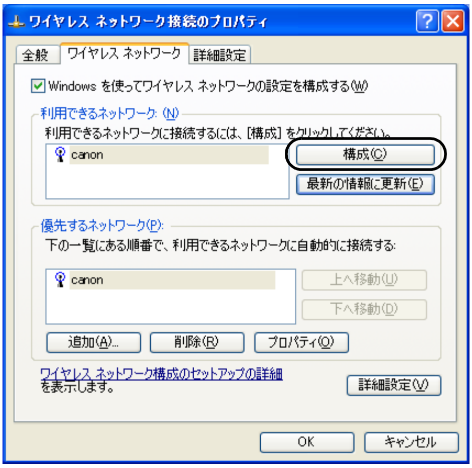
詳しくは、無線アクセスポイントと無線 LAN カード / アダプタの取扱説明書をご覧ください。

参考

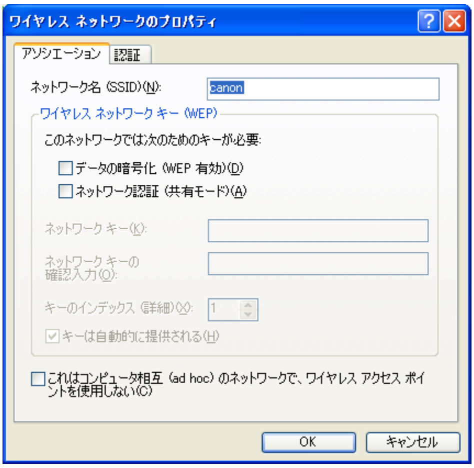
- 本機の無線 LAN カードの MAC アドレスは、カードの裏面に記載されています。
- 通信距離は、通信速度及び環境条件により異なります。

パソコンの設定例：Windows XP

タスクバーの［スタート］ボタンから、［コントロール パネル］→［ネットワークとインターネット接続］→［ネットワーク接続］をクリックし、［ワイヤレス ネットワーク接続］を右クリックして、［プロパティ］をクリックします。［ワイヤレス ネットワーク］タブをクリックし、無線アクセスポイントの SSID（ESSID）を選び、［構成］をクリックします。



↓



セキュリティを使用する場合は、無線アクセスポイントと同じセキュリティモードの暗号化キーを設定します。

参考

Windows 98/Me/2000 での設定方法については、お使いの無線アクセスポイントと無線 LAN カード / アダプタの取扱説明書をご覧ください。

本機の準備

1 無線 LAN ユニットの USB ケーブルが本機に正しく接続されていることを確認してください。→『セットアップガイド』

2 本機の設置場所を確認してください。

インフラストラクチャモードの場合：

○ 無線アクセスポイントと通信できる範囲内に設置してください。

アドホックモードの場合：

○ パソコンと通信できる範囲内に設置してください。

参考

遮断物がない電波状況の良好な場所に設置してください。

3 本機に無線 LAN カードが正しく装着されており、電源が入っていることを確認してください。→『セットアップガイド』

4 ネットワークの設定に応じて、本機の操作パネルから次の設定を行ってください。

参考

- 操作パネルの設定がされていない場合、MP ドライバのインストール中に設定を促す画面が表示されます。
- 本機の現在のネットワーク設定を印刷して確認することができます。→「無線 LAN レポートを印刷する」

アドホックモードを使用する場合：

○ 操作パネルで本機をアドホックモードに設定してください。→「インフラストラクチャモードまたはアドホックモードを選ぶ」

固定 IP アドレスを使用する場合：

○ 本機の IP アドレスとサブネットマスクを設定してください。→「IP アドレスを設定する」

セキュリティを使用する場合（インフラストラクチャモードのみ）：

○ 無線アクセスポイントで使用しているものと同じセキュリティモードの暗号化キーを本機に設定してください。
→「インフラストラクチャモードまたはアドホックモードを選ぶ」
→「無線アクセスポイントを設定する」
→「セキュリティを設定する」

近くに別の無線アクセスポイントがある場合、無線アクセスポイントで SSID（ESSID）を非通知にする機能（ステルス SSID）が有効になっている場合：

○ 無線アクセスポイントの SSID（ESSID）を手動で選択または入力してください。
→「インフラストラクチャモードまたはアドホックモードを選ぶ」
→「無線アクセスポイントを設定する」

無線 LAN 接続を確認する

1 本機の無線LANユニットのStatusランプが点滅していれば、点灯するまで待ちます。

Link Quality、WLAN、Power の各ランプが点灯すれば、正常に接続されています。

2 パソコンで無線 LAN 接続を確認します。

確認手順は、パソコンの環境や無線 LAN カード / アダプタの種類によって異なります。詳しくは、無線アクセスポイントと無線 LAN カード / アダプタの取扱説明書をご覧ください。

例）Windows XP

タスクバーの［スタート］ボタンから、［コントロール パネル］→［ネットワークとインターネット接続］→［ネットワーク接続］をクリックし、［ワイヤレス ネットワーク接続］を右クリックして、［状態］をクリックすると、無線 LAN 接続の状態が表示されます。



参考

接続できない場合は、『基本操作ガイド』の「第 11 章 困ったときには」を参照してください。

アドホックモードの手動設定：

アドホックモードの場合、無線 LAN カード / アダプタの種類によっては、手動設定が必要になることがあります。その場合は、パソコンの無線 LAN カード / アダプタを、次のように設定してください。詳しくは、無線 LAN カード / アダプタの取扱説明書をご覧ください。

■アドホックモードに設定してください。

■チャネルの設定が必要な場合は 6 に設定してください。Windows XP をお使いの場合はパソコンが自動的にチャネルを設定します。

■固定 IP アドレスを使用しない場合は、TCP/IP の設定を［IP アドレスを自動的に取得する］に設定してください。

■セキュリティ機能が無線 LAN カード / アダプタに設定されていないことを確認してください。

■本機の SSID（ESSID）と同じ SSID（ESSID）を設定してください。無線 LAN カード / アダプタの種類によっては、SSID（ESSID）を自動的に検出することができます。

参考

SSID（ESSID）は、無線 LAN レポートを印刷して確認することができます。→「無線 LAN レポートを印刷する」

また、次の方法で確認することもできます。

1. 本機の無線 LAN カードの本体ラベルに印刷されている MAC アドレスを確認します。
2. 「mp375 ＋ MAC アドレスの後ろ 6 文字」が SSID（ESSID）になります。すべて小文字で設定します。
   例えば、MAC アドレスが "11.22.33.44.55.66" の場合、SSID（ESSID）は "mp375445566" になります。

ソフトウェアをインストールする

本書の次の項を参照してください。

→「MP ドライバをインストールする」
→「MP Toolbox をインストールする」
→「アプリケーションをインストールする」

本機の設定

ここでは、本機の無線 LAN の設定について説明します。
次のようなときに、本機の操作パネルでの設定が必要になります。それ以外の場合は、「MP ドライバをインストールする」へ進んでください。→「MP ドライバをインストールする」

●アドホックモードで接続するとき
●固定 IP アドレスを割り当てるとき
●無線アクセスポイントにセキュリティが設定されているとき
●近くに複数の無線アクセスポイントがあるとき、または無線アクセスポイントで SSID を非通知にする機能（ステルス SSID）が設定されているとき

インフラストラクチャモードまたはアドホックモードを選ぶ

1 [ユーザモード] を押します。

ﾕｰｻﾞ ﾃﾞ ｰﾀ
1.ｲﾝｸ ｻﾞ ﾝﾘｮｳ

2 [◀] か [▶] で、〈7. ムセン LAN セッテイ〉を選びます。

ﾕｰｻﾞ ﾃﾞ ｰﾀ
7.ﾑｾﾝLANｾｯﾃｲ

3 [セット] を押します。

ﾑｾﾝLANｾｯﾃｲ
1.SSIDｦ ｾﾝﾀｸ

4 [セット] を押します。

ﾑｾﾝLAN ﾓｰﾄﾞ
◀*ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄﾍ ｾﾂｿﾞｸ▶

5 [◀] か [▶] で、〈アクセスポイントへ セツゾク〉または〈PC へ セツゾク(アドホック)〉を選びます。

アクセスポイントへ セツゾク： 本機をインフラストラクチャモードに設定します。
PC へ セツゾク（アドホック）： 本機をアドホックモードに設定します。

6 [セット] を押します。

7 次のいずれかの操作を行います。

〈アクセスポイントヘ セツゾク〉を選択したとき：

○ 無線アクセスポイントを設定します。→「無線アクセスポイントを設定する」

〈PC ヘ セツゾク（アドホック）〉を選択したとき：

本機の SSID（ESSID）がしばらく表示されたあと、IP アドレスの設定画面が表示されます。

SSID mp375445566	→	ムセンLANセッテイ 2.IP セッテイ

○［ストップ／リセット］を押して終了します。

無線アクセスポイントを設定する

インフラストラクチャモードを選ぶ（→「インフラストラクチャモードまたはアドホックモードを選ぶ」）と、本機は接続されている無線アクセスポイントを検索します。

無線アクセスポイントが見つかったとき：

1 ［◀］か［▶］で、無線アクセスポイントの SSID（ESSID）を選びます。

例：

SSIDヲ センタク 1.CANON (1122334455

2 ［セット］を押します。

3 次のいずれかの操作を行います。

無線アクセスポイントにセキュリティが設定されている場合：

○ セキュリティを設定します。→「セキュリティを設定する」の手順 2

無線アクセスポイントにセキュリティが設定されていない場合：

○ ［ストップ／リセット］を押して終了します。または続けて IP アドレスを設定することもできます。→「IP アドレスを設定する」の手順 4

無線アクセスポイントが見つからなかったとき：

```
SSIDヲ センタク
        ベツノ SSIDセッテイ
```

1 ［セット］を押します。

```
SSID
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
```

2 無線アクセスポイントで設定されている SSID（ESSID）を入力します。

→「操作パネルで文字を入力する」

参考

SSID（ESSID）を入力する場合は、大文字と小文字を区別して入力してください。

3 ［セット］を押します。

```
MAC アドレス
000000000000
```

4 無線アクセスポイントで設定されている MAC アドレスを「0」～「9」および「a」～「f」までの英数字で入力します。→「操作パネルで文字を入力する」

参考

- MAC アドレスは通常、無線アクセスポイントの底面や背面に記載されています。詳しくは無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
- MAC アドレスを入力する場合、英大文字は使用できませんが、大文字と小文字を区別する必要はありません。

5 ［セット］を押します。

セキュリティ　モード
◀　ミシヨウ　▶

6 次のいずれかの操作を行います。

無線アクセスポイントにセキュリティが設定されている場合：

○ セキュリティを設定します。→「セキュリティを設定する」の手順 2

無線アクセスポイントにセキュリティが設定されていない場合：

○〈ミシヨウ〉が表示されていることを確認し、［セット］を押します。

○［ストップ／リセット］を押して終了します。または続けて IP アドレスを設定することもできます。→「IP アドレスを設定する」の手順 4

セキュリティを設定する

無線アクセスポイントにセキュリティが設定されている場合、本機にもセキュリティを設定する必要があります。無線アクセスポイントを設定（→「無線アクセスポイントを設定する」）したあと、セキュリティを設定することができます。

参考

- インフラストラクチャモードで無線アクセスポイントを設定したあと、セキュリティを設定する必要がない場合、この手順は自動的に省かれます。
- 本機は WEP 機能のうち、64bit/128bit で、オープンシステムの WEP キーのみ、また WEP キーインデックス「1」のみ対応しています。それ以外の設定がされた WEP キーは使用できません。詳しくは無線アクセスポイントや無線 LAN カード / アダプタの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は WPA 機能のうち、事前共有キーを設定する PSK（Pre-Shared Key）方式および暗号化方式として TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）に対応しています。それ以外の設定がされた WPA 機能は使用できません。詳しくは無線アクセスポイントや無線 LAN カード / アダプタの取扱説明書をご覧ください。

- セキュリティとして WPA-PSK (TKIP) 機能を使うには、次のようなオペレーションシステム（OS）の環境が必要です。「サポート修正プログラム」の入手方法は、Microsoft 社にお問い合わせください。→「Service Pack について」

<table>
<tr><th colspan="2">オペレーションシステム（OS）</th><th>必要な他のプログラム</th></tr>
<tr><td colspan="2">Microsoft Windows 98</td><td rowspan="3">お使いの無線 LAN カード / アダプタの取扱説明書をご覧ください。また、メーカーサイトで最新の情報を確認してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Microsoft Windows Me</td></tr>
<tr><td colspan="2">Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack 3 以降）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Microsoft Windows XP Professional/Home Edition</td><td>Service Pack 1</td><td>「サポート修正プログラム」またはメーカー提供のプログラムをインストールする必要があります。</td></tr>
<tr><td>Service Pack なし</td><td>Service Pack 1 を適用し、「サポート修正プログラム」またはメーカー提供のプログラムをインストールする必要があります。</td></tr>
</table>

1 無線アクセスポイントを設定します。

→「インフラストラクチャモードまたはアドホックモードを選ぶ」
→「無線アクセスポイントを設定する」

例：
```
セキュリティ モード
◀  WEPキー （64bit）  ▶
```

2 [◀] か [▶] で、セキュリティモードを選びます。

WEP キー（64bit）：　セキュリティとして WEP 機能を使用し、キー長を 64bit に設定します。

WEP キー（128bit）：セキュリティとして WEP 機能を使用し、キー長を 128bit に設定します。

WPA-PSK（TKIP）：　セキュリティとして WPA-PSK （TKIP）を設定します。

3 [セット] を押します。

4 暗号化キーを入力します。→「操作パネルで文字を入力する」

〈WEP キー（64bit）〉を選択したとき：

○ WEP キーは 16 進数でのみ入力できます。10 桁の「0」～「9」および「a」～「f」までの英数字で入力します。

例：
```
WEPキー （64bit）
0000000000
```

〈WEP キー（128bit)〉を選択したとき：

○ WEP キーは 16 進数でのみ入力できます。26 桁の「0」～「9」および「a」～「f」までの英数字で入力します。

例：
```
WEPキー （128bit）
0000000000000000000000
```

〈WPA-PSK（TKIP)〉を選択したとき：

○ 暗号化キーは文字列でのみ入力できます。8 ～ 63 文字の文字列で入力します。英大文字、英小文字、記号、数字が使用できます。

例：
```
WPA-PSK （TKIP）
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
```

5 ［セット］を押します。

6 ［ストップ／リセット］を押して終了します。または続けて IP アドレスを設定することもできます。→「IP アドレスを設定する」の手順 4

IP アドレスを設定する

DHCP サービスが使用できない場合や、無線アクセスポイントやパソコンに固定 IP アドレスを使用している場合、本機にも固定 IP アドレスを設定する必要があります。

重要

無線アクセスポイントやパソコンと同じネットワークのIPアドレスを登録してください。例えば、ネットワークで使用している IP アドレスが XXX.XXX.XXX.YYY の場合、無線アクセスポイントとパソコンの IP アドレスも XXX.XXX.XXX の部分を同じに設定してください。サブネットマスクは、XXX.XXX.XXX の部分をそれぞれ「255」に設定（255.255.255.0）してください。

1 ［ユーザモード］を押します。

2 ［◀］か［▶］で、〈7. ムセン LAN セッテイ〉を選びます。

3 ［セット］を押します。

4 ［◀］か［▶］で、〈2. IP セッテイ〉を選びます。

```
ムセンLANセッテイ
 2.IP セッテイ
```

5 [セット] を押します。

```
IPアドレス ジドウシュトク
◀     *スル (DHCP)     ▶
```

6 [◀] か [▶] で、〈スル (DHCP)〉または〈シナイ (STATIC IP)〉を選びます。

スル (DHCP) : DHCP サービスから IP アドレスを自動的に取得します。
シナイ (STATIC IP) : 固定 IP アドレスを使用します。

7 [セット] を押します。

8 次のいずれかの操作を行います。

〈スル (DHCP)〉を選択した場合：

○ [ストップ／リセット] を押して終了します。

〈シナイ (STATIC IP)〉を選択した場合：

○ 手順 9 に進みます。

9 本機の IP アドレスを入力します。→「操作パネルで文字を入力する」

各区切りの先頭の数値は「0」「1」「2」のいずれかしか入力できません。その他の数値は「0」～「9」までの数値が入力できます。

```
IP アドレス
000.000.000.000
```

10 [セット] を押します。

11 サブネットマスクを入力します。→「操作パネルで文字を入力する」

各区切りの先頭の数値は「0」「1」「2」のいずれかしか入力できません。その他の数値は「0」～「9」までの数値が入力できます。

```
ｻﾌﾞ ﾈｯﾄﾏｽｸ
255.255.255.000
```

12 ［セット］を押します。

13 ［ストップ／リセット］を押して終了します。

無線 LAN レポートを印刷する

本機の現在のネットワーク設定を確認したい場合、無線 LAN レポートを印刷します。無線 LAN レポートには、本機に設定されている SSID（ESSID）や IP アドレス、MAC アドレス、セキュリティモードなどの情報が印刷されます。

1 ［ユーザモード］を押します。

2 ［◀］か［▶］で、〈7. ムセンLANセッテイ〉を選びます。

3 ［セット］を押します。

4 ［◀］か［▶］で、〈3. ムセンLAN レポート〉を選びます。

```
ﾑｾﾝLANｾｯﾃｲ
 3.ﾑｾﾝLAN ﾚﾎﾟｰﾄ
```

5 ［セット］を押します。

本機から無線 LAN レポートが出力されます。

操作パネルで文字を入力する

文字を入力するとき：

○ ［モノクロスタート］か［カラースタート］で、文字を選択し、［セット］を押します。

［モノクロスタート］

9、8、7、・・・0、記号、Z、Y、X、・・・A、z、y、x、・・・a

［カラースタート］

a、b、c、・・・z、A、B、C、・・・Z、記号、0、1、2、・・・9

押し続けると、早く進みます。

入力した文字を変更するとき：

○ ［◀］か［▶］で、変更したい文字の下にカーソルを移動させ、［モノクロスタート］か［カラースタート］で文字を入力します。

文字の入力操作を終了するとき：

○ ［セット］を押します。

MP ドライバをインストールする



印刷したり原稿を読み込んだりするために、お使いのパソコンのハードディスク上に MP ドライバをインストールします。

重要

- ソフトウェアのインストール中に本機の電源を切ったり入れたりしないでください。故障する恐れがあります。

- パソコンに古い MultiPASS Suite がインストールされているときは、これらを削除してから、インストールしてください。
- Windows 2000/XP にインストールするときは、Administrator または管理者としてログオンするか、Administrator 権限が必要です。

1 セットアップ CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

［MP375R 無線 LAN セットアップ］画面が表示されます。



この画面が表示されないときは、デスクトップの［マイ コンピュータ］にある CD-ROM のアイコン（Windows XP のときは、タスクバーの［スタート］ボタンから、［マイ コンピュータ］にある CD-ROM のアイコン）を開き、そこに表示された［Setup (Setup.exe)］をダブルクリックします。

ローカルドライブかネットワークドライブにソフトウェアのコピーがあるときは、セットアップ CD-ROM を使わずに、コピー先の［Setup (Setup.exe)］をダブルクリックします。

重 要

本機の無線 LAN ユニットの Status ランプが点灯または点滅していないことを確認してください。
→『基本操作ガイド』（「第 11 章　困ったときには」）

2 ［MP375R 無線 LAN セットアップ］画面で、ステップ 1 の［インストール］をクリックします。

3 画面の指示にしたがってインストールを進めてください。

操作パネルでの設定が必要なとき：



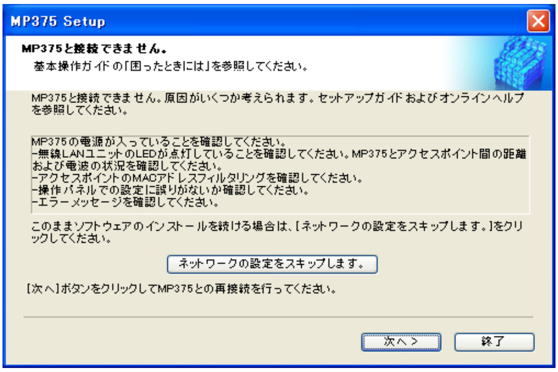
本機の操作パネルでの設定が正しく行われていない場合、この画面が表示されます。画面の指示にしたがって、設定を行ってください。→「本機の設定」

本機の設定が終わったら、［次へ］をクリックします。

参考

他のプリンタドライバがすでにインストールされている場合、画面の左下に［設定を印刷］が表示されます。クリックすると、本機以外のプリンタから、［操作パネル設定］に表示されている IP アドレスなどの情報が印刷されます。

パソコンと本機が通信できないとき：



パソコンと本機が通信できないときは、この画面が表示されます。画面の指示にしたがって設定を確認します。

ネットワーク接続環境と操作パネルの設定を行ったあと、［次へ］をクリックします。→「インストールする前の準備」、「本機の設定」

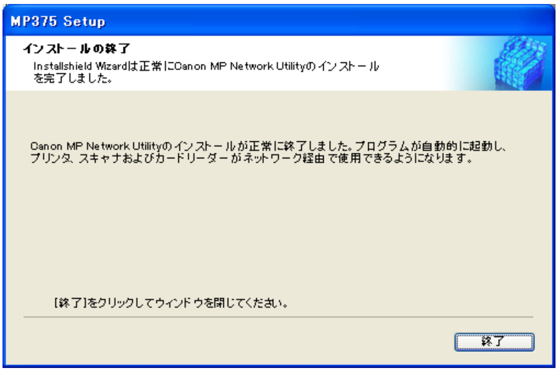
［ネットワークの設定をスキップします。］をクリックすると、無線 LAN 接続の設定をせずに MP ドライバだけインストールします。その場合は、インストールが終了した後、問題が解決してから、MP Network Utility で無線 LAN 接続の設定を行うこともできます。→「ネットワーク上の MP375R を検知する」

■［終了］画面で、再起動が必要なとき：

○「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」が選ばれた状態にします。このあと、CD-ROM ドライブにセットアップ CD-ROM をセットした状態で［終了］をクリックして、パソコンを再起動します。

■［終了］画面で、再起動が必要ではないとき：

○［終了］をクリックします。



MP Toolbox をインストールする



MP Toolbox は、パソコンに画像を読み込んだり、保存するときに使います。
パソコンを再起動したときにこの画面が表示されなかったり、閉じてしまった場合は、デスクトップの［マイ コンピュータ］にある CD-ROM のアイコン（Windows XP のときは、タスクバーの［スタート］ボタンから、［マイ コンピュータ］にある CD-ROM のアイコン）を開き、そこに表示された［Setup（Setup.exe）］をダブルクリックします。
ローカルドライブかネットワークドライブにソフトウェアのコピーがあるときは、セットアップ CD-ROM を使わずに、コピー先の［Setup（Setup.exe）］をダブルクリックします。

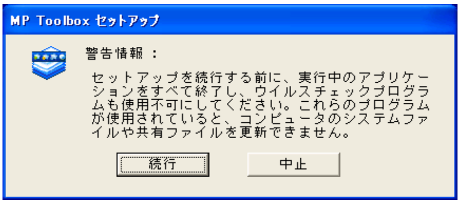
重要

この画面と異なる画面が表示されたときは、MP ドライバが正常にインストールされていません。インストールをやりなおしてください。→『基本操作ガイド』（「第 11 章　困ったときには」）

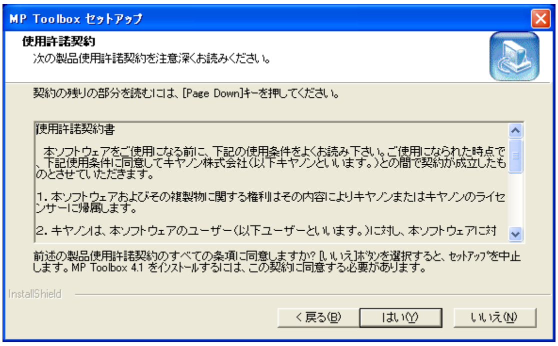
1 [MP375R 無線 LAN セットアップ] 画面で、ステップ 2 の [インストール] をクリックします。



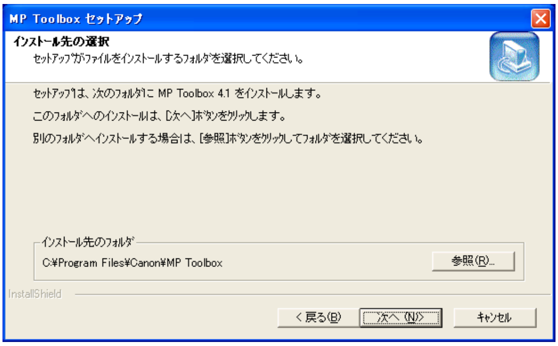
2 [次へ] をクリックします。



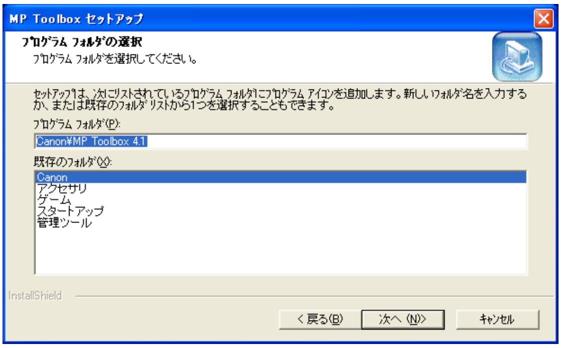
3 [続行] をクリックします。



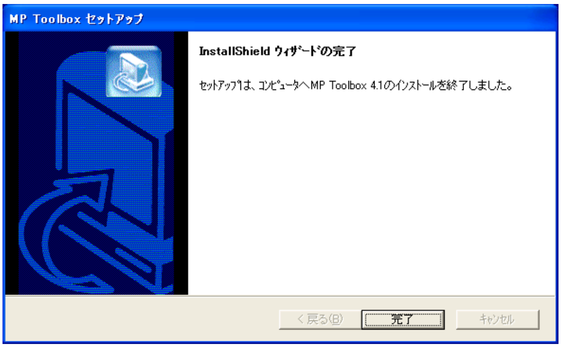
4 [はい] をクリックします。



5 [次へ] をクリックします。



6 [次へ] をクリックします。



7 [完了] をクリックします。

USB 接続の場合のインストール

本機とパソコンを直接 USB ケーブルで接続して使う場合の設定手順を説明します。
インストールを行うと、お使いのパソコンのハードディスク上に必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

重要

- パソコンに古い MultiPASS Suite がインストールされているときは、これらを削除してから、インストールしてください。
- Windows 2000/XP にインストールするときは、Administrator または管理者としてログオンするか、Administrator 権限が必要です。

1 本機の電源を入れます。

2 パソコンの電源を入れます。

重要

- このときはまだ、本機とパソコンを USB ケーブルで接続しないでください。
- 本機を接続していると、「新しいハードウェアが見つかりました」、「デバイスドライバウィザード」、「新しいハードウェアの検出ウィザード」などの画面が表示されます。この場合は、USB ケーブルを外して、［キャンセル］をクリックしてください。

3 起動しているアプリケーション（ウイルスチェックプログラムを含む）はすべて終了します。

4 セットアップ CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

［MP375R 無線 LAN セットアップ］画面が表示されます。



この画面が表示されないときは、デスクトップの［マイ コンピュータ］にある CD-ROM のアイコン（Windows XP のときは、タスクバーの［スタート］ボタンか

ら、[マイ コンピュータ] にある CD-ROM のアイコン) を開き、そこに表示された [Setup (Setup.exe)] をダブルクリックします。

ローカルドライブかネットワークドライブにソフトウェアのコピーがあるときは、セットアップ CD-ROM を使わずに、コピー先の [Setup (Setup.exe)] をダブルクリックします。

5 **[MP375R 無線 LAN セットアップ] 画面で、[USB 接続時] をクリックします。**



参考

[MP375R USB セットアップ] 画面を表示している状態で OS を再起動すると、再起動後の画面には [MP375R 無線 LAN セットアップ] 画面が表示されます。

6 **[MP375R USB セットアップ] 画面で、ステップ 1 の [インストール] をクリックします。**

7 **画面の指示にしたがってインストールを進めてください。**

[完了] 画面で、再起動が必要なとき：

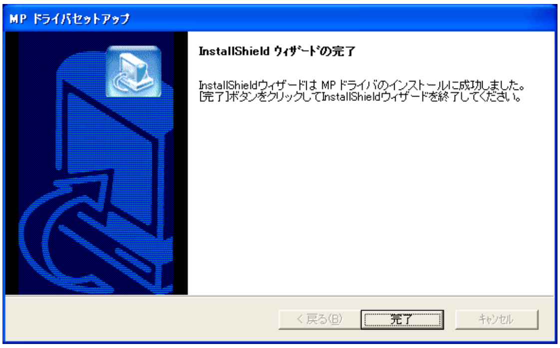
○ 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」が選ばれた状態にします。このあと、CD-ROM ドライブにセットアップ CD-ROM をセットした状態で [完了] をクリックして、パソコンを再起動します。

重要

再起動したあと、[MP375R 無線 LAN セットアップ] 画面が表示されます。[USB 接続時] をクリックして [MP375R USB セットアップ] 画面から MP Toolbox のインストールを行ってください。セットアップ画面が表示されない場合は、CD-ROM の [Setup (Setup.exe)] をダブルクリックしてください。

[完了] 画面で、再起動が必要ではないとき：

○ [完了] をクリックします。



8 MP Toolbox をインストールします。→「MP Toolbox をインストールする」

重要

[MP375R 無線 LAN セットアップ] 画面が表示されている場合は [USB 接続時] をクリックし、[MP375R USB セットアップ] 画面から MP Toolbox をインストールしてください。

9 USB ケーブルを本機とパソコンの USB ポートに接続します。

本機が自動的に検出され、パソコンが各種設定を行います。そのままの状態でしばらくお待ちください。

パソコンによっては、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。そのときは、パソコンを再起動させてください。パソコンを再起動した後も、設定は継続されますので、そのままの状態でしばらくお待ちください。

アプリケーションをインストールする

1 アプリケーションソフトウェアをインストールするときは、[MP375R 無線 LAN セットアップ] 画面（USB 接続の場合は [MP375R USB セットアップ] 画面）で [アプリケーションのインストール] をクリックします。ここでインストールしないで、あとでインストールすることもできます。

テストプリントをする

次のいずれかの操作を行います。

●MP Network Utility を開きテストプリントを行います。→「テストページを印刷する」

●タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは［スタート］ボタンから、［プリンタと FAX］）をクリックして、本機のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、［テストページの印刷］（Windows 98/Me のときは［印字テスト］）をクリックしてテストプリントを行います。

マニュアルを読む

1 **セットアップ CD-ROM に収録されているマニュアルを読むときは、［MP375R 無線 LAN セットアップ］画面（USB 接続の場合は［MP375R USB セットアップ］画面）で［マニュアルを読む］をクリックします。**

インストールはこれで完了です。インストールソフトウェアの［MP375R 無線 LAN セットアップ］画面（USB 接続の場合は［MP375R USB セットアップ］画面）の［終了］をクリックして画面を閉じ、CD-ROM ドライブからセットアップ CD-ROM を取り出します。

インストールが途中で失敗したとき

ソフトウェアの削除と再インストールの操作を行ってください。→「ソフトウェアのアンインストール（削除）と再インストール」

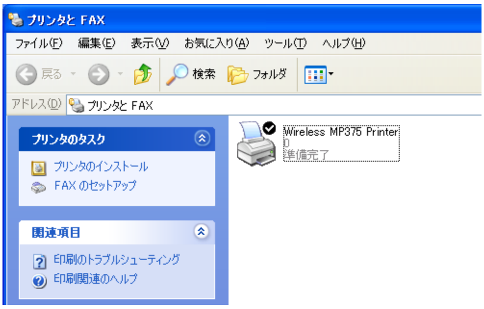
インストールの確認をする

インストールがうまくできたかどうか、次の方法で確認できます。
インストールがうまくできていないときは、ソフトウェアの削除と再インストールの操作を行ってください。→「ソフトウェアのアンインストール（削除）と再インストール」

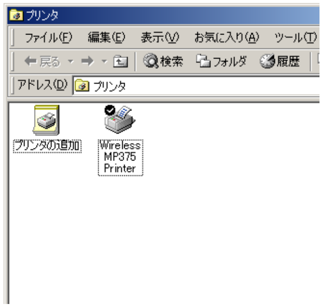
プリンタドライバ

タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから、［プリンタとFAX］）をクリックします。開いた画面に、本機のプリンタのアイコンがあれば、インストールされています。

無線 LAN 接続の場合

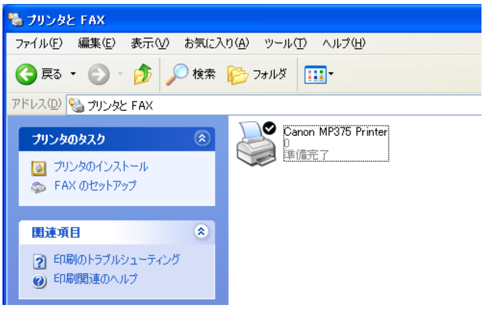


Windows XP の画面

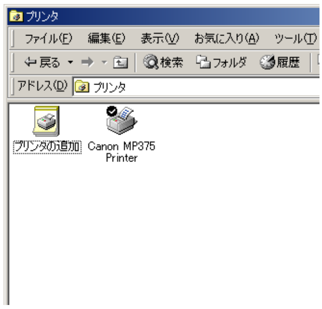


Windows 98/Me/2000 の画面

USB 接続の場合



Windows XP の画面



Windows 98/Me/2000 の画面

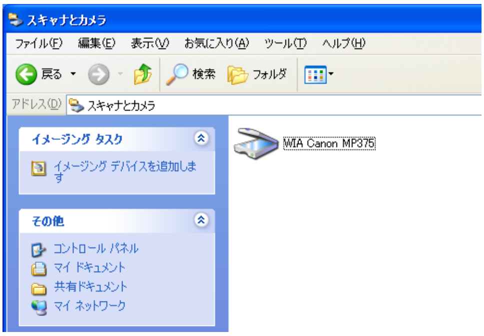
スキャナドライバ

無線 LAN 接続の場合

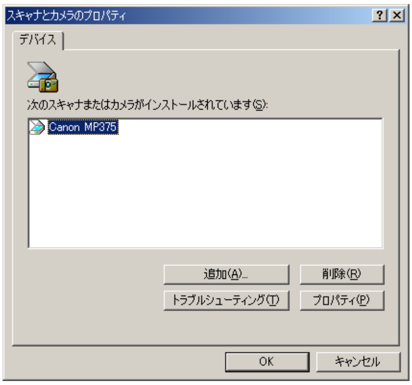
［スキャナとカメラ］の画面にはスキャナのアイコンは表示されません。MP Network Utilityで確認してください。→「MP Network Utilityでインストールと接続の確認をする」

USB 接続の場合

タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［コントロール パネル］をクリックします（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから、［コントロール パネル］をクリックし、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします）。
開いた画面で［スキャナとカメラ］をダブルクリック（Windows XP の場合はクリック）します。
本機のスキャナのアイコンがあれば、インストールされています。



Windows XP の画面



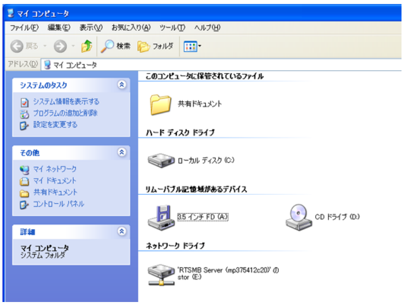
Windows 2000 の画面

メモリカード（ストレージデバイス）ドライバ

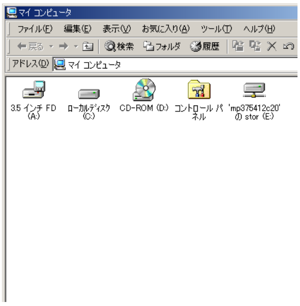
デスクトップの［マイ コンピュータ］をダブルクリックします（Windows XP のときは、タスクバーの［スタート］ボタンから、［マイ コンピュータ］をクリックします）。

無線 LAN 接続の場合

［マイ コンピュータ］にネットワークドライブとして本機のメモリカードのアイコンが表示されていれば、インストールされています。



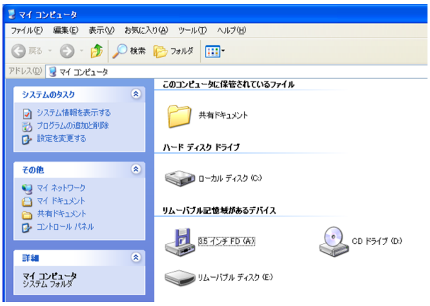
Windows XP の画面



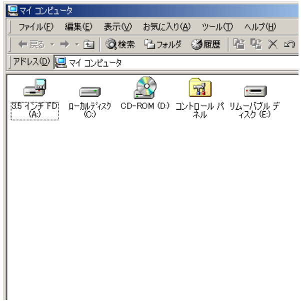
Windows 98/Me/2000 の画面

USB 接続の場合

［マイ コンピュータ］に［リムーバブル ディスク］として本機のメモリカードのアイコンが表示されていれば、インストールされています。



Windows XP の画面



Windows 98/Me/2000 の画面

MP Toolbox

デスクトップに［Canon MP Toolbox 4.1］のアイコンがあれば、インストールされています。



MP Network Utility

タスクバーに［Canon MNU］のアイコンがあれば、インストールされています。



MP Network Utility でインストールと接続の確認をする

無線 LAN 接続の場合、MP Network Utility を使って MP ドライバがインストールされているかどうかを確認することができます。MP Network Utility コンソールを開いて、画面上に本機のプリンタ、スキャナ、メモリカード（ストレージデバイス）のアイコンがあればインストールされています。また、各無線 LAN 機器の接続状態を確認することもできます。→「MP Network Utility の機能」

重要

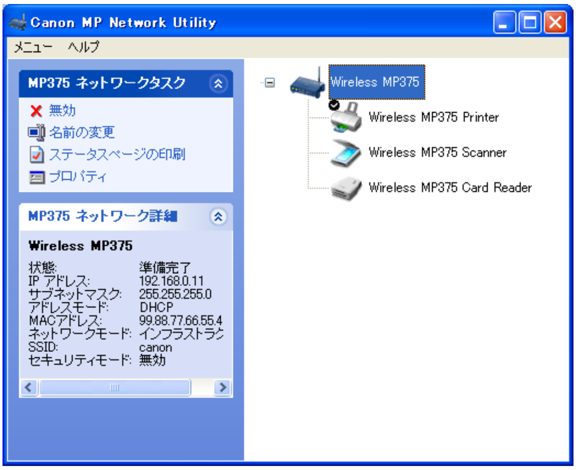
タスクバーから MP Network Utility を終了した後で、本機の設定が変更されると、無線 LAN 接続と本機の各機能が利用できなくなります。MP Network Utility を再起動するまで、印刷やスキャンができなくなり、また、メモリカードも使用できません。

MP Network Utility コンソールを開く

次のいずれかの操作を行います。

●タスクバーの[Canon MNU]アイコンを右クリックし、[コンソール]をクリックします。

●タスクバーの［Canon MNU］アイコンをダブルクリックします。



MP Network Utility コンソールが表示されます。

電源が入っていないときや、接続されていないときは、アイコンが薄く表示されます。

参考

タスクバーに［Canon MNU］アイコンが表示されていない場合は、［スタート］ボタンから［(すべての)プログラム］→[Canon]→[MP Network Utility]をクリックすると、アイコンが表示されます。

メモリカードの読み込み / 書き込み

本機をパソコンに接続すると、パソコンの［マイ コンピュータ］の中にメモリカードドライブ(無線 LAN 接続の場合はネットワークドライブ､USB 接続の場合はリムーバブルディスク）が表示されます。
メモリカードを本機に差し込むと、パソコンのネットワークドライブ（USB 接続の場合は［リムーバブル ディスク］）を開いて、メモリカードの写真を見ることができます。他のハードディスクのファイルと同じように、その写真をハードディスクにコピーしたり、設定をかえることによって、ハードディスクのファイルをメモリカードにコピーすることができます。

重要

- **メモリカードにアクセス中は、次のことをしないでください。**
  - **– USB ケーブルの抜き差し**
  - **– 無線 LAN カード / アダプタの取り外し**
  - **– 無線アクセスポイントの設定変更または停止**
- **カードスロットにメモリカードが差し込まれた状態で、パソコンをスタンバイ、または、休止状態にしないでください。また、パソコンがスタンバイ、または、休止状態になっているときに、メモリカードを取り出したり、入れかえたりしないでください。**
- **メモリカードを入れかえるときは、メモリカードを取り出す前に本機の電源を切ってください。**
- **Windows 2000 で USB 接続している場合、本機の電源を切ると、パソコンに［デバイスの取り外しの警告］画面が表示されます。その場合は、［OK］をクリックしてください。本機やパソコンには影響ありません。**

参考

はじめて使うときは、メモリカードのワークグループ名は［WORKGROUP］になっています。

メモリカードへのデータの書き込みを可能にする

はじめて使うときは書き込み禁止になっているので、パソコンからメモリカードのデータを変更することができません。
次の操作にしたがって設定をかえてください。

重要

- **Windows 2000 の場合、本機での書き込み禁止の状態が、パソコン側で認識されていないと、データをメモリカードにコピーするときに、遅延書き込みエラーが発生し、データが破損する恐れがあります。**
- **無線 LAN 接続の場合、Windows のエクスプローラなどで、メモリカードに「123456789.jpg」のように名前が 9 文字以上のファイルを書き込むと、ファイル名が 8 文字（「12345678.jpg」）に切られて表示されることがあります。**
- **無線 LAN 接続の場合､Windows のエクスプローラなどで､「123 456.jpg」のように名前にスペースを含んでいたり、「123.456.jpg」のようにピリオドを含んでいるファイルをメモリカードに書き込もうとすると、エラーが表示され書き込めないことがあります。書き込めた場合でも、ファイル名が正しく表示されないことがあります。**

1 メモリカードが本機にセットされていないことを確認します。

2 [ユーザモード] を押します。

3 [◀] か [▶] で、〈5. カード　カキコミ　キンシ〉を選びます。

4 [セット] を押します。

カード　カキコミ　キンシ
スル

5 [◀] か [▶] で、〈シナイ〉を選びます。

6 [セット] を押します。

[ストップ / リセット] を押して、スタンバイモードに戻ります。

7 コピーまたはスキャンモードにします。

フォトプリントモードでは書き込みできません。

8 メモリカードを適切なカードスロットへ差し込みます。

参考

USB 接続の場合、カードスロットにメモリカードが差し込まれた状態で、データの書き込みの設定を変更したときは、USB ケーブルを抜いて、差しなおしてください。USB ケーブルを差しなおさないと、設定は有効になりません。

通常使うプリンタに設定する

プリンタドライバをインストールすると、本機が「通常使うプリンタ」に設定されます。本機が「通常使うプリンタ」に設定されていると、アプリケーションで印刷をしようとしたとき、とくに指定しなくても、本機から印刷されます。［印刷］画面でプリンタとして本機を選ぶ必要がありません。
次の操作をすると、この設定をかえることができます。

重 要

MP ドライバのインストール完了後、本機が「通常使うプリンタ」に設定されないことがあります。「通常使うプリンタ」に設定したいときは、必ず次の操作をしてください。

1 **タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから、［プリンタと FAX］）をクリックします。**

2 **［プリンタ］画面（Windows XP のときは［プリンタと FAX］画面）で、本機のプリンタのアイコンをクリックします。**

3 **ファイルメニューで、［通常使うプリンタに設定］をクリックします。**

参 考

- ［プリンタ］画面（Windows XP のときは［プリンタと FAX］画面）で、本機のアイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］を選んで設定することもできます。
- 無線 LAN 接続の場合、MP Network Utility を使って設定することもできます。第４章の「通常使うプリンタに設定する」を参照してください。

ソフトウェアのアンインストール（削除）と再インストール

MP Toolbox や MP ドライバ、MP Network Utility が必要なくなった場合や、正しくインストールされなかったときは、アンインストール（削除）してください。
Windows 2000 からソフトウェアをアンインストールするときは、Administrator としてログオンするか、Administrator 権限が必要です。Windows XP からアンインストールするときは、管理者としてログオンする必要があります。

重 要

MP ドライバまたは MP Network Utility を削除するときは、先に MP Toolbox を削除してください。MP ドライバまたは MP Network Utility を先に削除すると、スタートメニューのプログラムの中に Canon フォルダが残る場合があります。

MP Toolbox を削除するには

1 MP Toolbox など、起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。

MP Toolbox は、画面の右上の［×］をクリックすると終了します。

2 タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MP Toolbox 4.1］→［Toolbox アンインストール］をクリックします。

3 表示される指示にしたがって操作します。

プログラムの修復、または、削除を選ぶ画面が開いたら、［削除］をクリックし、［次へ］をクリックします。

アプリケーションなどを削除してよいかをたずねるメッセージが表示されたら、［OK］をクリックしてください。

パソコンの再起動を促すメッセージが表示されたら、パソコンを再起動してください。

MP ドライバを削除するには（無線 LAN 接続のみ）

1 MP Network Utility など、起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。

MP Network Utility は、タスクバーの［Canon MNU］アイコンを右クリックし、［終了］をクリックすると終了します。

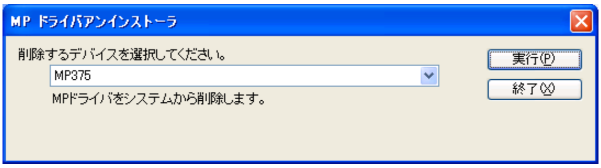
2 タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［コントロール パネル］をクリックし、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから、［コントロール パネル］をクリックし、［プログラムの追加と削除］をクリックします）。
開いた画面で、［Canon MP Network Utility］を選択し、［変更と削除］をクリックします（Windows 98/Me のときは、［追加と削除］をクリックします）。

MP Network Utility を削除すると、MP ドライバも同時に削除されます。

MP ドライバを削除するには（USB 接続のみ）

1 起動しているアプリケーションはすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。

2 タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MP ドライバ］→［ドライバアンインストール］をクリックします。



3「削除するデバイスを選択してください。」と表示されたら、［MP375］を選んで［実行］をクリックします。

MP ドライバを削除してよいかをたずねるメッセージが表示されたら、［はい］をクリックしてください。

4 再起動を促すメッセージが表示されたら、パソコンを再起動します。

重要

パソコンを再起動したときは、パソコンが起動する前に USB ケーブルを外してください。

5 USB ケーブルをパソコンと本機から外します。

Windows 2000 のときは、［デバイスの取り外しの警告］画面が表示されますので、［OK］をクリックしてください。本機やパソコンには影響ありません。

再インストールするには

MP Toolbox、MP ドライバの順で削除したあと、インストールの操作を行ってください。

→「パソコンとの接続とソフトウェアのインストール」

2

印刷

文書をプリントする

2

2章 印刷（文書をプリントする）

文書を印刷する

文書を印刷するときの一般的な操作を説明します。

重要

パソコンに本機を接続して印刷しているときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに、次のことをしないでください。

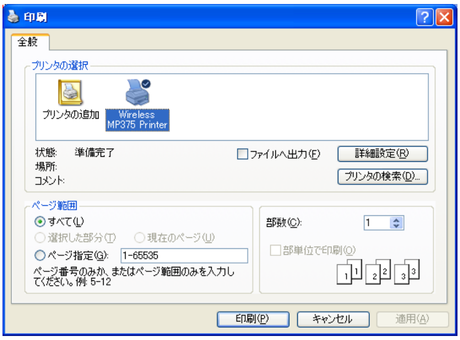
- **USB ケーブルの抜き差し**
- **無線 LAN カード / アダプタの取り外し**
- **無線アクセスポイントの設定変更または停止**

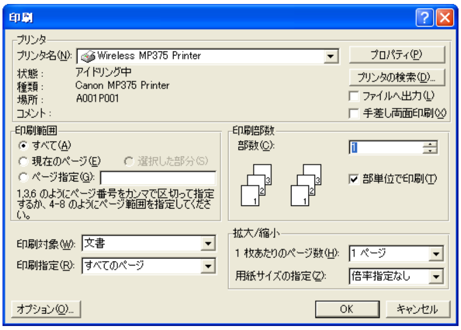
1 用紙トレイに用紙をセットします。

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます（通常は、ファイルメニューで［印刷］を選びます）。

アプリケーションによっては、ツールバーの印刷ボタンをクリックして、現在のプリンタドライバの設定のままで印刷することもできます。

3 ［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］欄で、印刷に使うプリンタが選ばれていることを確認します。選ばれていないときは、クリックして選びます。





（例）Word の［印刷］画面

4 ［印刷］または［OK］をクリックして、印刷を開始します。

どのように印刷されるかをプレビューで確認する

文書を印刷する前に、プレビューを表示して、どのように印刷されるか確認することができます。

1 用紙トレイに用紙をセットします。

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます（通常は、ファイルメニューで［印刷］を選びます）。

3 ［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］欄でプリンタを選び、［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

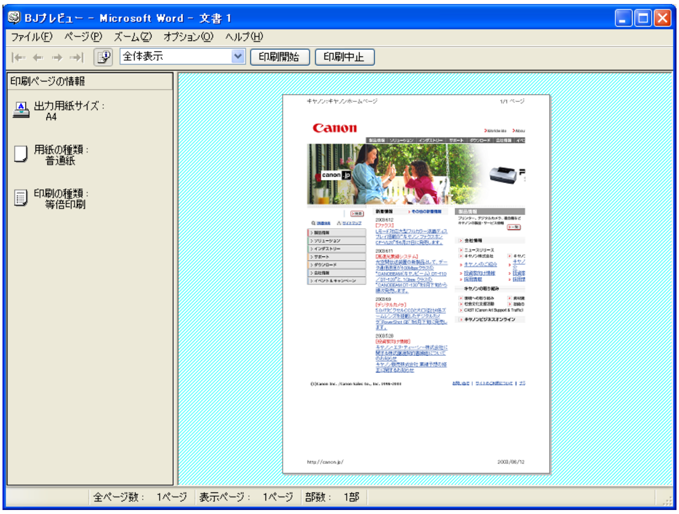


4 ［基本設定］タブで［印刷前にプレビューを表示］にチェックマークをつけます。

5 ［OK］をクリックします。

6 ［印刷］画面で［印刷］または［OK］をクリックします。

プレビューが表示されます。



7 印刷するときは、［印刷開始］をクリックします。

プレビューを閉じて中止するときは、［印刷中止］をクリックします。

印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）

文書によって、設定をかえて印刷することができます。
用紙の種類などの設定やページ設定、絵や写真を印刷するときの画質をかえることができます。

これから印刷する文書だけの設定をする

アプリケーションから印刷画面を表示すると、これから印刷する文書だけの設定をかえることができます。→「文書を印刷する」

1 **用紙トレイに用紙をセットします。**

2 **［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］欄でプリンタを選び、［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。**

プリンタのプロパティ画面が表示されます。

3 **次のいずれかの方法で設定をかえます。**

あらかじめ登録したお気に入りを使う：

○ **［お気に入り］タブの［お気に入り一覧］で、呼び出したいお気に入りをクリックし、［お気に入りの呼出し］をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。**

お気に入りの登録のしかた →「設定をお気に入りに登録する / ［お気に入り］タブ」

プリントアドバイザーを使う：

○ **［基本設定］タブで、［プリントアドバイザー］をクリックし、画面に表示される指示にしたがって設定します。**

参考

プリントアドバイザーを使うと、［基本設定］タブの設定をより簡単に行うことができます。表示された質問に答えるだけで、［用紙の種類］などの設定が適切なものに変更されます。

個別に設定する：

○ **必要なタブを開いて、設定します。**

→「用紙や印刷品質を設定する／［基本設定］タブ」
→「用紙サイズや部数を設定する／［ページ設定］タブ」
→「スタンプを選ぶ／［スタンプ／背景］タブ」
→「背景を選ぶ／［スタンプ／背景］タブ」
→「特殊効果を設定する／［特殊効果］タブ」
→「クリーニングや本機の設定をする／［ユーティリティ］タブ」

4 設定を元（インストールしたときの設定）に戻したいときは、［標準に戻す］をクリックします。
変更を確定して画面を閉じるときは、［OK］をクリックします。
変更をキャンセルして画面を閉じるときは、［キャンセル］をクリックします。

印刷するすべての文書の設定をする

タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは［プリンタと FAX］）を選ぶと、本機から印刷するすべての文書の設定をかえることができます。

参考

無線 LAN 接続の場合は、MP Network Utility コンソールから印刷の設定をかえることもできます。
→「MP Network Utility コンソールでできること」

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから、［プリンタと FAX］）をクリックします。

2 次のいずれかの操作をします。

Windows 2000/XP のとき：

○ **本機のアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。**

Windows 98/Me のとき：

○ **本機のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

プリンタの印刷設定またはプロパティ画面が表示されます。

3 次のいずれかの方法で設定をかえます。

あらかじめ登録したお気に入りを使う：

○ [お気に入り] タブの [お気に入り一覧] で、呼び出したいお気に入りをクリックし、[お気に入りの呼出し] をクリックします。確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

お気に入りの登録のしかた →「設定をお気に入りに登録する / [お気に入り] タブ」

プリントアドバイザーを使う：

○ [基本設定] タブで、[プリントアドバイザー] をクリックし、画面に表示される指示にしたがって設定します。

個別に設定する：

○ 必要なタブを開いて、設定します。

→「用紙や印刷品質を設定する / [基本設定] タブ」
→「用紙サイズや部数を設定する / [ページ設定] タブ」
→「スタンプを選ぶ / [スタンプ / 背景] タブ」
→「背景を選ぶ / [スタンプ / 背景] タブ」
→「特殊効果を設定する / [特殊効果] タブ」
→「クリーニングや本機の設定をする / [ユーティリティ] タブ」

4 設定を元（インストールしたときの設定）に戻したいときは、[標準に戻す] をクリックします。

変更を確定して画面を閉じるときは、[OK] をクリックします。
画面を開いたまま変更を確定するときは、[適用] をクリックします。
変更をキャンセルして画面を閉じるときは、[キャンセル] をクリックします。

用紙や印刷品質を設定する／［基本設定］タブ

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［基本設定］タブでは、用紙の種類、給紙方法、印刷の品質などの基本的な設定をします。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」



用紙の種類

印刷に使う用紙の種類を選びます。選んだ用紙の種類によって、他の項目の選択肢がかわります。

給紙方法

●オートシートフィーダ

　普通紙や特殊紙などの用紙を印刷するときに選びます。
　選択できる給紙方法は、［オートシートフィーダ］のみです。

印刷品質

印刷する文書に適した印刷品質を選びます。

●きれい

　よりきれいに印刷できますが、印刷速度は低下します。

●標準

　平均的な速度と品質で印刷します。

●速い

　印刷品質は落ちますが、高速で印刷できます。この設定は、ページ数が多いときや、下書き原稿を印刷するときに適しています。

●カスタム

　印刷品質とハーフトーンを個別に設定します。→「自分で印刷品質を設定する」

色調整

印刷に使う色を調整する方法を選びます。

●自動

　プリンタドライバが自動的に色調整します。

●マニュアル調整

　細かい指定をして色調整します。→「自分で色調整する」

グレースケール印刷

カラーの文書を白黒にして印刷したいときにチェックマークをつけます。

印刷前にプレビューを表示

印刷する前に、どのような印刷結果になるかを画面に表示したいときにチェックマークをつけます。→「どのように印刷されるかをプレビューで確認する」

プリントアドバイザー

［プリントアドバイザー］をクリックすると、開始画面が表示されます。表示された項目から印刷の目的に合ったものを選んでいくと、自動的に適切な印刷設定になります。

プリンタ操作のプレビュー画面

［基本設定］タブの左に表示されるプリンタのイラストには、現在の設定が表示されます。

自分で印刷品質を設定する

印刷品質とハーフトーンを細かく調整します。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［基本設定］タブで次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 ［印刷品質］で［カスタム］を選び、［設定］をクリックします。



2 ［カスタム設定］画面で、印刷品質やハーフトーンの設定をします。

品位

スライダを右に動かすと品質が上がり、左に動かすと印刷が速くなります。

重要

［用紙の種類］の設定によっては、選択できない品位もあります。

ハーフトーン

ハーフトーンの部分をどのように表現するかを選びます。

●自動

画像の種類に合わせて、自動的にディザ、誤差拡散のうち、適した方で印刷されます。

●ディザ

決まったパターンで並んだ点を使ってハーフトーンの部分を表現します。グラフやチャートなど、色の違いをはっきりさせたいものに適しています。

●誤差拡散

ランダムに配置した点でハーフトーンを表現します。写真やグラフなど、階調を細かく表現したいときに選んでください。

重要

［用紙の種類］と［品位］の組み合わせによっては、選択できないハーフトーンの表現方法があります。

印刷データのサイズを小さくする（Windows 2000/XP のみ）

アプリケーションで印刷する印刷データのサイズを小さくすることができます。画像データが抜け落ちるなどして、うまく印刷できないときにチェックマークをつけてください。

参考

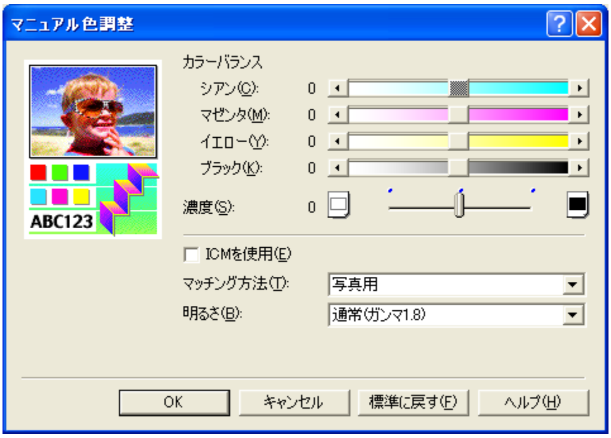
お使いのアプリケーションによっては、効果が見られない場合があります。

3 ［OK］をクリックします。

自分で色調整する

通常、色はアプリケーションで調整します。より細かく調整したいときは、［マニュアル色調整］画面でカラーバランスを設定します。画面左上に表示される写真とイラストのサンプルで、おおまかな調整の具合いを確認できます。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［基本設定］タブで次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 ［色調整］で［マニュアル調整］を選び、［設定］をクリックします。



2 ［マニュアル色調整］画面で、スライダを左右に動かして、カラーバランスと濃度を調整します。

3 Windows の色管理機能を有効にするときは、［ICM を使用］にチェックマークをつけます。

［ICM を使用］にチェックマークをつけないときは、［マッチング方法］欄で印刷する画像の種類を選び、［明るさ］欄で画像を印刷するときの明るさを選びます。

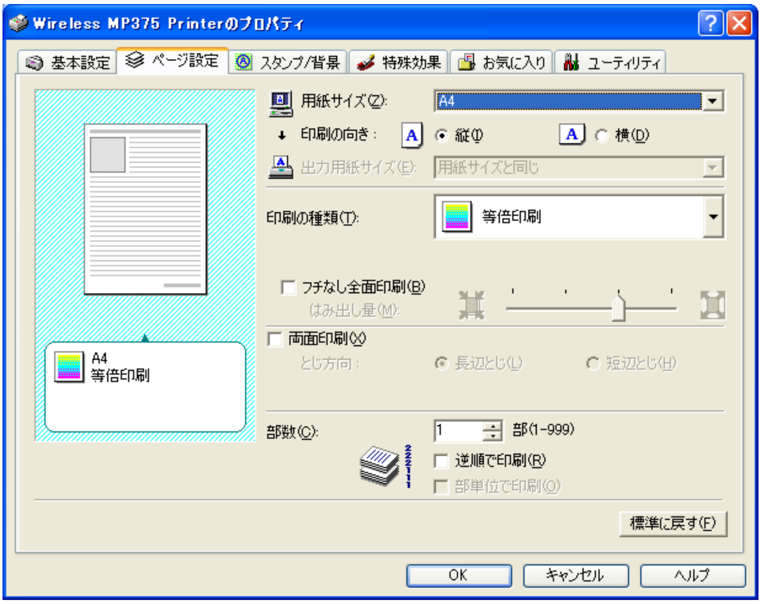
参考

ICM は、Image Color Management（画像カラー管理）の略語です。

4 ［OK］をクリックします。

用紙サイズや部数を設定する / ［ページ設定］タブ

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ページ設定］タブでは、印刷する用紙サイズや印刷部数、印刷の向きなどを設定します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 → 「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」



用紙サイズ

アプリケーションで指定されている用紙サイズと同じものを選びます。
自分で用紙サイズを指定するときは、［ユーザー定義用紙］を選びます。
→「登録されていないサイズの用紙に印刷する」

参考

本機にセットできないサイズを選ぶと「プリンタの適用範囲外の用紙サイズが選択されました。[印刷の種類］を［フィットページ印刷］に設定します。」というメッセージが表示されます。[OK］をクリックすると、自動的にフィットページ印刷が選ばれます。
→「用紙サイズに合わせて拡大・縮小する（フィットページ印刷）」

印刷の向き

印刷の向きを選びます。[縦］を選ぶと、用紙を縦にして印刷されます。[横］を選ぶと、用紙を横にして印刷されます。

出力用紙サイズ

［印刷の種類］で、［等倍印刷］以外を選んだときは、ここで本機にセットする用紙のサイズを選びます。
一覧にないサイズにしたいときは、［ユーザー定義用紙］を選びます。
→「登録されていないサイズの用紙に印刷する」

印刷の種類

印刷方法を選びます。

●等倍印刷

通常の印刷をするときに選びます。原寸で印刷されます。

●フィットページ印刷

用紙サイズと本機にセットした用紙サイズが違うときに、自動的に本機にセットした用紙のサイズに合わせて印刷されます。

→「用紙サイズに合わせて拡大・縮小する（フィットページ印刷）」

●拡大 / 縮小印刷

文書を拡大したり縮小したりして印刷します。

→「倍率を決めて拡大・縮小する（拡大 / 縮小印刷）」

●割り付け印刷

1 枚の用紙に 2 ページ以上の原稿をレイアウトして印刷するときに選びます。

→「1 枚の用紙に 2 ページ以上印刷する（割り付け印刷）」

●冊子印刷

両面印刷を使って印刷し、1 枚の用紙の表と裏に 2 ページずつ印刷します。中央で折り曲げると、中とじの冊子を作ることができます。

→「両面に印刷して冊子のようにとじる（冊子印刷）」

●ポスター印刷

ポスターのような大きな印刷物を作るとき分割して印刷します。印刷したものを貼り合わせて使ってください。

→「ポスター印刷」

拡大縮小率

［拡大 / 縮小印刷］を選んだときに表示されます。倍率を選ぶか入力します。

フチなし全面印刷

白いフチがでないように、画像を用紙サイズより拡大して用紙全体に印刷します。
フチなし全面印刷のときは、［ページ設定］タブの［出力用紙サイズ］、［印刷の種類］、［両面印刷］および［スタンプ / 背景］タブの設定はできません。

→「フチなしで用紙全面に印刷する」

はみ出し量

フチなし全面印刷を選ぶと、画像を用紙サイズより少し拡大するので、用紙からはみ出す部分は印刷されません。スライダを動かして、どれだけはみ出すかを調整できます。

両面印刷

普通紙の両面に印刷します。

→「両面に印刷する」

とじ方向

両面印刷のとき、用紙をとじる方向を選びます。用紙の長い辺をとじるときは［長辺とじ］、短い辺をとじるときは［短辺とじ］を選びます。

部数

印刷する部数を選ぶか入力します。

逆順で印刷

2 ページ以上の文書は最終ページから印刷され、ページ順に積み上げられます。

部単位で印刷

2 ページ以上の文書を 2 部以上印刷するとき、1 組ずつ印刷されます。チェックマークをつけないと、ページごとに指定した部数ずつ印刷されます。

プリンタ制御（Windows 98/Me のみ）

［バックグラウンド印刷］と［スプール中に印刷］の設定ができます。

→「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

登録されていないサイズの用紙に印刷する

［ページ設定］タブの［用紙サイズ］や［出力用紙サイズ］では、登録されていないサイズの用紙を設定することもできます。

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ページ設定］タブで、次のように操作します。

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 ［用紙サイズ］または［出力用紙サイズ］の［ユーザー定義用紙］を選びます。



2 ［ユーザー定義用紙］画面で、用紙サイズの［単位］、［幅］、［長さ］を指定します。

3 ［OK］をクリックします。

フチなしで用紙全面に印刷する

印刷する用紙のフチに余白ができないように原稿を全面に印刷したいときは、［フチなし全面印刷］を指定します。原稿が用紙の大きさいっぱいに拡大されて印刷されます。

使用できる用紙

プロフェッショナルフォトペーパー、スーパーフォトペーパー、マットフォトペーパー、フォト光沢紙、官製はがき、フォト光沢はがき、プロフェッショナルフォトはがき

アプリケーションでの原稿の設定

●余白を設定できるアプリケーション
　上下左右の余白を「0」ミリに設定します。
●余白を設定できないアプリケーション
　原稿を印刷する用紙サイズと同じサイズにして、写真やイラストが用紙いっぱいになるように（余白をあけないように）してください。

1 用紙トレイに用紙をセットします。

2 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面を開きます。

→「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

3 ［基本設定］タブの［用紙の種類］で用紙を選びます。

4 ［ページ設定］タブの［フチなし全面印刷］にチェックマークをつけます。

フチなし全面印刷に向かない用紙が選ばれている場合は、用紙を確認する画面が表示されますので、用紙を選びなおして［OK］をクリックします。

5 フチなし全面印刷に設定することを確認するメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

6 ［はみ出し量］を調整します。

フチなし全面印刷を選ぶと、画像を用紙サイズより少し拡大するので、用紙からはみ出す部分は印刷されません。スライダを動かして、どれだけはみ出すかを調整できます。通常は、スライダを右から２番めにセットすることをおすすめします。スライダを左に動かすとはみ出し量が少なくなり、白いフチがでてしまうことがあります。

7 必要に応じて、プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の他の設定をします。

8 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、［OK］をクリックします。

用紙サイズに合わせて拡大・縮小する（フィットページ印刷）

印刷する用紙サイズを決めて、［フィットページ印刷］を指定すると、自動的にぴったりの大きさに拡大・縮小して印刷されます。プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ページ設定］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重要

フチなし全面印刷といっしょには使えません。→「フチなしで用紙全面に印刷する」

1 [印刷の種類] で [フィットページ印刷] を選びます。

2 [用紙サイズ] でアプリケーションで指定した用紙サイズを選びます。

3 アプリケーションで指定した用紙の向きにしたがって、[縦] または [横] をクリックします。

4 [出力用紙サイズ] で、本機にセットした用紙のサイズを選びます。

5 [OK] をクリックします。

倍率を決めて拡大・縮小する（拡大 / 縮小印刷）

拡大縮小率をパーセントで指定して、拡大または縮小するときは、[拡大 / 縮小印刷] を指定します。

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の [ページ設定] タブで、次のように操作します。

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重要

フチなし全面印刷といっしょには使えません。→「フチなしで用紙全面に印刷する」

1 [印刷の種類] で [拡大 / 縮小印刷] を選びます。

2 [用紙サイズ] でアプリケーションで指定した用紙サイズを選びます。

3 アプリケーションで指定した用紙の向きにしたがって [縦] または [横] をクリックします。

4 [出力用紙サイズ] で本機にセットした用紙のサイズを選びます。

[拡大縮小率] に、出力用紙サイズにぴったり収まって印刷される倍率が、参考値として表示されます。

5 [拡大縮小率] で倍率をパーセントで指定します。

20 ～ 400% の範囲で指定できます。

6 [OK] をクリックします。

1 枚の用紙に 2 ページ以上印刷する（割り付け印刷）

1 枚の用紙に 2 ページ以上のページをまとめて印刷します。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の [ページ設定] タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 → 「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重要

- フチなし全面印刷といっしょには使えません。
  → 「フチなしで用紙全面に印刷する」
- Windows 98/Me では、[バックグラウンド印刷] がオフのときは使えません。
  → 「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

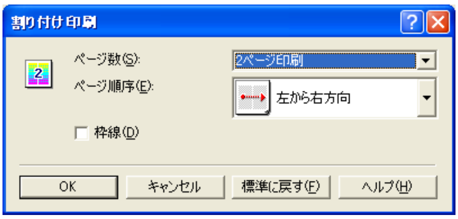
1 [印刷の種類] で [割り付け印刷] を選びます。

2 [用紙サイズ] でアプリケーションで指定した用紙サイズを選びます。

3 アプリケーションで指定した用紙の向きにしたがって [縦] または [横] をクリックします。

4 [出力用紙サイズ] で本機にセットした用紙のサイズを選びます。

5 [詳細設定] をクリックします。



6 [ページ数] で、1 枚の用紙に印刷するページ数を選びます。

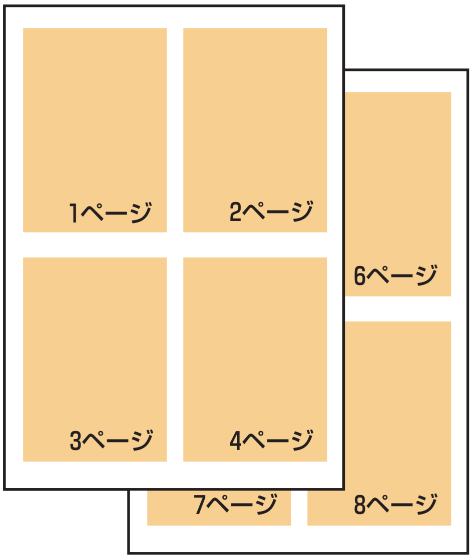
7 ［ページ順序］で、1 枚の用紙にどういう順序でページを配置するかを選びます。

8 ページごとに枠を付けるときは、［枠線］にチェックマークをつけます。

9 ［OK］をクリックします。

例

［割り付け印刷］画面の［ページ数］で［4 ページ印刷］、［ページ順序］で［左上から右方向］を選んだ場合



A4 で作った文書が、A4 の用紙 1 枚に 4 ページ分ずつ印刷されます。

ポスター印刷

画像をいくつかに分割して大きく印刷することができます。［画像の分割数］に指定した数で、印刷する枚数が決まります。貼り合わせるための余白に、切り取り線や「切り取り」、「のりしろ」という文字を印刷することもできます。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ページ設定］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重 要

- **フチなし全面印刷といっしょには使えません。**
  →「フチなしで用紙全面に印刷する」
- **Windows 98/Me では、［バックグラウンド印刷］がオフのときは使えません。**
  →「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

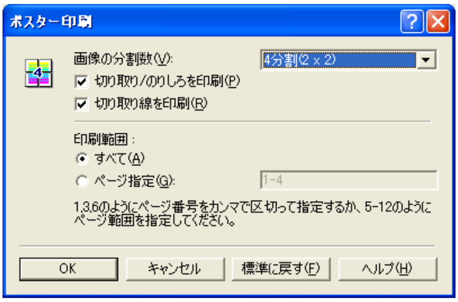
1 ［印刷の種類］で［ポスター印刷］を選びます。

2 ［用紙サイズ］でアプリケーションで指定した用紙サイズを選びます。

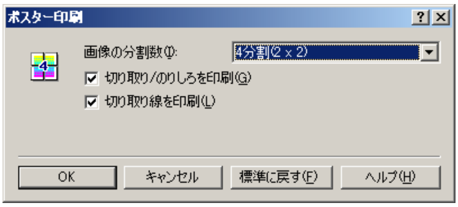
3 アプリケーションで指定した用紙の向きにしたがって［縦］または［横］をクリックします。

4 ［出力用紙サイズ］で本機にセットした用紙のサイズを選びます。

5 ［詳細設定］をクリックします。



Windows XP の画面



Windows Me の画面

6 ［ポスター印刷］画面の［画像の分割数］で、画像を何枚の用紙に分割して印刷するかを選びます。

原稿の大きさに関係なく、［出力用紙サイズ］と［画像の分割数］にしたがって画像が拡大されます。

7 用紙に切り取り線を印刷するときは、［切り取り線を印刷］にチェックマークをつけます。

余白に「切り取り」、「のりしろ」という文字を印刷するときは、［切り取り / のりしろを印刷］にチェックマークをつけます。

Windows 2000/XP のときは、印刷範囲も指定してください。全ページ印刷する場合は、［すべて］をクリックします。何ページから何ページまで印刷するかを指定する場合は、［ページ指定］をクリックし、印刷するページを入力します。

8 ［OK］をクリックします。

9 印刷しなくてもよいページがあるときは、左側に表示されているプレビューの該当ページをクリックして消します（クリックして消したプレビューは、もう一度クリックすると再び表示されます）。

両面に印刷する

普通紙の両面に印刷できます。
用紙によっては裏面の文字が透けることがあります。この場合は、［印刷品質］を［速い］にしてください。
両面印刷した用紙を冊子のようにとじるときは、冊子印刷機能を使ってください。
→「両面に印刷して冊子のようにとじる（冊子印刷）」

重 要

- フチなし全面印刷といっしょには使えません。
  →「フチなしで用紙全面に印刷する」
- ［印刷の種類］で、次の機能を選んでいるときは使えません。
  - ポスター印刷
    →「ポスター印刷」
  - 冊子印刷
    →「両面に印刷して冊子のようにとじる（冊子印刷）」
- Windows 98/Me では、［バックグラウンド印刷］がオフのときは使えません。
  →「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

1 用紙トレイに用紙をセットします。

2 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面を開きます。

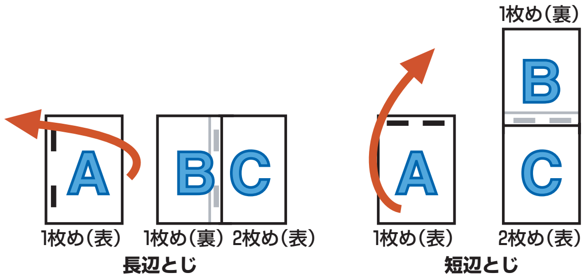
→「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

3 ［基本設定］タブの［用紙の種類］で［普通紙］を選びます。

重 要

［普通紙］以外を選ぶと、両面印刷はできません。

4 [ページ設定] タブの [両面印刷] をクリックして、チェックマークをつけます。用紙の長い辺をとじるときは [長辺とじ]、短い辺をとじるときは [短辺とじ] をクリックします。



5 必要に応じて、プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の他の設定をします。

6 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、[OK] をクリックします。

7 [印刷] 画面で、[印刷] または [OK] をクリックします。

オモテ面だけがまとめて印刷され、オモテ面の印刷が終わると、片面の印刷が終わったことを知らせる画面が開きます。

8 画面の指示にしたがって用紙を裏返してセットし直します。

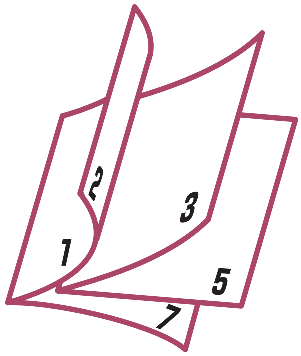
重要

[とじ方向] と [印刷の向き] の関係によって、用紙を裏返す手順が違います。画面の説明どおりに裏返してください。

9 [OK] をクリックします。

ウラ面が印刷されます。

両面に印刷して冊子のようにとじる（冊子印刷）



左とじの冊子

冊子印刷を使って、1 枚の用紙の表と裏に 2 ページずつ印刷し、中央で折り曲げて中とじの冊子を作ることができます。
原稿の大きさが自動的に調整され、1 枚の用紙に見開きで 2 ページずつ印刷されます。
［印刷の向き］が［縦］のときは右開きまたは左開き、［横］のときは上開きまたは下開きを指定できます。

重要

- フチなし全面印刷といっしょには使えません。
  →「フチなしで用紙全面に印刷する」
- Windows 98/Me では、［バックグラウンド印刷］がオフのときは使えません。
  →「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

1 用紙トレイに用紙をセットします。

2 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面を開きます。

→「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

3 ［基本設定］タブの［用紙の種類］で［普通紙］を選びます。

重要

［普通紙］以外を選ぶと、冊子印刷はできません。

4 ［ページ設定］タブの［印刷の種類］で［冊子印刷］を選び、［詳細設定］をクリックします。

5 [冊子印刷] 画面の設定をして、[OK] をクリックします。

■とじかた

[印刷の向き] が [縦] のとき、冊子を右側から開くようにしたいときは [左とじ] を、左側から開くようにしたいときは [右とじ] を選びます。[印刷の向き] が [横] のとき、冊子を下側から開くようにしたいときは [上とじ] を、上側から開くようにしたいときは [下とじ] を選びます。

■白ページを挿入

原稿をページの片側だけに印刷します。[印刷の向き] が [縦] のときは、印刷しないページ（白ページ）を [左ページ] にするか、[右ページ] にするかを指定します。[印刷の向き] が [横] のときは、印刷しないページ（白ページ）を [上ページ] にするか、[下ページ] にするかを指定します。

■とじしろ

とじしろの幅をミリ単位で指定します。

■枠線

ページごとに枠線をつけます。

6 必要に応じて、プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の他の設定をします。

7 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、[OK] をクリックします。

8 [印刷] 画面で、[印刷] または [OK] をクリックします。

オモテ面だけがまとめて印刷され、オモテ面の印刷が終わると、片面の印刷が終わったことを知らせる画面が開きます。

9 画面の指示にしたがって用紙を裏返してセットし直します。

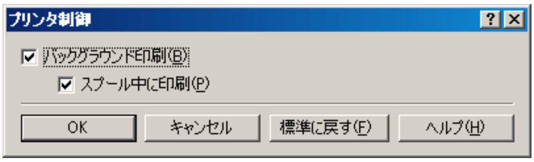
10 [OK] をクリックします。

ウラ面が印刷されます。

バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）

バックグラウンド印刷の設定ができます。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ページ設定］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 ［ページ設定］タブの［プリンタ制御］をクリックします。



2 アプリケーションの操作をしながら、同時に印刷できるようにしたいときは、［プリンタ制御］画面の［バックグラウンド印刷］にチェックマークをつけます。

3 印刷データの書き出し中に印刷を開始したいときは、［スプール中に印刷］にチェックマークをつけます。

チェックマークをつけないと、印刷データのスプールが終わるまで印刷は開始されません。

4 ［OK］をクリックします。

バックグラウンド印刷の設定をすると、印刷するときに、デスクトップの右下にバックグラウンドモニタが開きます。



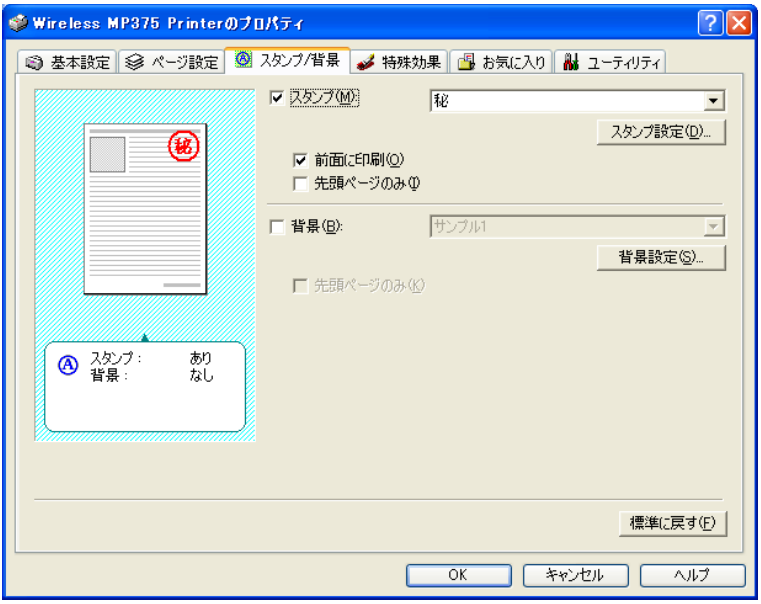
スタンプを選ぶ / [スタンプ / 背景] タブ

印刷する文書にスタンプを押すことができます。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［スタンプ / 背景］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重 要

- フチなし全面印刷といっしょには使えません。
  →「フチなしで用紙全面に印刷する」
- Windows 98/Me では、［バックグラウンド印刷］がオフのときは使えません。
  →「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

1 ［スタンプ］にチェックマークをつけ、選択欄で押したいスタンプを選びます。



2 スタンプを文字の上に押したいときは、［前面に印刷］にチェックマークをつけます。

文字が読みにくいときは、チェックマークを外して、スタンプが文字の下に印刷されるようにします。

3 最初のページにだけスタンプを押したいときは、［先頭ページのみ］にチェックマークをつけます。

4 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、［OK］をクリックします。

スタンプに使える画像は最初からいくつか用意されていますが、設定をかえたり、新しいスタンプを作ったりすることもできます。→「スタンプを作る、設定をかえる」

スタンプを作る、設定をかえる

スタンプを作るときは、文字の種類や大きさなどを設定できます。
スタンプの設定は、後で使えるように保存しておくことができます。

新しいスタンプを作るには、スタンプの設定をかえるには

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［スタンプ / 背景］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 ［スタンプ / 背景］タブで、次の操作をします。

すでに登録されているスタンプの設定をかえるとき

○ ［スタンプ］にチェックマークをつけ、右の選択欄で変更したいスタンプを選びます。

新しいスタンプを作るとき

○ ［スタンプ］のチェックマークを外します。

2 ［スタンプ設定］をクリックします。

3 ［スタンプ設定］画面で、次の設定をします。

Windows 2000/XP のとき

○ →「スタンプの文字と色を指定する（Windows 2000/XP)」
○ →「画像スタンプに使う画像を指定する（Windows 2000/XP)」
○ →「スタンプの位置をかえる、回転する」
○ →「スタンプを保存する、削除する」

Windows 98/Me のとき

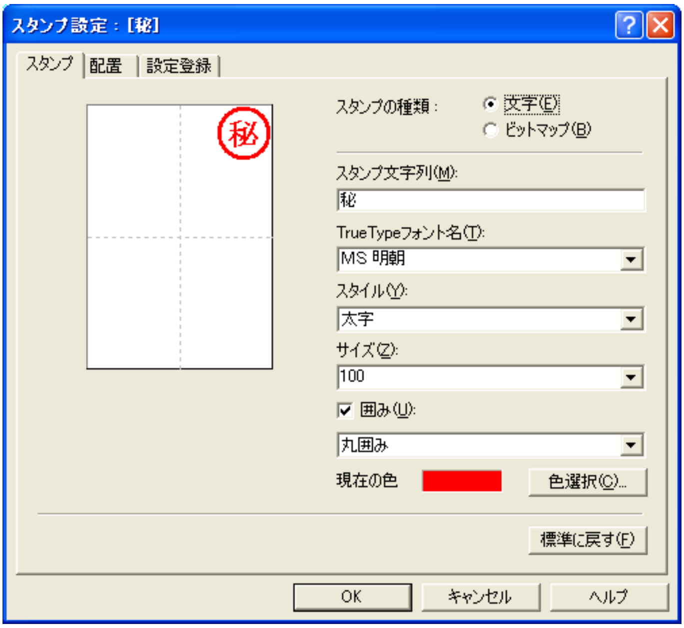
○ →「スタンプの文字と色を指定する（Windows 98/Me)」
○ →「スタンプの位置をかえる、回転する」
○ →「スタンプを保存する、削除する」

スタンプの文字と色を指定する（Windows 2000/XP）

［スタンプ設定］画面で次のように操作します。

［スタンプ設定］画面の表示のしかた →「スタンプを作る、設定をかえる」

1 ［スタンプ］タブで［文字］をクリックします。



2 ［スタンプ文字列］にスタンプにする文字を入力します。

3 フォントの種類、スタイル、サイズ、囲みを指定します。

4 文字の色をかえたいときは［色選択］をクリックし、［色の設定］画面で決定します。



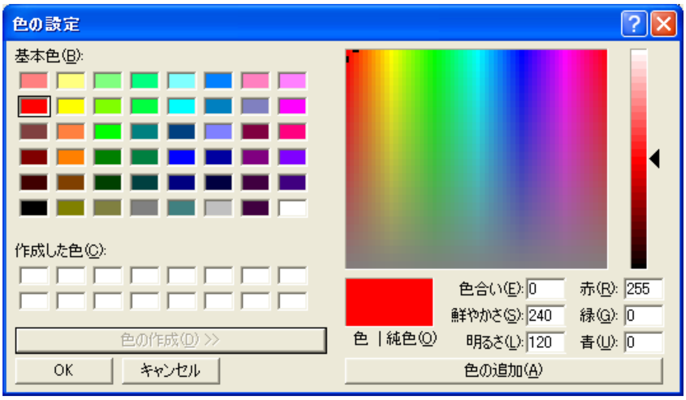
[基本色] から選ぶとき

○ 指定したい色をクリックします。

○ [OK] をクリックします。

スタンプの色を自分で作りたいとき

○ [基本色] の中からイメージにいちばん近い色をクリックし、[色の作成] をクリックします。



○ イメージしている色になるまでスライダを動かすか、色のそれぞれの値を入力します。

○ 作った色を [作成した色] に保存したいときは、[色の追加] をクリックします。新しく作った色は、[作成した色] に追加されます。[作成した色] が前に作った色でいっぱいになると、いちばん古い色が新しい色に置き換えられます。

○ [OK] をクリックします。

5 [スタンプ設定] 画面で [OK] をクリックします。

6 確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

スタンプの文字と色を指定する（Windows 98/Me）

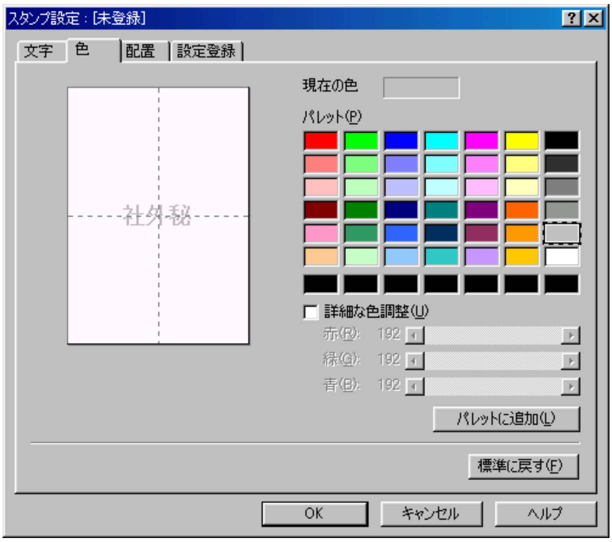
［スタンプ設定］画面で次のように操作します。
［スタンプ設定］画面の表示のしかた →「スタンプを作る、設定をかえる」

1 「文字」タブの［スタンプ文字列］にスタンプにする文字を入力します。



2 フォントの種類、スタイル、サイズ、囲みを設定します。

3 ［色］タブで、文字の色を決定します。



[パレット] から選ぶとき

○ 指定したい色をクリックします。

スタンプの色を自分で作りたいとき

○ イメージしている色にいちばん近い色を [パレット] でクリックし、[詳細な色調整] をクリックします。

○ イメージしている色になるように、それぞれの色のスライダを動かします。

○ 作った色を [パレット] に保存するときは、[パレットに追加] をクリックします。新しく作った色は、[パレット] のいちばん下の列に追加されます。いちばん下の列がいっぱいになると、前に作った色と置き換えられます。

4 [OK] をクリックします。

5 確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

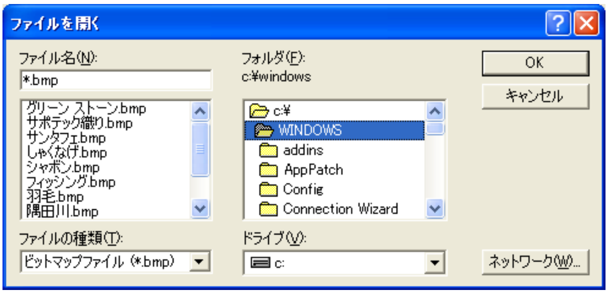
画像スタンプに使う画像を指定する（Windows 2000/XP）

[スタンプ設定] 画面で次のように操作します。
[スタンプ設定] 画面の表示のしかた →「スタンプを作る、設定をかえる」

1 [スタンプ] タブで [ビットマップ] をクリックします。



2 ［ファイル選択］をクリックします。



3 ［ファイルを開く］画面で画像ファイルのフォルダやファイル名を指定し、［OK］をクリックします。

4 画像を小さくしたいときは［サイズ］のスライダを左に動かします。大きくしたいときは右に動かします。

5 画像の白い部分を透明にしたいときは、［白い部分を透過する］にチェックマークをつけます。

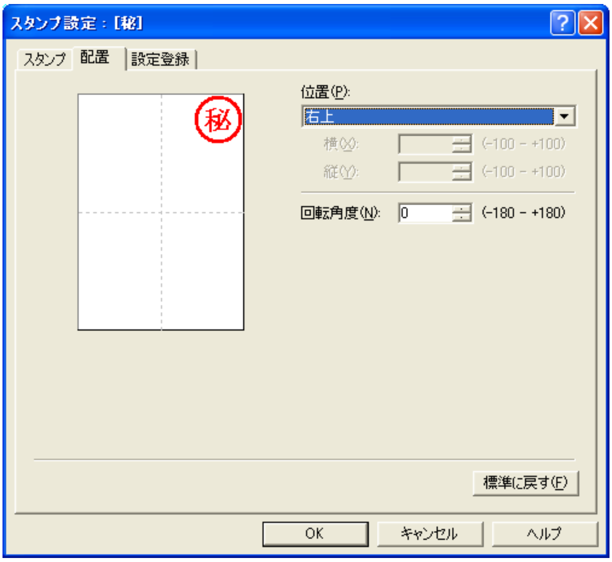
6 ［OK］をクリックします。

7 確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

スタンプの位置をかえる、回転する

スタンプの位置をかえるには

［スタンプ設定］画面の［配置］タブで次のいずれかの操作をします。
［スタンプ設定］画面の表示のしかた →「スタンプを作る、設定をかえる」



ドラッグして動かす

1 ［配置］タブの左に表示されるスタンプにマウスポインタを置き、好きな位置にドラッグします。

座標を指定する

1 ［位置］の選択欄で［中央］、［左上］などからスタンプを押す位置を選びます。

選択肢以外の位置にしたいときは、［座標指定］を選び、［横］と［縦］の座標を指定します。

文字のスタンプを回転させるには

文字のスタンプを回転させることができます。

重 要

Windows 2000/XP では、[スタンプ] タブの [スタンプの種類] で [文字] を選んだときのみ、スタンプを回転させることができます。

1 [スタンプ設定] 画面の [配置] タブの [回転角度] で角度を指定します。

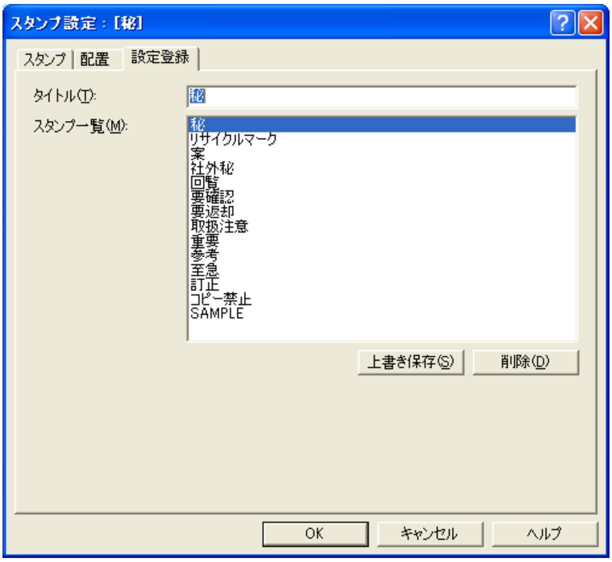
指定した角度の分だけ、スタンプが回転します。数値を大きくすると左回りに回転し、小さくすると右回りに回転します。

スタンプを保存する、削除する

スタンプを保存するには

[スタンプ設定] 画面で次のように操作します。
[スタンプ設定] 画面の表示のしかた →「スタンプを作る、設定をかえる」

1 [設定登録] タブの [タイトル] にスタンプの名前を入力します。



2 [新規保存] または [上書き保存] をクリックします。

[スタンプ一覧] からタイトルを選ぶと、[上書き保存] が表示されます。このボタンをクリックすると、元のスタンプに上書きされます。

3 保存を確認するメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

4 [スタンプ設定] 画面で [OK] をクリックします。

スタンプを削除するには

[スタンプ設定] 画面で次のように操作します。

[スタンプ設定] 画面の表示のしかた →「スタンプを作る、設定をかえる」

1 [設定登録] タブで、一覧の中から削除するスタンプをクリックします。

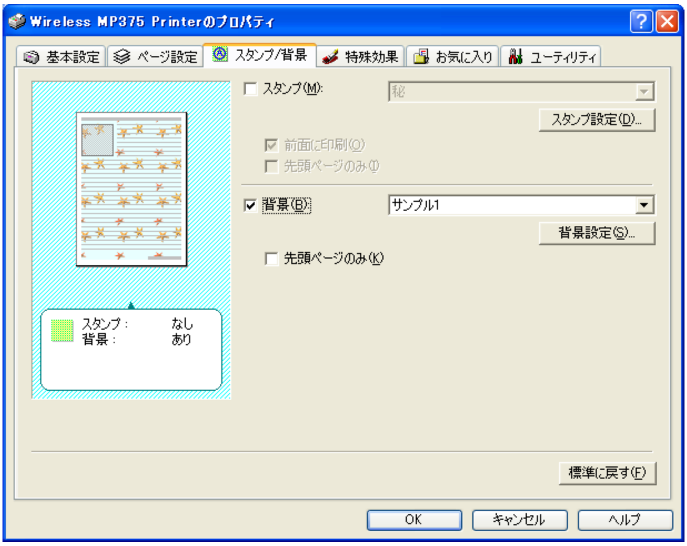
2 [削除] をクリックします。

3 削除を確認するメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

4 [スタンプ設定] 画面で [OK] をクリックします。

背景を選ぶ / ［スタンプ / 背景］タブ

印刷する文書に背景を入れることができます。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［スタンプ / 背景］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」



1 ［背景］にチェックマークをつけて、選択欄で使いたい背景を選びます。

2 最初のページにだけ背景を印刷したいときは、［先頭ページのみ］にチェックマークをつけます。

3 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、［OK］をクリックします。

背景に使える画像は最初からいくつか用意されていますが、設定をかえたり、他の画像をインポートすることもできます。
→「背景に新しい画像を登録する、背景を削除する」

背景に新しい画像を登録する、背景を削除する

背景に新しい画像を登録するには

画像をインポートして背景に登録することができます。
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［スタンプ / 背景］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 [スタンプ / 背景] タブで、[背景] のチェックマークを外します。

2 ［背景設定］をクリックします。



3 ［背景］タブで、［ファイル選択］をクリックします。

4 Windows 2000/XP のときは［ファイルを開く］画面、Windows 98/Me のときは［画像ファイルを選択］画面で、背景にする画像のファイル名を指定して、［OK］をクリックします。

5 ［背景］タブの［配置方法］で、画像をどのように配置するかを選びます。

［座標指定する］を選んだときは、［横］と［縦］の座標を指定します。

［中央に配置する］、［左上に配置する］、［右上に配置する］、［左下に配置する］、［右下に配置する］、［座標指定する］を選んだときは、［背景］タブの左に表示される背景を好きな位置にドラッグし、印刷位置をかえることもできます。

6 [濃度] のスライダを左右に動かして、背景の濃さを調整します。

7 [設定登録] タブをクリックします。



8 [タイトル] に背景の名前を入力して、[新規保存] または [上書き保存] をクリックします。

[背景一覧] からタイトルを選ぶと、[上書き保存] が表示されます。このボタンをクリックすると、元の背景に上書きされます。

9 保存を確認するメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

10 [背景設定] 画面で、[OK] をクリックします。

背景を削除するには

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［スタンプ / 背景］タブで、次のように操作します。

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 ［背景設定］をクリックします。

2 ［設定登録］タブの［背景一覧］から削除する背景を選び、［削除］をクリックします。

3 削除を確認するメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

4 ［背景設定］画面で［OK］をクリックします。

特殊効果を設定する /［特殊効果］タブ

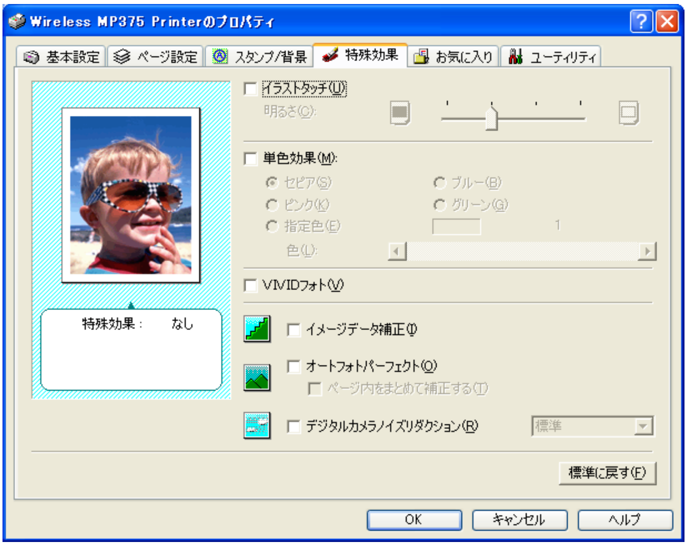
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［特殊効果］タブでは、画像をより印象的なものにするために、写真をイラスト風にしたり、画像の色を単色カラーにかえたり、といった特殊効果を設定できます。

重 要

Windows 98/Me で［バックグラウンド印刷］がオフのときは、［特殊効果］タブの機能のうち、イメージデータ補正だけを使うことができます。

→「バックグラウンド印刷の設定をする（Windows 98/Me のみ）」

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」



イラストタッチ

フルカラーや 256 色のカラー画像を手書きのイラスト風にします。［明るさ］のスライダを使って、明るさを調整できます。

単色効果

フルカラーや 256 色のカラー画像を、［セピア］、［ブルー］、［ピンク］、［グリーン］などの単色カラーにします。
この4色以外の色にしたいときは、［指定色］をクリックして、［色］のスライダで設定します。

重 要

グレースケール印刷を選んでいるときは使えません。

→「用紙や印刷品質を設定する /［基本設定］タブ」

VIVID フォト

画像を鮮明な色で印刷します。
画像の中の人物の自然な肌色を保ったまま、草原や森、海、空などの青や緑の色を鮮明にします。

イメージデータ補正

アプリケーションを使って引き伸ばしたグラフィックや写真がギザギザになったとき、それをなめらかにします。インターネットのホームページなどの解像度の低い画像に適しています。

オートフォトパーフェクト

デジタルカメラで撮影した画像やスキャナで取り込んだ画像の色合いや明るさを補正します。変色や露出不足、露出過度が見られる画像に効果的です。

ページ内をまとめて補正する

1 ページに 2 つ以上の画像があるときにチェックマークをつけると、[オートフォトパーフェクト]の効果がすべての画像に適用されます。

デジタルカメラノイズリダクション

デジタルカメラで撮った写真のノイズを減らして印刷します。とくに空の青い部分や暗い部分を印刷するときに効果的です。
[標準]をお勧めしますが、効果が目立たないときは[強い]を選んでみてください。

参考

- アプリケーションや画像データの解像度によって、効果が目立たないことがあります。
- デジタルカメラで撮った写真以外に使うと、画像が乱れることがあります。

設定をお気に入りに登録する / [お気に入り] タブ

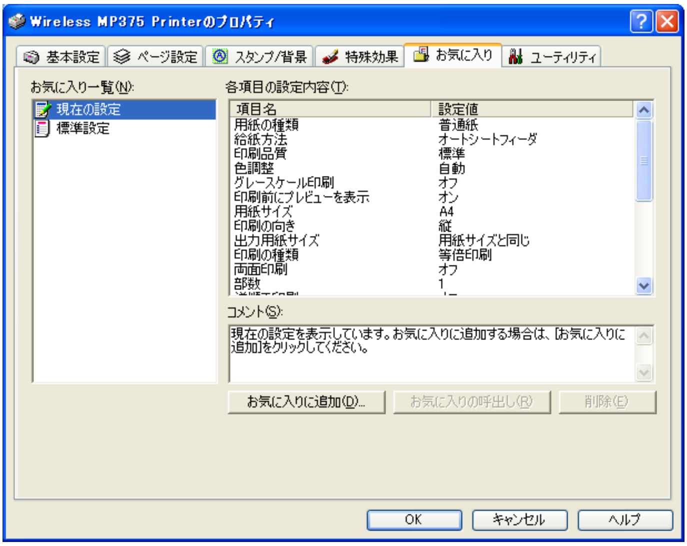
よく使う印刷の設定は、「お気に入り」に登録しておくと便利です。お気に入りは、いつでも簡単に呼び出せます。お気に入りには、[基本設定] タブ、[ページ設定] タブ、[スタンプ / 背景] タブ、[特殊効果] タブの設定が登録されます。
お気に入りは、いらなくなったら削除できます。ただし、あらかじめ登録されている [現在の設定] と [標準設定] は削除できません。
自分で設定したお気に入りを使った後で、[基本設定] タブ、[ページ設定] タブ、[スタンプ / 背景] タブ、[特殊効果] タブの設定を標準設定に戻すこともできます。

お気に入りに登録するには

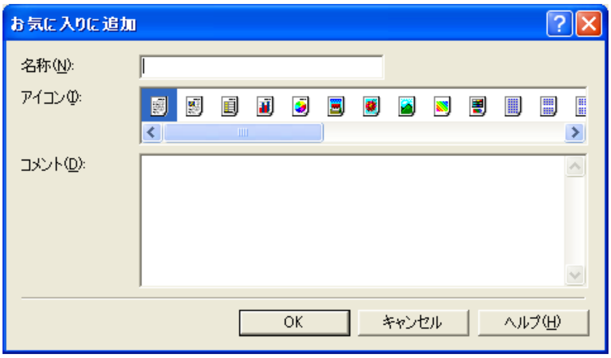
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 [基本設定] タブ、[ページ設定] タブ、[スタンプ / 背景] タブ、[特殊効果] タブで、印刷の設定をします。

2 [お気に入り] タブをクリックします。



3 [お気に入りに追加] をクリックします。



4 [名称] にお気に入りの名前を入力します。

5 [アイコン] で、お気に入り用に使うアイコンをクリックします。

6 [コメント] に、お気に入りに関するコメントを入力して、[OK] をクリックします。確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

お気に入りを呼び出して使うには

1 [お気に入り] タブの [お気に入り一覧] で、呼び出したいお気に入りをクリックします。

2 [お気に入りの呼出し] をクリックします。確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

お気に入りを削除するには

1 [お気に入り] タブの [お気に入り一覧] で、削除したいお気に入りをクリックします。

2 [削除] をクリックします。確認のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックしてください。

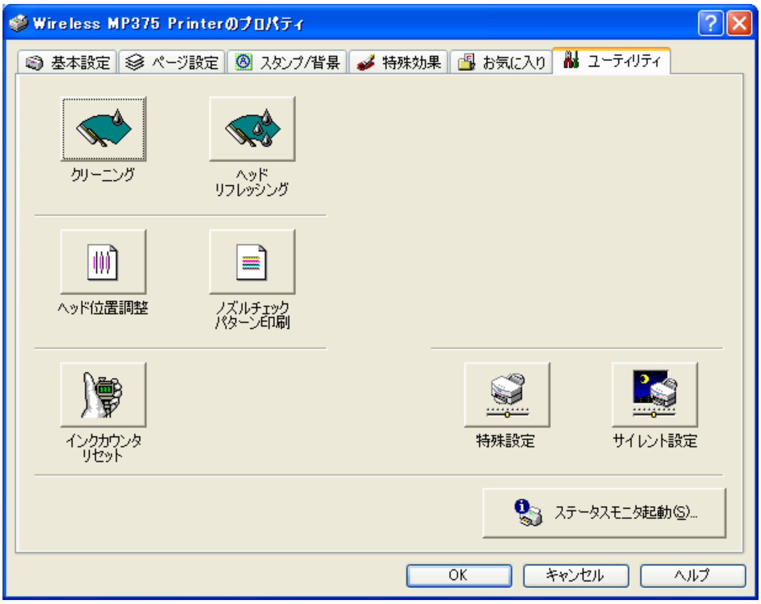
標準設定に戻すには

1. ［お気に入り］タブの［お気に入り一覧］で、［標準設定］をクリックします。

2. ［お気に入りの呼出し］をクリックします。確認のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。

クリーニングや本機の設定をする /［ユーティリティ］タブ

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ユーティリティ］タブでは、プリントヘッドのクリーニングやノズルチェックパターンの印刷、サイレント設定の調整などができます。ステータスモニタもこの画面から開きます。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」



クリーニング、ヘッドリフレッシング →「プリントヘッドをクリーニングする」
ヘッド位置調整 →「ヘッド位置を調整する」
ノズルチェックパターン印刷 →「ノズルチェックパターンを印刷する」
インクカウンタリセット →「インクカウンタをリセットする」
特殊設定 →「乾きにくい用紙の設定（特殊設定）」
サイレント設定 →「動作音を抑える（サイレント設定）」
ステータスモニタ起動 →「BJ ステータスモニタで本機の状態を知る」

プリントヘッドをクリーニングする

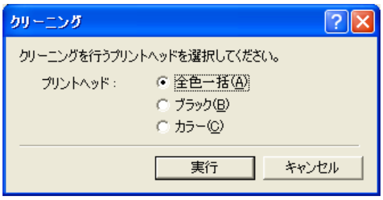
プリントヘッドのノズルの詰まりをとります。インクが十分あるのに印刷がかすれたり、特定の色が印刷されないときに行ってください。クリーニングを頻繁に行うと、インクが早く消費されますので注意してください。プリンタのプロパティ画面の［ユーティリティ］タブで、次のように操作します。

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重要

クリーニング中はほかの操作をしないでください。

1 ［ユーティリティ］タブで、［クリーニング］をクリックします。



2 ［クリーニング］画面でクリーニングを行うプリントヘッドを選び、［実行］をクリックします。

全色一括：ブラックとカラーのプリントヘッドを両方クリーニングする

ブラック：ブラックのプリントヘッドだけクリーニングする

カラー：カラーのプリントヘッドだけクリーニングする



3 Windows 98/Me のときは、確認のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。



4 ［OK］をクリックします。

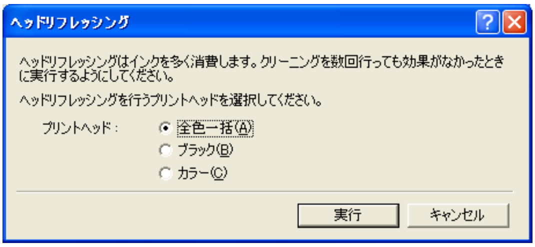
さらに強力なクリーニング（ヘッドリフレッシング）をするには

クリーニングを数回行っても印刷結果が改善されないときは、ヘッドリフレッシングをします。[クリーニング] より強力にクリーニングされます。クリーニングよりもインクが多く消費されるので注意してください。

重 要

ヘッドリフレッシング中はほかの操作をしないでください。

1 **[ユーティリティ] タブで [ヘッドリフレッシング] をクリックします。**



2 **クリーニングと同じように、[全色一括]、[ブラック]、[カラー] のいずれかを選び、[実行] をクリックします。**



3 **[OK] をクリックします。**



4 **[OK] をクリックします。**

ヘッド位置を調整する

ノズルチェックパターンなどに色むらやすじが出るときは、ヘッド位置を調整してください。

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ユーティリティ］タブで、次のように操作します。

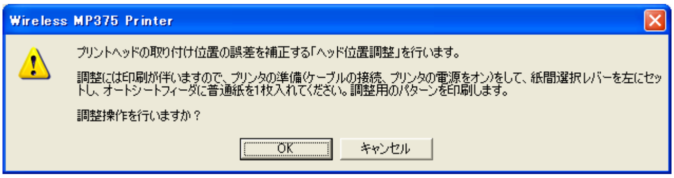
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

重 要

ヘッド位置調整中はほかの操作をしないでください。

1 用紙トレイに、A4 サイズの用紙をセットします。

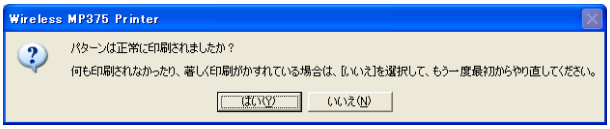
2 [ユーティリティ] タブで、[ヘッド位置調整] をクリックします。



3 [OK] をクリックします。

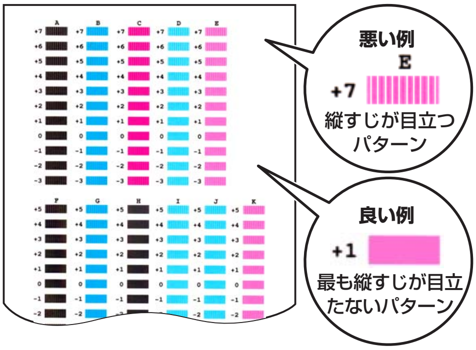


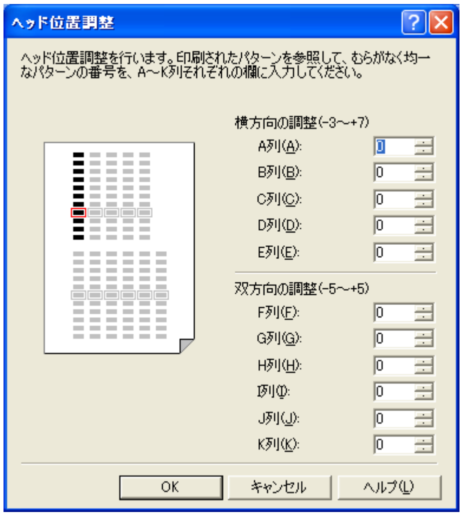
4 [OK] をクリックします。



5 パターンが印刷されたら、[はい] をクリックします。

パターンが印刷されないときは、インクタンクが正しくセットされているか確認してください。





6 印刷されたパターンのA列で、縦すじがいちばん目立たないものを見つけ、その番号を入力します。
同じように、B～K列で、縦すじがいちばん目立たないものの番号をそれぞれ入力し、最後に［OK］をクリックします。



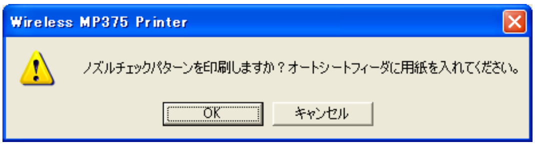
7 ［OK］をクリックします。

ノズルチェックパターンを印刷する

インクが十分あるのに印刷がかすれたり、特定の色が印刷されないときは、ノズルチェックパターンを印刷してください。ノズルチェックパターンを見ると、プリントヘッドの状態がわかります
プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ユーティリティ］タブで、次のように操作します。
プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 用紙トレイに A4 サイズの用紙をセットします。

2 [ユーティリティ］タブで、[ノズルチェックパターン印刷］をクリックします。



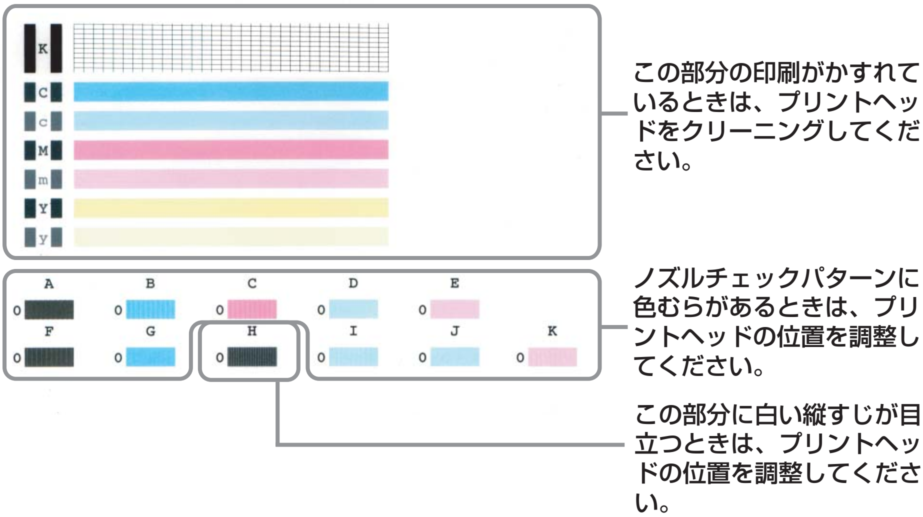
3 [OK］をクリックします。



4 [OK］をクリックします。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

インクが十分にあるときは、ノズルチェックパターンは次のように印刷されます。



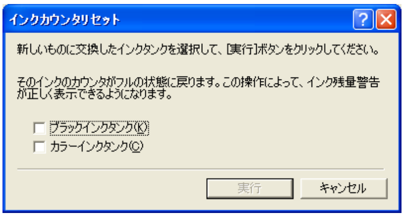
インクカウンタをリセットする

本機でインクタンクを新しいものに交換したときには、インクカウンタをリセットしてください。

プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［ユーティリティ］タブで、次のように操作します。

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

1 ［ユーティリティ］タブで、［インクカウンタリセット］をクリックします。



2 インクカウンタをリセットするインクタンクを選択します。

3 本機の電源が入っていることを確認して、［実行］をクリックします。

重要

必ずインクタンクを新しいものに交換した直後に行ってください。インクがまだあるのにインクカウンタをリセットすると、実状と合わない警告が表示されることがあります。

乾きにくい用紙の設定（特殊設定）

この機能は、プリンタの印刷設定画面を、プリンタのアイコンから表示したときだけ使えます。→「印刷するすべての文書の設定をする」

重要

Windows 2000/XP のときは、「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。

1 ［ユーティリティ］タブで［特殊設定］をクリックします。



2 インク乾燥待ち時間を設定します。

インクが乾きにくい用紙に印刷するときや濃度の高い印刷をするときに、スライダで印刷にかかる時間を調整します。

右にするほど、次のページの印刷開始までの休止時間が長くとられ、プリントヘッドや用紙どうしのインクのこすれなどがなくなります。

左にするほど、休止時間が短くなり、印刷の速度が速くなります。

3 設定が終わったら、本機の電源が入っていることを確認してから、［送信］をクリックします。

確認のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。

設定が本機に登録されます。

参考

設定を初期の状態に戻すときは、［特殊設定］画面で［標準に戻す］をクリックして、［送信］をクリックします。確認のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。

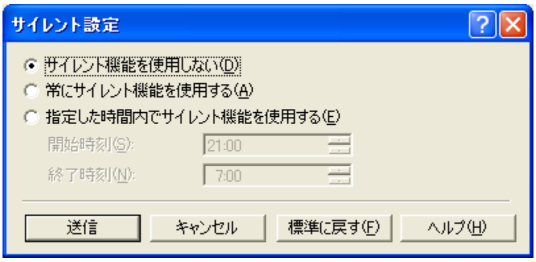
動作音を抑える（サイレント設定）

この機能は、プリンタのプロパティまたは印刷設定画面を、プリンタのアイコンから表示したときだけ使えます。→「印刷するすべての文書の設定をする」

重要

- **Windows 2000/XP のときは、「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。**
- **サイレント設定にすると、印刷時の動作音が小さくなりますが、印刷速度が通常より遅くなります。**

1 ［ユーティリティ］タブで［サイレント設定］をクリックします。



2 次の設定をします。

■サイレント機能を使用しない

サイレント設定にしないときに選びます。通常はこの設定になっています。

■常にサイレント機能を使用する

本機をサイレント設定にするときに選びます。

■指定した時間内でサイレント機能を使用する

決まった時間帯に自動的にサイレント設定にしたいときに選びます。

［開始時刻］と［終了時刻］を 24 時制で入力してください。たとえば、深夜になると自動的に静かになるように設定できます。

3 設定が終わったら、本機の電源が入っていることを確認して［送信］をクリックします。

確認のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。

設定が本機に登録されます。

参考

設定を初期の状態に戻すときは、［サイレント設定］画面で［標準に戻す］をクリックして、［送信］をクリックします。確認のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてください。

BJ ステータスモニタで本機の状態を知る

BJ ステータスモニタを表示すると、本機の状態や印刷の進行状況を見ることができます。本機の状態がリアルタイムに画面に表示され、印刷文書（印刷ジョブ）ごとの進行状況がわかります。また、本機にエラーが発生したり、インクが少なくなっているときも、それが表示され、どう対処したらよいかがわかります。

BJ ステータスモニタを起動するには

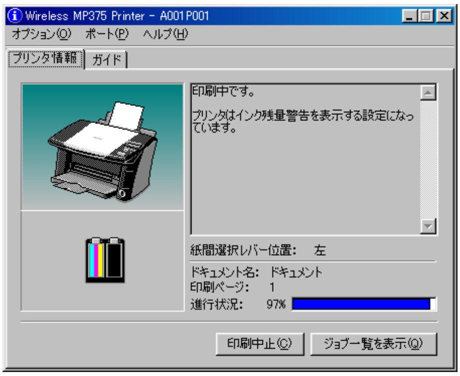
1 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面を表示します。

プリンタのプロパティ画面の開き方 →「印刷の設定をかえる（設定画面の開き方）」

2 ［ユーティリティ］タブの［ステータスモニタ起動］をクリックします。



Windows XP の画面



Windows 98 の画面（印刷中）

BJ ステータスモニタの画面には、本機とインクの状態が絵やメッセージで表示されます。印刷中は印刷文書に関する情報や進行状況を表示します。
エラーが発生すると、その内容と対処方法が表示されますので、指示にしたがってください。

重 要

本機と 2 台以上のパソコンを無線 LAN で接続している場合、BJ ステータスモニタを表示しているパソコンがあると、他のパソコンで印刷やスキャンができなくなることがあります。BJ ステータスモニタを閉じてから他のパソコンで印刷やスキャンを行ってください。

タイトルバー

本機の機種名と使っているポート名を表示します（プリンタ名を変更しているときは、その名称を表示します）。

左上（ガイド欄）

本機の状態や必要な操作を絵で表示します。背景の色には青、黄、赤の 3 種類があり、本機が通常の状態か、警告やエラーが発生している状態かがわかります。

青 ------------- 本機はオンラインで、警告もエラーも発生していません。

黄 ------------- 警告（オペレータコールエラー）が発生しているか、何らかの操作を本機で行っている途中の状態です。メッセージ欄（Windows 98/Me のときは、［ガイド］タブ）の説明を読んで対処してください。

赤 ------------- エラーが発生しています。メッセージ欄（Windows 98/Me のときは、［ガイド］タブ）の説明を読んで対処してください。

左下（インク情報欄）

インクタンクの種類を絵で表示します。インク残量警告やインクなしエラーが発生すると、アイコンで知らせます。

 ------------- インクが残り少なくなっています。

 ------------- 本機がインクの残量を正しく検知できなくなりました。

右上（メッセージ欄）

本機の状態や必要な操作の説明を表示します。

右中（紙間選択レバー位置）

本機の紙間選択レバーの位置を表示します。

右下

ドキュメント名（印刷中の文書の名称）や、印刷しているページ、印刷の進行状況を表示します。

オプションメニューの項目（チェックマークをつけると次の設定になります）

●ステータスモニタを使用（Windows XP/2000 のみ）

本機に関連するメッセージが発生したときだけ、BJ ステータスモニタが起動します。

●印刷中に表示

印刷中には、必ず BJ ステータスモニタが表示されます。

●常に手前に表示

B J ステータスモニタがいつもいちばん手前に表示されます。他の画面の後ろに隠れてもかまわないときはチェックマークをつけません。

●ガイドメッセージを表示－長形封筒印刷

長形封筒に印刷するときに、ガイドメッセージを表示します。

●警告発生時に自動的に表示－インク残量警告のとき

インク残量警告が発生したとき、BJ ステータスモニタが自動的に開き、他の画面よりも手前に表示されます。

●Windows と同時に起動

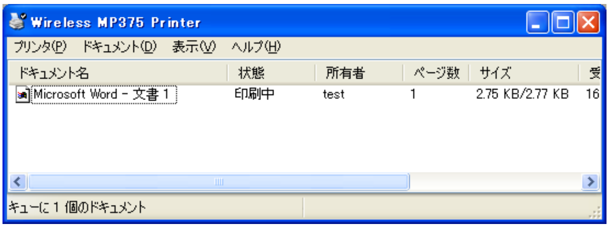
Windows を起動すると BJ ステータスモニタが自動的に起動します。

印刷を中止するには

［印刷中止］をクリックします。ボタンは印刷している間だけ有効です。
印刷が終わると薄く表示されます。

ジョブ一覧を表示するには

［ジョブ一覧を表示］をクリックします。印刷中の文書や印刷待ちの文書の一覧が表示され、印刷の一時停止や中止ができます。



プリンタを共有し、ネットワークで使う（USB 接続のみ）

パソコンをネットワークに接続しているときは、1 台のパソコンに接続した本機をほかのパソコンと共有して使えます。プリンタを共有するときは、サーバ（本機を接続したパソコン。ホスト）で、プリンタを共有プリンタに設定し、クライアント（サーバ以外のパソコン。リモート）ごとに、プリンタドライバをインストールしてください。
使っている OS によって、プリンタを共有できるクライアントが異なります。

サーバの OS	クライアントの OS
Windows 98/Me	Windows 98/Me
Windows 2000/XP	Windows 98/Me/2000/XP

クライアントから共有プリンタで文書を印刷すると、サーバに印刷状況を示すメッセージ（ステータスメッセージやエラーメッセージ）が表示されます。

重要

無線 LAN 接続の場合、プリンタ以外のスキャナ、メモリカードも共有できます。共有設定を行う必要はありません。

共有プリンタに設定するには

1 **サーバで、タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］をクリックします（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから、［プリンタと FAX］をクリックします）。**

2 **［プリンタ］画面（Windows XP のときは［プリンタと FAX］画面）で共有したいプリンタのアイコンを右クリックして、表示されたメニューの［共有］をクリックします。**

メニューに［共有］が表示されないときは、プリンタ共有の設定が必要です。詳しくは、Windows の取扱説明書をご覧ください。

3 **プリンタのプロパティまたは印刷設定画面の［共有］タブで、［共有する］または［このプリンタを共有する］をクリックします。**

4 **共有プリンタの名前を決めて、共有名の入力欄に入力します。**

参考

パスワードを設定することもできます。パスワードを設定すると、クライアントで共有プリンタを使うときに、パスワードの入力が必要になります。

5 サーバが Windows 2000/XP で、クライアントが Windows 98/Me のクライアントと共有しているときは追加ドライバをインストールしてください。

→「Windows 2000/XP でプリンタを共有する」

6 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、［OK］をクリックします。

クライアントにプリンタドライバをインストールするには

クライアントに古いバージョンの MultiPASS Suite がインストールされていると、プリンタドライバをインストールできません。あらかじめ削除してからインストールしてください。

1 サーバのパソコンの電源がONになっていることを確認します。

2 クライアントのパソコンで、タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］をクリックします（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから、［プリンタと FAX］をクリックします）。

3 ［プリンタ］画面（Windows XP のときは［プリンタと FAX］画面）で［プリンタの追加］をダブルクリック（Windows XP のときは［プリンタのインストール］をクリック）します。

4 画面に表示される指示にしたがって操作します。

プリンタドライバは、共有プリンタと同じ名前で、ネットワークプリンタとしてインストールされます。

Windows 2000/XP でプリンタを共有する

サーバが Windows 2000/XP で、クライアントが Windows 98/Me のときは、追加ドライバをインストールしてください。
設定を始める前に、セットアップ CD-ROM を用意してください。

1 サーバで、タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］をクリックします（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから、［プリンタと FAX］をクリックします）。

2 ［プリンタ］画面（Windows XP のときは［プリンタと FAX］画面）で、プリンタのアイコンをクリックします。

3 ファイルメニューの［共有］をクリックします。

4 プロパティ画面の［共有］タブで、［共有する］または［このプリンタを共有する］をクリックします。

5 ［共有名］欄に、共有プリンタにつけたい名前を入力します。

6 ［追加ドライバ］をクリックします。

7 画面に表示される指示にしたがって操作します。

■［追加ドライバ］画面で、サポートしたい OS の種類を選ぶようにメッセージが表示されたら、クライアントの OS を選びます。

サーバの OS が Windows 2000 のとき「Windows 95 または 98」

サーバの OS が Windows XP のとき「Windows 95、98、および Me」

■サーバの OS が Windows 2000 のとき、Windows 2000 の CD-ROM をセットするように表示されたら、代わりにセットアップ CD-ROM をセットします。

■サーバの OS が Windows XP のとき、プリンタドライバに関する画面が表示されたら、セットアップ CD-ROM をセットします。

■INF ファイルを指定するように表示されたら、セットアップ CD-ROM の次のファイルを指定してください。

¥MP¥Japanese¥Win98ME¥Setup¥Drv98ME¥mp51prn.inf

3 スキャン

原稿を読み込む

3

3章 スキャン（原稿を読み込む）

本機の操作パネルを使って読み込む（USB 接続のみ）

USB 接続の場合、本機の［カラースタート］または［モノクロスタート］キーを押すだけで、原稿をパソコンに読み込むことができます。
［モノクロスタート］キーを押すと、MP Toolbox の［保存 -1］をクリックしたときと同じように読み込まれます。［カラースタート］キーを押すと、MP Toolbox の［保存 -2］をクリックしたときと同じように読み込まれます。［保存 -1］や［保存 -2］の設定をかえたり、他のボタンと同じ動作にすることもできます。

→「［カラースタート］または［モノクロスタート］キーを押したときの読み込み方の設定」

重 要

- **電源を入れたあとやパワーセーブから復帰したあとすぐにスキャンすると、画像をきれいに読み込めないことがあります。1 分以上たってからスキャンしてください。**
- **本機を使用しているときに、USB ケーブルを抜き差ししないでください。**
- **無線LAN接続の場合は、本機の操作パネルを使って原稿を読み込むことはできません。MP Toolbox を使って読み込むか、アプリケーションから読み込んでください。**
  →「MP Toolbox を使って読み込む」
  →「アプリケーションから画像を読み込む」
- **［カラースタート］または［モノクロスタート］キーを押したときに、MP Toolbox が自動的に起動しない場合は、［スキャナとカメラ］画面で、MP Toolbox が起動するように設定してください。**
  →「［スキャナとカメラ］画面で設定する」

1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

2 ［スキャン］キーを押します。

本機がスキャンモードに切り替わります。

3 カラースキャンをする場合は、本機の［カラースタート］キーを押し、白黒スキャンをする場合は、本機の［モノクロスタート］キーを押します。

原稿が読み込まれます。

参考

- ［カラースタート］または［モノクロスタート］キーを押したあと、MP Toolbox とその設定画面が開きますが、［実行］をクリックしなくても画像は読み込まれます。
- MP Toolbox では、本機から原稿を読み込む（スキャンする）ときの動作を細かく設定できます。
- 原稿が読み込まれる場所は、お使いのパソコンの環境により異なります。
  - ［マイ ドキュメント］フォルダの中に［マイ ピクチャ］フォルダがある場合は、そこに読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。
  - ［マイ ドキュメント］フォルダの中に［マイ ピクチャ］フォルダがない場合は、［マイ ドキュメント］フォルダの中に読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

［カラースタート］または［モノクロスタート］キーを押したときの読み込み方の設定

はじめて使うときは、本機の［モノクロスタート］キーを押すと、MP Toolbox の［保存 -1］をクリックしたときと同じ動作をするように設定されています。
また、［カラースタート］キーを押すと、MP Toolbox の［保存 -2］をクリックしたときと同じ動作をするように設定されています。［モノクロスタート］キー、［カラースタート］キーを押したときの動作は、次の操作でかえることができます。

重 要

- **無線 LAN 接続の場合は、［カラースタート］/［モノクロスタート］キーに動作を設定することはできません。**
- **インストール後に MP Toolbox を起動すると、無線 LAN 接続の場合でも［カラースタート］/［モノクロスタート］キーが表示されますが、設定画面で［Wireless MP375 Scanner］を選択するとこれらのキーは表示されなくなります。**

MP Toolbox のメイン画面でかえる

1 デスクトップの［Canon MP Toolbox 4.1］をダブルクリックします。
または、タスクバーの［スタート］ボタンから、［(すべての）プログラム］→［Canon］→［MP Toolbox 4.1］→［Toolbox 4.1］をクリックします。

MP Toolbox が開きます。



2 （［カラースタート］キー）または（［モノクロスタート］キー）のマークを、選びたいボタンの上にドラッグします。



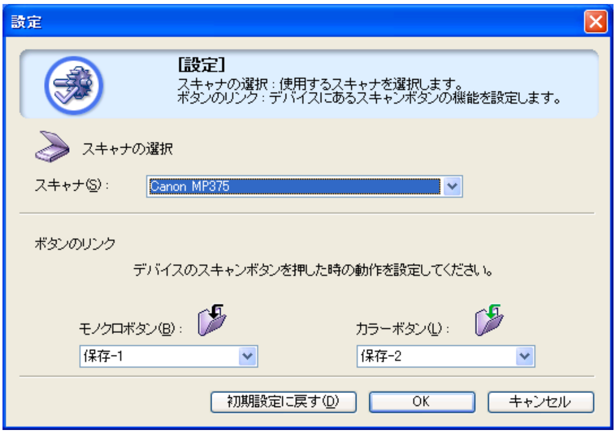
選んだボタンの上にマークが移動します。



MP Toolbox の［設定］画面で選ぶ

1 MP Toolbox の［設定］をクリックします。

2 ［ボタンのリンク］欄の［モノクロボタン］で本機の［モノクロスタート］キーに割り当てる動作のボタンを選びます。［カラーボタン］で本機の［カラースタート］キーに割り当てる動作のボタンを選びます。



3 ［OK］をクリックします。

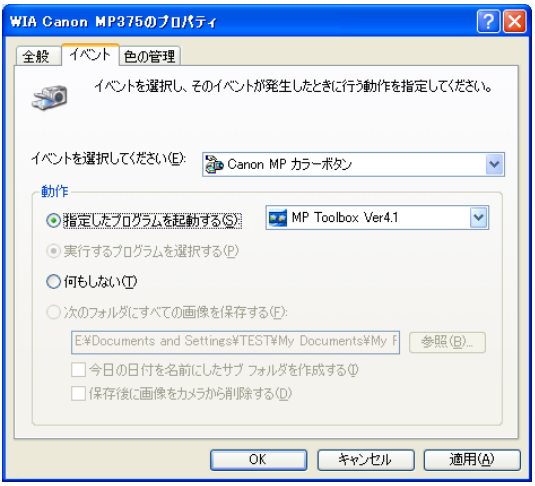
［スキャナとカメラ］画面で設定する

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［コントロール パネル］をクリックします（Windows XP のときは、［スタート］ボタンから、［コントロール パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします）。

2 開いた画面で［スキャナとカメラ］をダブルクリック（Windows XP のときはクリック）します。

3 本機のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします（Windows 98/2000 のときは、本機のアイコンをクリックして、［プロパティ］をクリックします）。

4 [イベント]タブの[次のアプリケーションに送る]欄(Windows XP のときは［動作］欄）で、[カラースタート］または［モノクロスタート］キーを押したときの動作を指定します。



イメージングや Photoshop などのソフトウェアが起動するように設定すると、本機の［カラースタート］または［モノクロスタート］キーを押したときに、まず、ScanGear MP が開きます。

MP Toolbox が起動するように設定すると、MP Toolbox の設定で［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークがついていれば、本機の［カラースタート］または［モノクロスタート］キーを押したときに、まず、ScanGear MP が開きます。

5 [OK］をクリックします。

6 Windows 2000 のときは、パソコンを再起動します。

重 要

Windows 2000 では、再起動しないと設定が有効になりません。

MP Toolbox を使って読み込む

MP Toolbox の用途別のボタンを使って原稿を読み込みます。

1 **本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。**

2 **デスクトップの［Canon MP Toolbox 4.1］をダブルクリックします。**
または、タスクバーの［スタート］ボタンから、[(すべての）プログラム]→［Canon］→［MP Toolbox 4.1］→［Toolbox 4.1］をクリックします。

MP Toolbox が開きます。



3 **目的に合った MP Toolbox のボタンをクリックします。**

それぞれのボタンに応じた設定画面が表示されます。

■保存 -1、保存 -2

原稿が読み込まれ、保存されます。

■ファイル

原稿が読み込まれ、PDF ファイルとして保存されます。

■スキャン -1、スキャン -2

原稿が読み込まれ、登録されたアプリケーションで表示されます。ボタン名は、直接入力してかえることができます。全角4文字（半角8文字）まで入力できます。

■メール

原稿が読み込まれ、E メールソフトウェアで画像を添付したメールが作られます。

■OCR

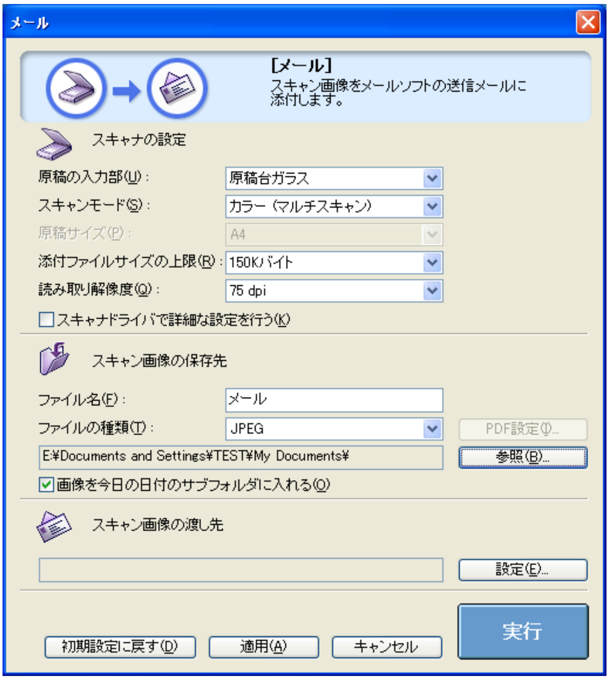
原稿が読み込まれ、OCR ソフトウェア（文字読み取りソフトウェア）に読み込まれます。

セットアップ CD-ROM に収録されているアプリケーションの一部は、インストールすると、MP Toolbox のボタンに登録されます。

［OCR］ボタン	e.Typist エントリー
［スキャン -1］ボタン	ArcSoft Photo Studio

参考

無線 LAN 使用時には「e.Typist エントリー」「ArcSoft Photo Studio」はお使いになることができません。



4 設定を行います。

→「MP Toolbox の設定」

［保存 -1］、［保存 -2］または［ファイル］以外のボタンをクリックして、設定画面の［スキャン画像の渡し先］にアプリケーションが表示されていないときは、アプリケーションを登録してください。

次回以降も同じ設定にしたいときは、［適用］をクリックします。

5 ［実行］をクリックします。

4 の操作で［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークをつけたときは、ScanGear MP が開きます。

ScanGear MP が開いたとき：



○ **設定を行って、[スキャン] をクリックします。**

設定　→「ScanGear MP で細かく設定して読み込む」

原稿が読み込まれます。

3 の操作で［保存 -1］、［保存 -2］または［ファイル］をクリックしたときに保存される場所は、お使いのパソコン環境により異なります。

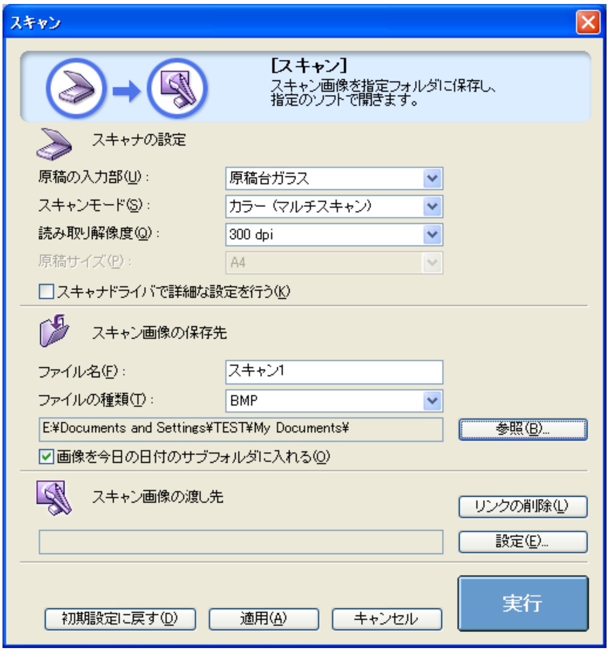
［マイ ドキュメント］フォルダの中に［マイ ピクチャ］フォルダがある場合は、そこに読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

［マイ ドキュメント］フォルダの中に［マイ ピクチャ］フォルダがない場合は、［マイ ドキュメント］フォルダの中に読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

3 の操作で［ファイル］、［スキャン -1］、［スキャン -2］、［メール］、［OCR］をクリックしたときは、読み込みが終わると、読み込んだ原稿がアプリケーションに表示されますので、メールの送信や OCR の変換などの操作をしてください（セットアップ CD-ROM のアプリケーションをインストールしていないときや、［スキャン画像の渡し先］が設定されていないときはアプリケーションの設定をうながすメッセージが表示されます。設定が終わると、アプリケーションが起動します）。

→「MP Toolbox の設定」

MP Toolbox の設定



MP Toolbox では、読み込みについて、次の設定ができます。

スキャナの設定

原稿の入力部

原稿をセットする場所です。
選択できる原稿の入力部は、［原稿台ガラス］のみです。

スキャンモード

どんな原稿をどのように読み込むかを選びます。MP Toolbox のどのボタンをクリックしたかによって、選べるスキャンモードがかわります。

●モノクロ
　白と黒の画像（白黒 2 値の画像）になるように原稿を読み込みます。

●モノクロ（OCR）（［OCR］のみ）
　文書などをはっきりと読み込みます。
　OCR ソフトウェアを使って文字を読み込むときに適しています。グレースケールで読み込んでから、白黒 2 値に変換するので、［モノクロ］より時間がかかります。

●グレースケール
　グレースケールの画像（モノクロ写真のような画像）になるように原稿を読み込みます。写真を読み込むときに適しています。

●カラー（雑誌、カタログ）
　モアレ低減機能を使って、カラーで原稿を読み込みます。モアレ低減機能は、印刷物を読み込むときに発生する縞のような模様（モアレ）をできるだけ減らす機能です。この機能を使うと、読み込み時間が長くなります。

●カラー（プリント写真）
　モアレ低減機能を使わずに、カラーで原稿を読み込みます。

●カラー（マルチスキャン）

原稿台ガラスに置いた複数の原稿を、それぞれの原稿ごとに複数の画像ファイルにします。カラーで読み込みます。

［メール］では、複数の画像が添付されたメール作成画面か、画像が添付された複数のメール作成画面が開きます。

［スキャン -1］、［スキャン -2］では、リンクされているアプリケーションに、複数の原稿が別々のファイルとして渡されます。

［ファイルの種類］が［PDF］で、［マルチページ PDF を作成］にチェックマークをつけると、複数の原稿がひとつの PDF ファイルになります。

重要

複数の画像を受け取れないアプリケーションもあります。

●カラー（オートクロップ）

原稿サイズを自動的に読み取って、原稿部分だけをカラーで読み込みます。原稿台ガラスに複数の原稿を置いても、ひとつの画像ファイルが作られます。

原稿サイズ

読み込む原稿のサイズを選びます。

幅と高さを数値で指定したいときは、［カスタム］を選びます。原稿のサイズを設定する画面が表示されますので、［単位］を選んで、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］をクリックしてください。

重要

［スキャンモード］が［カラー（マルチスキャン）］、［カラー（オートクロップ）］のときは選べません。

添付ファイルサイズの上限（［メール］のみ）

送信する画像のファイルサイズ（圧縮後のファイルサイズ）の上限の目安を選びます。画像によっては圧縮後のファイルサイズが、設定値を超える場合もあります。

一般的なメールでは、［150K バイト］をおすすめします。

重要

［ファイルの種類］が［PDF］のときは、選べません。

読み取り解像度

読み込む細かさ（解像度）を選びます。→「解像度の決めかた」

［メール］のときは、［添付ファイルサイズの上限］の設定によって、選択肢がかわります。

［スキャンモード］が［カラー（オートクロップ）］、［カラー（マルチスキャン）］のときは、75dpi、150dpi、300dpi しか選べません。

［ファイルの種類］が［PDF］のときは、最大 400dpi になります。

スキャナドライバで詳細な設定を行う

チェックマークをつけて［実行］をクリックすると、ScanGear MP の画面が表示され、読み込みについて細かく設定できます。

［スキャンモード］、［原稿サイズ］などの［スキャナの設定］は、ScanGear MP の画面で設定してください。

→「ScanGear MP で細かく設定して読み込む」

チェックマークをつけないと、表示されている設定で、すぐに読み込まれます。

スキャン画像の保存先

ファイル名

読み込んだ画像に付けるファイル名を入力します。

同じ名前のファイルが存在するときは、ファイル名の後ろに「0001」から順に 4 桁の番号が付けられます。拡張子は自動的に付けられます。

ファイルの種類

読み込んだ画像を保存するときのファイルの種類を選びます。

- ●BMP　BMP 形式。
- ●JPEG　JPEG 形式。グレースケールかカラー画像のときだけ選べます。
- ●TIFF　TIFF 形式。
- ●PDF　PDF 形式。［PDF 設定］で細かい設定ができます。

→「2 枚以上の A4 などの原稿をひとつの PDF ファイルにする」

各ボタンで保存できるファイルの種類は次のとおりです。

	BMP	JPEG	TIFF	PDF
［メール］	−	○	−	○
［OCR］	○	−	○	−
［保存 -1］、［保存 -2］	○	○	○	○
［ファイル］	−	−	−	○
［スキャン -1］、［スキャン -2］	○	○	○	−

重 要

［ファイルの種類］が［PDF］のとき、ScanGear MP でカラー／ A4 サイズ／ 600dpi 以上にすると、警告メッセージが表示され読み込めません。原稿サイズや解像度を低くしてください。

保存先
読み込んだ画像の保存先が表示されます。
保存するフォルダをかえるときは、[参照]をクリックし、保存先のフォルダを選んで、[OK]をクリックします。
保存される場所は、お使いのパソコンの環境により異なります。
[マイ ドキュメント]フォルダの中に[マイ ピクチャ]フォルダがある場合は、そこに読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。
[マイ ドキュメント]フォルダの中に[マイ ピクチャ]フォルダがない場合は、[マイ ドキュメント]フォルダの中に読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

画像を今日の日付のサブフォルダに入れる
保存先で設定したフォルダの中に直接保存するか、そのフォルダの中に今日の日付のフォルダ(たとえば「2004-01-01」など)を作って、その中に保存するかを選びます。

スキャン画像の渡し先
読み込んだ画像を使うアプリケーション名が表示されています。
表示されていない場合や、他のアプリケーションを使いたい場合は、[設定]をクリックし、使いたいアプリケーションを選んで、[開く]をクリックします。
[メール]のときに、使いたいアプリケーションがリストに表示されない場合は、[なし(手動で添付)]を選びます。この場合は、アプリケーションが起動しませんので、アプリケーションで、画像ファイルを開いたり、添付する操作などを行ってください。

重要

E メールソフトウェアでは、Outlook Express、Microsoft Outlook、EUDORA、Netscape Messenger に対応しています。

アプリケーションを登録したくないときは、[リンクの削除]をクリックします。リンクの削除を確認する画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。

アプリケーションから画像を読み込む

TWAIN または WIA（Windows XP のみ）に対応したアプリケーションを操作しながら画像を読み込んで、その画像をアプリケーションで使うことができます。
この操作は、アプリケーションによって異なります。ここでは、その一例を示します。
詳しい操作のしかたは、使用するアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

重 要

無線 LAN 接続している場合、WIA ドライバは使用することができません。

1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

2 アプリケーションで原稿を読み込むためのコマンド（「読み込み」、「イメージの取得」など）を選びます。

3 スキャナドライバを選びます。

■無線 LAN 接続しているときは、［Wireless MP375 Scanner］を選びます。

スキャナドライバの後に、次のようなメッセージが表示されることがあります。

<Offline> 本機がオフラインになっています。無線 LAN 接続を確認してください。

<Busy> ネットワーク上の別のユーザが本機のプリンタ機能やスキャナ機能を使用中です。二台以上のパソコンから同時に使うことはできません。また、一台のパソコンからプリンタ機能とスキャナ機能を同時に使うこともできません。

<Unknown> 本機のステータスが不明です。本機を確認してください。

■USB 接続しているときは、［Canon MP375］を選びます。

■Windows XP で USB 接続しているときは、スキャナドライバとして、ScanGear MP（TWAIN）と WIA ドライバを使うことができます。

- ScanGear MP を使うときは、［Canon MP375］を選びます。
- WIA ドライバを使うときは、［WIA Canon MP375］を選びます。

4 必要があれば、スキャナドライバの画面でプレビューし、設定を調整します。

→「ScanGear MP で細かく設定して読み込む」
→「WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）」

5 ［スキャン］をクリックします。

読み込みが終わると、アプリケーションの画像表示領域に読み込んだ画像が表示されます。

2 枚以上の A4 などの原稿をひとつの PDF ファイルにする

A4 などの原稿を 2 枚以上読み込んで、それをひとつの PDF ファイルにまとめることができます。

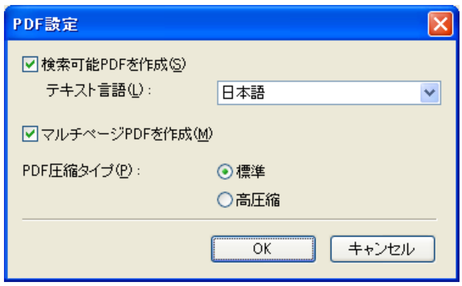
1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

2 デスクトップの［Canon MP Toolbox 4.1］をダブルクリックします。
または、タスクバーの［スタート］ボタンから、[(すべての) プログラム］→［Canon］→［MP Toolbox 4.1］→［Toolbox 4.1］をクリックします。

MP Toolbox が開きます。

3 ［ファイル］をクリックします。
必要があれば、MP Toolbox の設定をします。

4 ［PDF 設定］をクリックします。



5 次の設定をして、［OK］をクリックします。

■検索可能 PDF を作成

チェックマークをつけると、原稿中の文字をテキストデータに変換し、簡単なキーワード検索などができるようになります。［テキスト言語］は［日本語］か［英語］を選び、スキャナの設定にある［読み取り解像度］は 300dpi 以上にしてください。

重要

原稿中のすべての文字を正しく認識できるわけではありません。

■マルチページ PDF を作成

チェックマークをつけると、複数の原稿を 1 つの PDF ファイルにします。

■PDF 圧縮タイプ

［高圧縮］を選ぶと、画像（写真、イラストなど）がより圧縮され、ファイルサイズが小さくなります。

6 ［実行］をクリックします。

3 の操作で［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークをつけたときは、ScanGear MP が開きます。

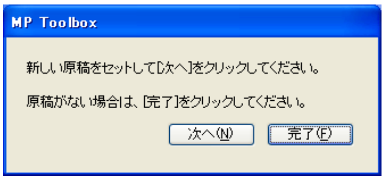
ScanGear MP が開いたとき：



○ 設定を行って、［スキャン］をクリックします。

設定 → 「ScanGear MP で細かく設定して読み込む」

原稿が 1 枚読み込まれるごとに、次の画面が開きます。



7 スキャンを続けるときは、次の原稿をセットしてから［次へ］をクリックしてください。スキャンを終了するときは、［完了］をクリックします。

重要

ScanGear MP を開く設定にして、拡張モードの［設定］タブの［詳細設定］で［スキャン終了後 ScanGear MP を自動的に閉じる］にチェックマークをつけたときは表示されません。

［スキャンモード］が［カラー（マルチスキャン）］のときでも、［マルチページ PDF を作成］にチェックマークをつけると、原稿台ガラスの複数の原稿は 1 つの PDF ファイルになります。続けて複数の原稿を読み込めば、それも 1 つの PDF ファイルになります。

参考

- 文字原稿や白黒原稿を読み込むときは、［スキャンモード］を［モノクロ］か［グレースケール］にすることをおすすめします。
- カラー原稿（［読み取り解像度］が［300dpi］）でマルチページ PDF を作成するときは、1 つの PDF ファイルを 20 ページ以下にすることをおすすめします。
- 原稿が読み込まれる場所は、お使いのパソコンの環境により異なります。
  - ［マイ ドキュメント］フォルダの中に［マイ ピクチャ］フォルダがある場合は、そこに読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。
  - ［マイ ドキュメント］フォルダの中に［マイ ピクチャ］フォルダがない場合は、［マイ ドキュメント］フォルダの中に読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

2 枚以上の小さな原稿をいちどに読み込む

MP Toolbox の［カラー（マルチスキャン）］や、ScanGear MP のマルチスキャン（基本モード）やマルチクロップ（拡張モード）を使うと、2 枚以上の写真（小さいサイズの原稿）を、一度にまとめて読み込むことができます。

→「MP Toolbox の［カラー（マルチスキャン）］」
→「ScanGear MP（基本モード）のマルチスキャン」
→「ScanGear MP（拡張モード）のマルチクロップ」

重 要

次のような原稿は、正しく切り抜いて読み込むことができません。

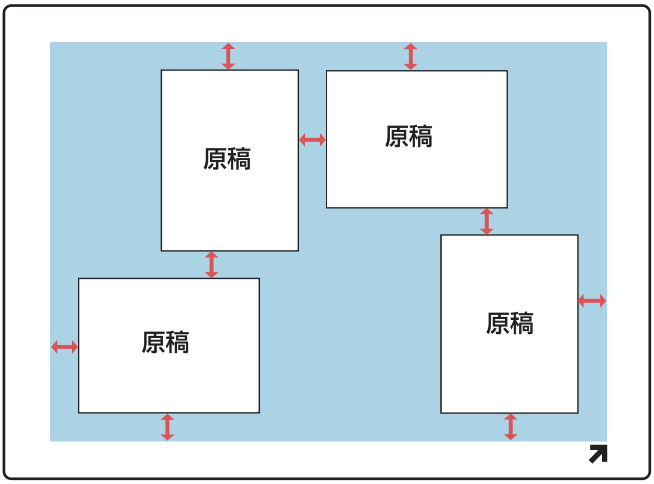
- **1cm 四方より小さい原稿**
- **長い辺と短い辺の比率が 4:1 より大きな、細長い原稿**

次のような原稿は、正しく切り抜けないことがあります。

- **全体が白っぽい写真**
- **周囲が白っぽい写真**
- **写真以外の原稿（とくに白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など）**

原稿の置き方

原稿は 10 枚まで置くことができます。



原稿と原稿の間、原稿台ガラスの端と原稿の間は、1cm 以上空けてください。原稿は、多少斜めになっていても、10 度以内の傾きであれば、自動的にまっすぐに修正されます。

MP Toolbox の［カラー（マルチスキャン）］

MP Toolbox の各ボタンの［スキャナの設定］の［スキャンモード］で［カラー（マルチスキャン）］を選ぶと、2 枚以上の写真などの小さい原稿をいちどに読み込むことができます。
アプリケーションからこの方法で読み込むことはできませんので、ScanGear MP の［マルチスキャン］か［マルチクロップ］を使ってください。

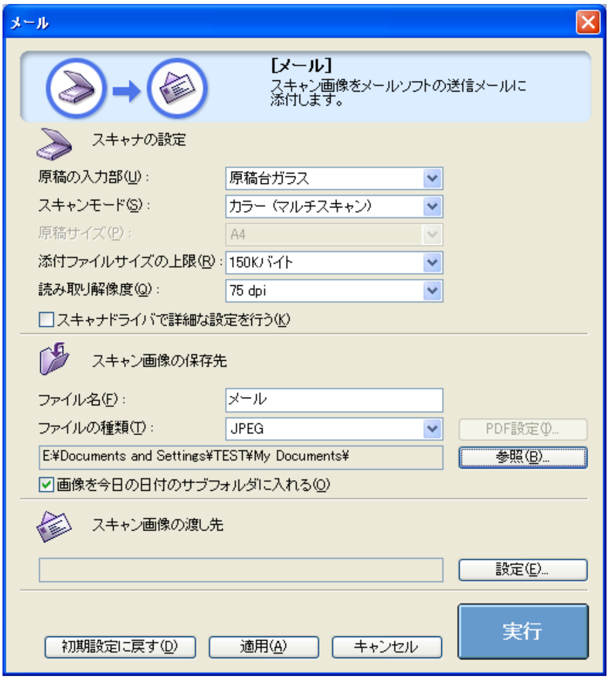
1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

原稿の置き方 →「2 枚以上の小さな原稿をいちどに読み込む」

2 デスクトップの［Canon MP Toolbox 4.1］をダブルクリックします。
または、タスクバーの［スタート］ボタンから、［(すべての) プログラム］→［Canon］→［MP Toolbox 4.1］→［Toolbox 4.1］をクリックします。

MP Toolbox が開きます。

3 MP Toolbox の［保存 -1］と［OCR］以外のボタンをクリックします。



4 ［スキャンモード］で［カラー (マルチスキャン)］を選びます。

必要があれば他の設定も行います。

5 ［実行］をクリックします。

枚数分の読み込みが行われます。

ScanGear MP（基本モード）のマルチスキャン

読み込み範囲などを指定しないで、2 枚以上の原稿を読み込むときは［基本モード］の［マルチスキャン］を使います。それぞれの原稿が 1 枚ずつの画像になります。

1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

原稿の置き方 →「2 枚以上の小さな原稿をいちどに読み込む」

2 次のいずれかの操作をします。

MP Toolbox のボタンを使うとき：

○ **MP Toolbox のボタンをクリックし、［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークをつけます。**

必要があれば他の設定を行い、［実行］をクリックします。

アプリケーションから読み込むとき：

○ **Windows XP で、WIA ドライバを使う設定にしているときは、ScanGear MP に切り替え、アプリケーションで原稿を読み込むためのコマンドを選びます。**

→「アプリケーションから画像を読み込む」

ScanGear MP の画面が開きます。

参考

アプリケーションのコマンド（「読み込み」、「イメージの取得」など）については、アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

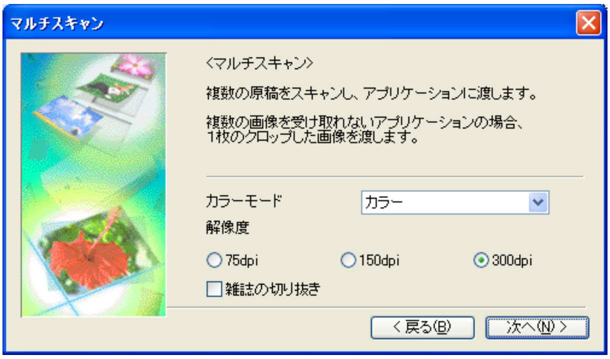
3 ［<< 基本モード］が表示されているときは、［<< 基本モード］をクリックします。

→「基本モードと拡張モードを切り替える」

4 プレビューを見たいときは、［プレビュー］をクリックします。

プレビューとして仮に原稿が読み込まれます。

5 ［マルチスキャン］をクリックします。



6 カラーモードや解像度の設定をします。

■カラーモード

［カラー］、［グレースケール］、［モノクロ］のうち、いずれかを選びます。

■解像度

［75dpi］、［150dpi］、［300dpi］のうち、いずれかを選びます。数字が大きいほどきめ細かい画像になります。→「解像度の決めかた」

■雑誌の切り抜き

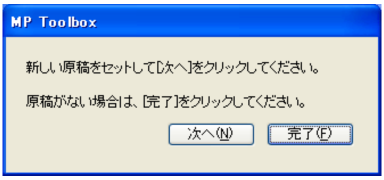
カラーの雑誌を読み込むのに適した設定になり、モアレ低減機能がはたらきます。

7 ［次へ］をクリックします。

枚数分の読み込みが行われます。

■ MP Toolbox の設定で［ファイルの種類］を［PDF］にしたとき：

○ 原稿が 1 枚読み込まれるごとに、次の画面が開きます。



○ 原稿をセットしてから［次へ］をクリックします。スキャンを終了するときは、［完了］をクリックします。

重要

拡張モードの［設定］タブの［詳細設定］で［スキャン終了後 ScanGear MP を自動的に閉じる］にチェックマークをつけたときは、表示されません。

ScanGear MP（拡張モード）のマルチクロップ

マルチクロップ（拡張モード）を使うと、2 枚以上の写真（小さいサイズの原稿）を、細かい指定をした上で、一度にまとめて読み込むことができます。
マルチスキャンと違って、読み込む範囲などを調整できます。

1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

原稿の置き方 →「2 枚以上の小さな原稿をいちどに読み込む」

2 次のいずれかの操作をします。

MP Toolbox のボタンを使うとき：

- MP Toolbox のボタンをクリックし、[スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークをつけます。
- 必要があれば他の設定を行い、[実行］をクリックします。

アプリケーションから読み込むとき：

- Windows XP で、WIA ドライバを使う設定にしているときは、ScanGear MP に切り替え、アプリケーションで原稿を読み込むためのコマンドを選びます。

→「アプリケーションから画像を読み込む」

ScanGear MP の画面が開きます。

参考

アプリケーションのコマンド（「読み込み」、「イメージの取得」など）については、アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

3 [拡張モード >>］が表示されているときは、[拡張モード >>］をクリックします。

4 [プレビュー］をクリックします。

プレビューとして原稿が仮に読み込まれます。

5 必要があれば、[カラーモード］や［出力解像度］などの設定を変更します。

→「拡張モード－［メイン］タブの設定」

6 マルチクロップの［適用］をクリックします。

プレビューの原稿が、それぞれ点線で囲まれます。それぞれの点線の枠にしたがって原稿が分割され、読み込まれます。

点線の範囲をすべて解除したいときは、［リセット］をクリックします。

7 点線の枠を調整したいときは、点線をドラッグします。枠を消去したいときは、枠を右クリックして［削除］をクリックします。

8 ［スキャン］をクリックします。

枚数分の読み込みが行われます。

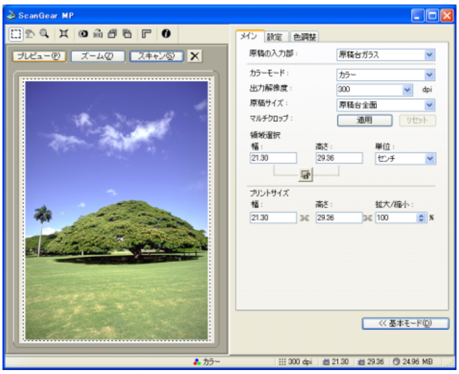
ScanGear MP で細かく設定して読み込む

ScanGear MP を使うと、プレビュー（仮読み込み）で画像がどのように読み込まれるかを確認したり、画像の大きさや色などを細かく調整できます。プレビューに問題がなければ、正式に文書を読み込みます。
原稿を読み込むときに、ScanGear MP で設定してから読み込みたいときは、MP Toolbox で［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークをつけてスキャンするか、アプリケーションから読み込みます。
Windows XP でアプリケーションから読み込むときは、アプリケーションで ScanGear MP を選んでから読み込みます。
→「アプリケーションから画像を読み込む」

基本モードと拡張モードを切り替える

ScanGear MP には、［基本モード］と［拡張モード］があります。簡単に設定して読み込むときは［基本モード］で読み込んでください。［拡張モード］では、解像度や色調などの細かい設定ができます。

1 右上に［基本モード］タブがあるときは基本モードです。拡張モードにしたいときは、右下の［拡張モード >>］をクリックしてください。
右下に［<< 基本モード］があるときは、拡張モードです。基本モードにしたいときは、［<< 基本モード］をクリックしてください。

→「基本モードの操作」
→「拡張モードの操作」

基本モードの操作

基本モードの画面は、拡張モードよりシンプルです。
原稿をセットする場所と原稿の種類だけを選んで読み込みます。



1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

2 [原稿のタイプ]を選びます。

- ●写真　カラー写真を読み込むとき(カラー、300dpi)
- ●雑誌　カラーの雑誌を読み込むとき(カラー、150dpi、モアレ低減)
- ●新聞　文字や線画だけの原稿をモノクロで読み込むとき(モノクロ、300dpi)
- ●文書　カラーの写真や原稿をモノクロで読み込むとき、高解像度のモノクロ画像が必要なとき(グレースケール、300dpi)

[写真]、[雑誌]、[文書]を選ぶと、自動色調整機能がはたらきます。

参考

拡張モードの[設定]タブの[詳細設定]をクリックして表示される画面の[常に自動色調整を行う]をオフにすると自動色調整機能ははたらかなくなります。

3 プレビュー(仮読み込み)を見たいときは、[プレビュー]をクリックします。

プレビューの読み込みが行われ、画面の左側に原稿が表示されます。

4 [スキャン]をクリックします。

原稿が読み込まれます。

拡張モードの操作

拡張モードでは、プレビューの色合いや明るさなどを調整できます。



1 本機の原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットします。

2 [カラーモード]、[出力解像度]、[原稿サイズ] を選びます。

→「拡張モード－［メイン］タブの設定」

3 [プレビュー] をクリックします。

参考

プレビュー領域で範囲を指定し、[ズーム] をクリックすると、指定した範囲の画像をもう一度読み込んで拡大表示します。拡大表示されると、[ズーム] が [戻す] にかわります。拡大表示を元に戻すには、[戻す] をクリックします。

4 原稿の一部を読み込みたいときは、範囲を指定します。

→「拡張モード－読み込む範囲を指定する」

5 元の原稿を拡大／縮小して印刷したいときはプリントサイズを指定します。

→「拡張モード－［メイン］タブの設定」

6 必要に応じて、画像の回転や反転、[モアレ低減]、[輪郭強調] などの設定を行います。

→「拡張モードのツールバー」
→「拡張モード－［設定］タブの設定」

7 必要に応じて、[色調整] タブで画像の明るさや色合いなどを調整します。

→「拡張モード－ [色調整] タブの設定」

8 [スキャン] をクリックします。

画像が読み込まれます。

拡張モードのツールバー

拡張モードのツールバーで、プレビューした画像を調整したり、表示された画像の一部を選ぶことができます。



プレビューを拡大するには、縮小するには

1 ツールバーの （ズームボタン）をクリックします。

2 拡大するときは、画像の上でクリックします。
縮小するときは、画像の上で右クリックします。

画像を移動するには

1 拡大した画像が画面に入りきらないときは、ツールバーの （画像移動ボタン）をクリックして、見たい部分が表示されるように画像をドラッグします。

スクロールバーでも同じように移動ができます。

画像の色を反転させるには

1 ツールバーの （色反転ボタン）をクリックします。

画像の左右を逆にするには

1 ツールバーの （鏡映ボタン）をクリックします。

画像を回転させるには

画像を左に 90 度回転させるには、ツールバーの （左回転ボタン）をクリックします。
右に 90 度回転させるには、 （右回転ボタン）をクリックします。

プレビュー領域に定規を表示するには

1 ツールバーの （ルーラーボタン）をクリックすると、プレビュー領域の上端と左端に定規が表示されますので、より正確に作業ができます。

表示されているプレビューを消すには

1 （クリアボタン）をクリックします。消去を確認する画面が開いたら、[OK] をクリックします。

ツールバーの切り離しと移動

1 ツールバーの端でマウスのボタンを押し、そのままドラッグすると、ツールバーが ScanGear MP の画面から切り離されます。ツールバーのタイトル部分をダブルクリックすると、元に戻ります。
プレビュー領域の左や右、下の枠にドラッグすると、その位置にくっつきます。

拡張モード－読み込む範囲を指定する

画像の一部を選ぶことによって、読み込む範囲を指定できます。もう一度読み込むと、選んだ範囲だけが読み込まれます。
範囲を指定するには、いくつかの方法があります。

読み込む範囲を自動的に選ぶには

1 プレビューを行ってから、ツールバーの （オートクロップボタン）をクリックします。このボタンをクリックするたびに、範囲がだんだん狭くなります。

次の操作によって、選んだ領域のサイズや位置をかえることができます。

読み込む範囲を指定するには

1 範囲を選んだ後も、画像に設定されている現在の幅と高さの比率を保持したいときは、［メイン］タブで （縦横比固定ボタン）をクリックします。

2 次のいずれかの操作をします。

ドラッグして指定する

（クロップボタン）をクリックします。選びたい範囲の左上角にマウスポインタを置いて、選びたい範囲の右下角に向けてドラッグします。さらに調整したいときは、選んだ範囲の角や辺をドラッグします。

サイズを指定する

領域選択の［幅］と［高さ］の欄に選びたい範囲のサイズを入力します。

参考

縦横比固定ボタンをクリックしたときは、［幅］か［高さ］のどちらかを入力するだけで、もう一方は自動的に設定されます。

3 選んだ範囲を動かすときは、範囲の内側にマウスポインタを置いて、ドラッグします。

4 プレビューするときは、［プレビュー］をクリックします。

設定を解除するときは、範囲の外側でクリックします。

拡張モードー［メイン］タブの設定



［メイン］タブでは、次の項目を設定します。

原稿の入力部

原稿をセットする場所を選びます。
選択できる原稿の入力部は、［原稿台ガラス］のみです。

カラーモード

どんな原稿をどのように読み込むかを選びます。

●モノクロ

写真などの原稿をモノクロのプリンタで出力するときに選びます。画像を白と黒の 2 色で表現します。画像の明暗をあるレベル（スレッショルド値）で白と黒に分割し、2 色で表現します。スレッショルド値は［ハーフトーン］タブで設定します。

●グレースケール

白黒写真などの読み込みやモノクロ画像が必要なときに選びます。画像を白黒 256 段階（グレースケール）で表現します。

●カラー

カラー原稿などを読み込むときに選びます。画像を、R、G、B 各色 256 段階（8 ビット）で表現します。

●テキスト（OCR）

文字などをはっきりと読み込みます。OCR ソフトウェアなどで文字を読み込むときに選びます。画像を白と黒の 2 色で表現します。グレースケールで読み込んでから白黒に変換するので、［モノクロ］より時間がかかります。

出力解像度

読み込むときの解像度を選びます。
解像度を高く（数字を大きく）するほど、きめ細かい画像になります。
クリックして表示される選択肢から選ぶか、25 ～ 2400dpi の範囲の数値（1dpi 単位）、または 4800、7200、9600dpi のいずれかの数値を入力します。

→「解像度の決めかた」

原稿サイズ

読み込む原稿のサイズを選びます。原稿サイズを選ぶと、プレビュー領域の大きさ（縦横比率）がかわります。
プレビューしたり、読み込む範囲を指定しないで読み込むときに、必要以上の範囲を読み込まないようにするために指定します。原稿のサイズがわからないときは、大きめに設定してください。プレビュー後に範囲指定できます。
プレビュー後に［原稿サイズ］をかえると、プレビュー画像が消去されます。

マルチクロップ

プレビュー画像が表示されているときに［適用］をクリックすると、原稿台に置かれた 2 枚以上の原稿を、1 枚ずつ範囲指定（クロップ）します。［スキャン］をクリックすると、枚数分の画像として読み込みます。
画像を右クリックして［削除］を選ぶと、その画像の範囲指定は解除されます。［リセット］をクリックすると、すべての範囲指定が解除されます。
→「ScanGear MP（拡張モード）のマルチクロップ」

領域選択

読み込む範囲の幅と高さを、数値を入力して指定できます。入力後、他の表示部をクリックするか、Enter キーを押すと、クロップ枠の大きさがかわります。（縦横比固定ボタン）をクリックすると、（鍵がかかったアイコン）にかわり、幅と高さの比率が保たれるようになります。

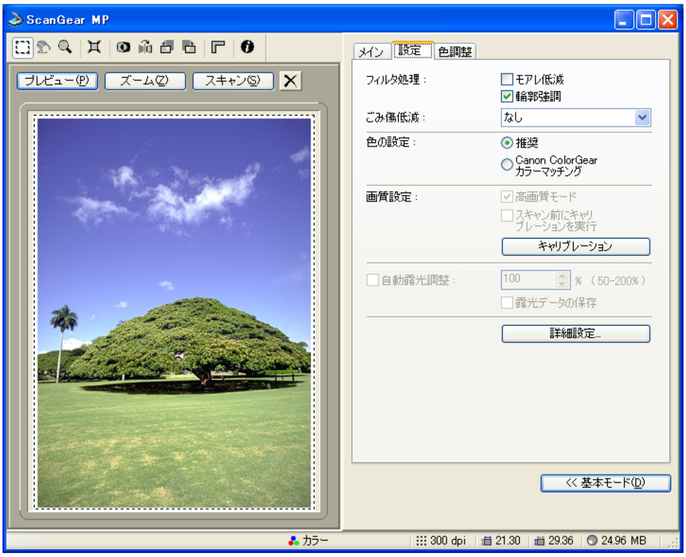
重 要

- **アプリケーションによっては、受け取れる画像データの容量に制限があります。範囲が 21,000 × 30,000 ピクセル以上のときは受け取れません。**
- **入力できる数値は、選ばれている原稿サイズの範囲内です。最小選択範囲は、［出力解像度］が 600 dpi のときで 96 × 96 ピクセルです。**

プリントサイズ

指定した読み込み範囲のプリントサイズ（出力サイズ）を設定します。
［幅］、［高さ］、［拡大／縮小］のいずれかに数値を入力するか、［拡大／縮小］の表示部右の▲、▼をクリックして設定します。設定後、他の表示部をクリックするか Enter キーを押すと、入力した数値に連動して他の数値がかわります。
この設定をかえても、クロップ枠の大きさ、［出力解像度］の設定はかわりません。実際に読み込むときの解像度（読み取り解像度）は［拡大／縮小］の % に比例してかわります。
［幅］と［高さ］の比率は、［領域選択］の［幅］と［高さ］の比率と連動しています。［拡大／縮小］は、25 ～ 400 の範囲（1%単位）で設定できます。［出力解像度］を 4800、7200、9600dpi にすると、100%に固定されます。

拡張モードー［設定］タブの設定



［設定］タブでは、次の項目を設定します。

フィルタ処理

●モアレ低減

印刷された写真や絵を読み込むときは、［モアレ低減］にチェックマークをつけます。はじめて使うときは、チェックマークはついていません。

重要

- **［カラーモード］が［モノクロ］か［テキスト（OCR)］のときは設定できません。**
- **［出力解像度］が 600dpi を超えるときは、設定できません。**
- **［モアレ低減］がオンになっていても、［輪郭強調］がオンになっていると、モアレが残ることがあります。この場合は、［輪郭強調］をオフにしてください。**
- **ScanGear MP 画面を表示しないアプリケーションから読み込むときは、設定できません。**
- **ScanGear MP を使わないで、MP Toolbox から読み込むときは、［スキャンモード］で［カラー（雑誌、カタログ)］を選ぶとモアレ低減ができます。**

参考

- 印刷された写真や絵は、細かい点の集まりで表現されています。そのまま読み込むと、点と点が干渉し、モアレといわれる濃淡のむらや縞模様が出ることがあります。モアレ低減は、このモアレを少なくする機能です。
- 基本モードの［原稿のタイプ］で、［雑誌］を選ぶと、拡張モードの［モアレ低減］を選んだときと同じ効果があります。

●輪郭強調

チェックマークをつけると、画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。はじめて使うときは、チェックマークがついています。ピントのあまい写真などを読み込むときに効果的です。

ごみ傷低減

写真を読み込むと、ゴミや傷が原因で白い点が出ることがあります。このゴミや傷をできるだけ少なくします。[弱]、[標準]、[強] のいずれかを選びます。はじめて使うときは、[なし] になっています。

●なし

ごみ傷低減を行いません。

●標準

通常は、この設定をおすすめします。

●弱

小さなゴミや傷を減らします。大きいゴミや傷は残ることがあります。

●強

大きいゴミや傷も減らすことができますが、処理をした跡が残ったり、画像の微妙な部分を消去してしまうことがあります。

重要

- **印刷物を読み込むときは、[なし] をおすすめします。**
- **[出力解像度] が 600dpi 以下で [モアレ低減] がオンのとき、[ごみ傷低減] は選べません。[出力解像度] を 601dpi 以上に設定すると、[モアレ低減] が自動的にオフになり、[ごみ傷低減] を選べます。**
- **写真の種類によっては、この機能を使わない方がいい場合があります。**

色の設定

次のうち、いずれかをクリックします。はじめて使うときは、[推奨] になっています。

●推奨

原稿の色合いを、画面上で鮮やかに再現します。通常は、この設定を選ぶことをおすすめします。

●Canon ColorGear カラーマッチング

スキャナ、ディスプレイ、カラープリンタの間の色調が合うように自動調整し、ディスプレイやプリンタの色合わせなどの手間を軽減します。

[カラー] モードのときに有効です。

カラーマッチングをオンにすると、[色調整] タブの機能は使えなくなります（[色調整] タブが表示されなくなります)。

キャリブレーション

プレビュー画像の色合いが、原稿と違うときに [キャリブレーション] をクリックすると、キャリブレーションがはじまり、読み込んだ画像が正しい色合いになるように調整されます。

重要

キャリブレーションが行われている間は、絶対に原稿台カバーをあけないでください。

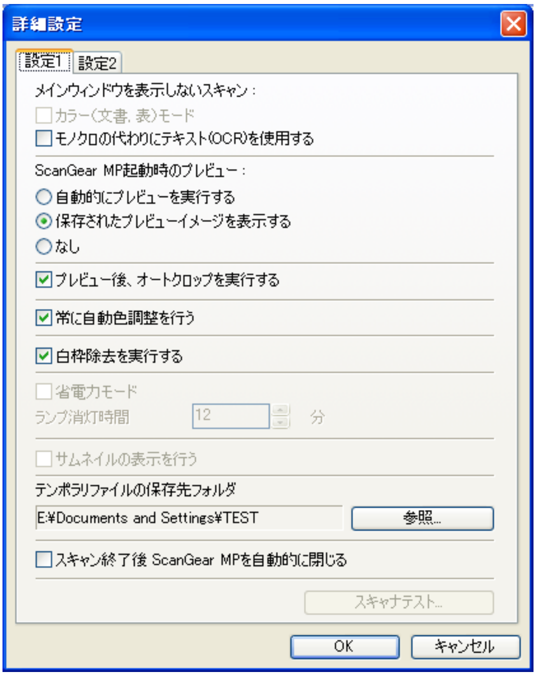
詳細設定

ここをクリックすると、[詳細設定] 画面が表示されます。スキャンやプレビュー時の動作の設定ができます。

→「拡張モードー [詳細設定] 画面ー [設定 1] タブの設定」
→「拡張モードー [詳細設定] 画面ー [設定 2] タブの設定」

拡張モードー［詳細設定］画面ー［設定 1］タブの設定

［詳細設定］画面は、拡張モードの［設定］タブで、［詳細設定］をクリックすると表示されます。



［設定 1］タブでは、次の設定ができます。

メインウィンドウを表示しないスキャン

OCRソフトウェアなど、読み込み時にScanGear MPの画面を表示しないアプリケーション（UIオフモード）では、カラーモードがかえられないので、アプリケーションの設定値で読み込まれます。アプリケーションの設定値を無視して、特定のカラーモードでスキャンしたいときは、ここで設定します。はじめて使うときは、両方ともオフになっています。

●カラー（文書、表）モード

設定できません。

●モノクロの代わりにテキスト（OCR）を使用する

アプリケーションで［モノクロ］の設定をしたときに、［テキスト（OCR）］で読み込みます。

重 要

この設定は、UI モード（ScanGear MP の画面を表示するモード）のときは無効です。

ScanGear MP 起動時のプレビュー

ScanGear MP を起動したときのプレビューの動作を選びます。はじめて使うときは、［保存されたプレビューイメージを表示する］が選ばれています。

●自動的にプレビューを実行する

ScanGear MP が起動すると、自動的にプレビューを開始します。

● 保存されたプレビューイメージを表示する

前回、プレビューしたときの画像を表示します。

［色調整］タブの設定項目、ツールバーの鏡映、左回転、右回転、色反転、ルーラーボタンの設定も再現されます。

● なし

起動時はプレビュー画像を表示しません。

プレビュー後、オートクロップを実行する

チェックマークをつけると、プレビューした後、自動的に原稿サイズに合わせて読み込む範囲を選びます。はじめて使うときは、オンになっています。

常に自動色調整を行う

チェックマークをつけると、読み込んだ画像に、常に自動色調整を行います。はじめて使うときは、オンになっています。

白枠除去を実行する

マルチスキャン、マルチクロップで読み込むとき、原稿の周囲の白い余白を自動的に除いてクロップします。はじめて使うときは、オンになっています。

省電力モード

省電力モードは設定できません。

サムネイルの表示を行う

サムネイルは表示できません。

テンポラリファイルの保存先フォルダ

画像を一時的に保存するフォルダを指定します。［参照］をクリックして、保存先のフォルダを指定します。

スキャン終了後 ScanGear MP を自動的に閉じる

チェックマークをつけると、画像を読み込んだ後、ScanGear MP の画面が自動的に閉じます。はじめて使うときは、オフになっています。

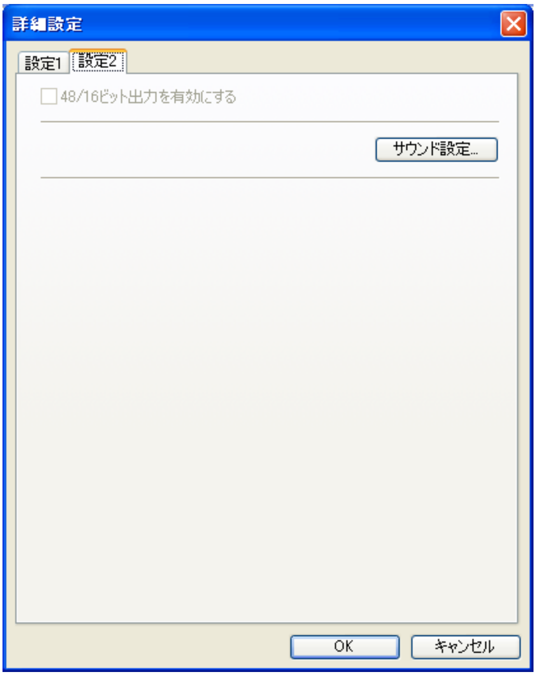
アプリケーションによっては、この設定に関わらず、スキャン終了後、ScanGear MP を自動的に閉じます。

スキャナテスト

実行できません。

拡張モードー［詳細設定］画面ー［設定 2］タブの設定

［詳細設定］画面は、ScanGear MP（拡張モード）の［設定］タブで、［詳細設定］をクリックすると表示されます。



［設定 2］タブでは、次の設定ができます。

48/16 ビット出力を有効にする

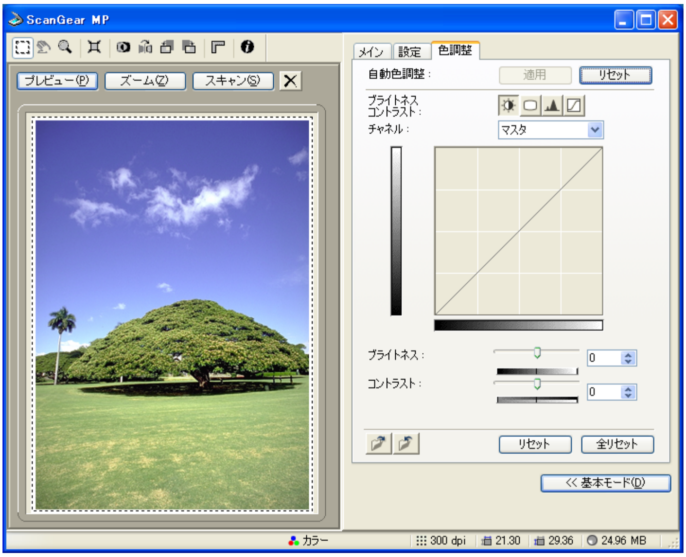
設定できません。

サウンド設定

スキャン中、またはスキャン終了時に音楽を流すことができます。
［サウンド設定］をクリックし、［スキャン中に音楽を流す］や［スキャン終了を音で通知する］にチェックマークをつけ、［参照］をクリックして、サウンドファイルを指定します。
次のファイルを指定できます。
●MIDI ファイル（*.mid、*.rmi、*.midi）
●オーディオファイル（*.wav、*.aiff）
●MP3 ファイル（*.mp3）

拡張モードー［色調整］タブの設定

［色調整］タブでは、画像全体の明るさ（ブライトネス）や画像の明暗差（コントラスト）の調整、モニタの明るさに合った調整（ガンマ値の補正）、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）など、画像の明るさや色合いにかかわる詳細な設定ができます。
［色調整］タブは、［メイン］タブのカラーモードが［カラー］または［グレースケール］のときに表示されます。
［モノクロ］のときは［ハーフトーン］タブにかわり、［テキスト（OCR）］のときは表示されません。［設定］タブの［Canon ColorGear カラーマッチング］がオンのときも表示されません。
［色調整］タブで画像を調整すると、その結果はすぐにプレビュー画像に反映されます。また、読み込み時にも反映されます。



色合いを自動的に補正するには

1 範囲を指定し、［自動色調整］の［適用］をクリックします。

指定した範囲の画像の明るさが最適な状態になるように自動調整されます。

色調整の結果は画像全体に反映され、実際の読み込み時にも反映されます。

プレビュー画像が表示されていないときは、実行できません。

はじめて使うときは、プレビューを行うと、オートクロップした枠の中の画像で自動色調整が実行されるように設定されています。プレビューを行うと、［適用］は無効になり、自動色調整は実行できません。

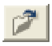
［リセット］をクリックすると、自動色調整する前の状態になりますので、［適用］が有効になり、自動色調整が実行できます。

設定をカラー調整ファイルに保存するには

1 （保存ボタン）をクリックします。

同じ画像を再度読み込むときに、設定値を保存しておくと、同じ設定で読み込めます。拡張子は、カラーが（.adc）、グレースケールが（.adg）です。

保存されているカラー調整ファイルの設定内容を読み込むには

1 （ロードボタン）をクリックします。

保存した設定値を読み込みます。拡張子は、カラーが（.adc）、グレースケールが（.adg）です。

表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態にするには

1 [リセット] をクリックします。

すべての補正をとりやめ、初期状態にするには

1 [全リセット] をクリックします。

[マスタ]、[赤]、[緑]、[青]、およびブライトネス / コントラスト、ガンマ、ヒストグラム、トーンカーブすべての調整が中止され、初期状態に戻ります。

自動補正で調整した画像も、もとの状態に戻ります。

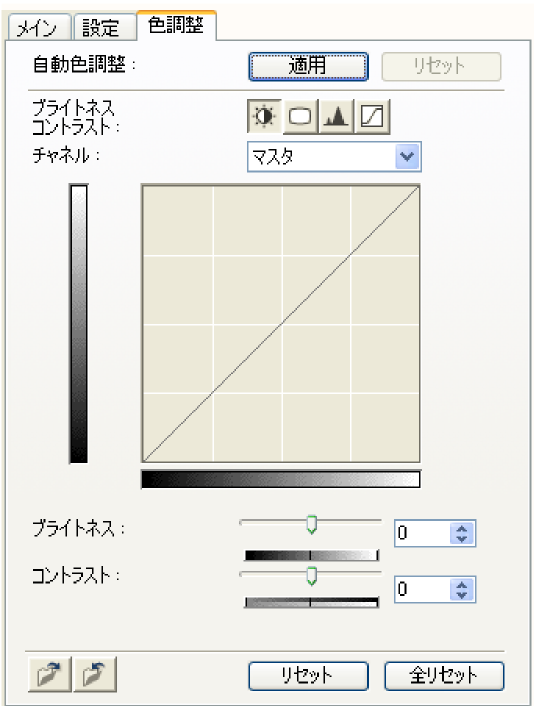
拡張モードー［色調整］タブーブライトネス、コントラスト

画像の明るさ（ブライトネス）や明暗差（コントラスト）を調整します。読み込む前の元の画像が、暗すぎたり、明るすぎたり、明暗差が少なくフラットな画質のときに調整します。［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。

ScanGear MP の拡張モードで次のように操作します。

1 自動色調整の［リセット］をクリックします。

2 ［色調整］タブの（ブライトネス / コントラスト）をクリックします。



3 カラー画像のときは、［チャネル］で、赤、緑、青のいずれかの色の要素だけを調整するか、マスタを選んで 3 つの色の要素をまとめて調整するかを選びます。

4 ［ブライトネス］のスライダを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。［コントラスト］のスライダを左に動かすと明暗差（コントラスト）が弱まり、右に動かすと強まります。数値（-127 ～ 127）を直接入力して指定することもできます。

拡張モードー［色調整］タブーガンマ

元の原稿の明るさとパソコンのモニタ（ディスプレイ）で見る画像の明るさを近づけます。
はじめて使うときは、2.2 に設定されていますので、ガンマ値が異なるモニタを使うときは変更してください。
モニタのガンマ値を設定すると、次の計算式（モニタのガンマ値の逆数）でスキャナのガンマ値が自動的に表示されます。
1 ／モニタのガンマ値＝スキャナのガンマ値
［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。

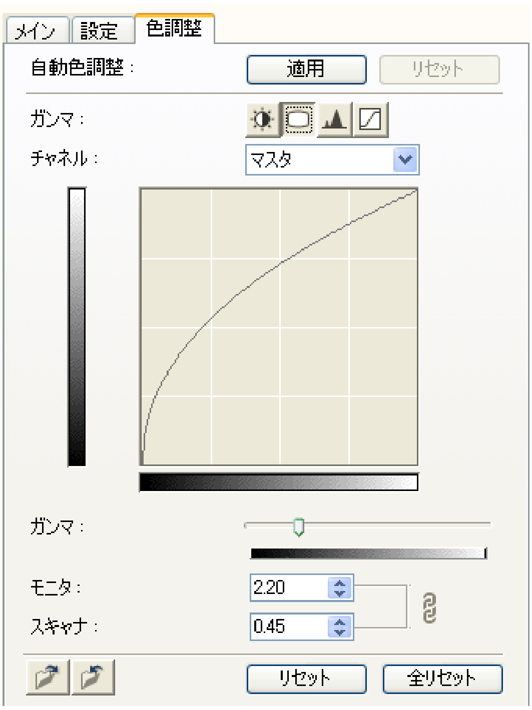
参考

- モニタは、色を再現するときの特性（ガンマ値）を持っています。一般的なモニタのガンマ値は 1.4 から 2.2 で、多少暗めに画像を再現します。したがって、元の原稿に近づけるには、ガンマ値を補正する必要があります。
- モニタのガンマ値は、モニタの取扱説明書で調べてください。記載されていないときは、製造メーカーの相談窓口などに問い合わせてください。

ScanGear MP の拡張モードで次のように操作します。

1 自動色調整の［リセット］をクリックします。

2 ［色調整］タブの （ガンマ）をクリックします。



3 カラー画像のときは、［チャネル］で、赤、緑、青のいずれかの色の要素だけを調整するか、マスタを選んで 3 つの色の要素をまとめて調整するかを選びます。

4 スライダを左に動かすと、全範囲の中間値（中間色）で表示されているコントラストが弱くなり、右に動かすと強くなります。数値(0.10〜10.00)を直接入力して指定することもできます。

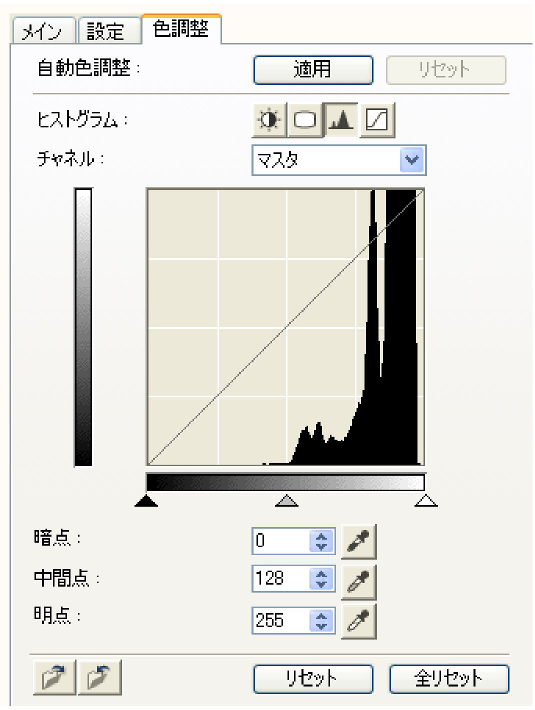
拡張モード－［色調整］タブ－ヒストグラム

どの明るさのレベルにどれだけのデータが集中しているかを見るのがヒストグラムです。画像の中のもっとも明るいレベル（ハイライト）ともっとも暗いレベル（シャドウ）を指定して、それらをカットし、中間の階調に広がりを持たせたいときに使います。
［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。

ScanGear MP の拡張モードで次のように操作します。

1 自動色調整の［リセット］をクリックします。

2 ［色調整］タブの （ヒストグラム）をクリックします。



3 カラー画像のときは、[チャネル] で赤、緑、青のいずれかの色の要素だけを調整するか、マスタを選んで 3 つの色の要素をまとめて調整するかを選びます。

4 暗点、中間点、明点をかえるときは、次のいずれかの操作をします。

■ （暗点）のスポイトボタンをクリックし、プレビュー画像でいちばん暗くしたい部分をクリックします。数値（0 ～ 245）でも指定できます。

■ （中間点）のスポイトボタンをクリックし、プレビュー画像で白と黒の中間の色にしたい部分をクリックします。数値（5 ～ 250）でも指定できます。

■ （明点）のスポイトボタンをクリックし、プレビュー画像でいちばん明るくしたい部分をクリックします。数値（10 ～ 255）でも指定できます。

■ヒストグラムの下にある三角形を適当なレベルまでドラッグします。

 より左の部分（［暗点］に指定した数値より暗い部分）は、すべて黒になります。

 の部分（［中間点］に指定した部分）は、暗点と明点のちょうど中間の色になります。

より右の部分（［明点］に指定した数値より明るい部分）は、すべて白になります。

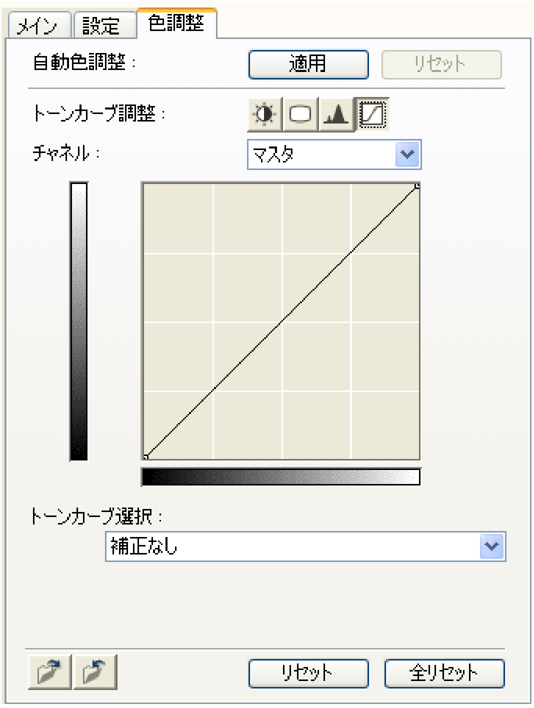
拡張モードー［色調整］タブートーンカーブ

明暗の入力と出力のバランスを示したグラフ（トーンカーブ）の種類を選択して、画像の明るさを調整します。特定の領域の明るさを、きめ細かく調整することができます。
［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに有効です。

ScanGear MP の拡張モードで次のように操作します。

1 **自動色調整の［リセット］をクリックします。**

2 **［色調整］タブの　（トーンカーブ）をクリックします。**

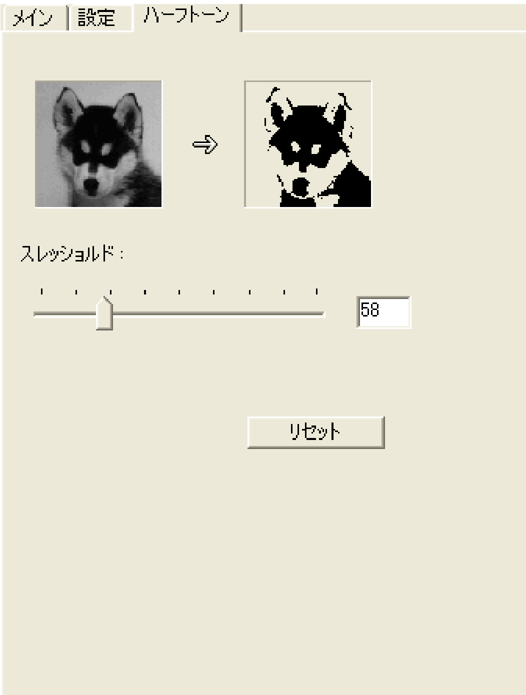


3 **カラー画像のときは、［チャネル］で赤、緑、青のいずれかの色の要素だけを調整するか、マスタを選んで 3 つの色の要素をまとめて調整するかを選びます。**

4 **［トーンカーブ選択］でトーンカーブを選びます。**

拡張モードー［ハーフトーン］タブの設定

［カラーモード］を［モノクロ］にすると、［色調整］タブが［ハーフトーン］タブにかわります。［ハーフトーン］タブでは、スレッショルドの設定ができます。



参考

カラーやグレースケールの画像は、明るさを 0 ～ 255 の数値で表現しますが、モノクロの場合は中間色の部分も、白と黒のどちらかに分けます。このときの、白と黒に分ける境をスレッショルドといいます。

スレッショルドを調節すると、文字原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させることができます。

ScanGear MP の拡張モードで次のように操作します。

1 **スライダを右にドラッグしてスレッショルドの数値を大きくすると、白になる部分が少なく（黒になる部分が多く）なり、左にドラッグして数値を小さくすると、白になる部分が多く（黒になる部分が少なく）なります。数値（0 ～ 255）を入力して直接指定することもできます。**

解像度の決めかた

MP Toolbox の各動作ボタンをクリックしたときに開く設定画面の［読み取り解像度］か、ScanGear MP の拡張モードのメインタブの［出力解像度］で指定します。

参考

読み込まれた画像のデータは、明るさや色の情報を持った点の集まりです。この点の密度を［解像度］といい、1 インチあたりの点（ドット）の数を「dpi （ドット・パー・インチ）」で表します。画像のきめ細かさや粗さは、この解像度で決まります。解像度を高く（数字を大きく）すると、きめ細かい画像になり、低く（数字を小さく）すると粗い画像になります。

原稿を読み込むときの解像度は、その画像を最終的に出力する機器（たとえばディスプレイやプリンタなど）の解像度に合わせるのが原則です。

ディスプレイに表示するとき

ディスプレイに表示する画像は、一般的なディスプレイの解像度、75dpi で読み込みます。

プリンタで印刷するとき

プリンタで印刷する画像は、そのプリンタの解像度に合わせて読み込みます。
たとえば、600dpi のモノクロプリンタで印刷する場合には［600dpi］を選びます。

参考

カラープリンタでは、何色かのインクのかけ合わせで色を表現しますので、プリンタの解像度の半分ぐらいの解像度でいいでしょう。たとえば、600dpi のカラープリンタで印刷するときは、［300dpi］でいいでしょう。

拡大／縮小して印刷するとき

たとえば、縦横の長さを 2 倍に拡大して印刷すると、実質上の解像度は半分になります。元の画像の解像度が 300dpi であれば、拡大した画像の解像度は 150dpi になります。これを 600dpi のカラープリンタで印刷すると、粗さが目立つ可能性があります。このようなときに、600dpi で読み込んでおけば、2 倍に拡大すると 300dpi になり、十分な品質で印刷できます。逆に、半分に縮小して印刷するときは、半分の解像度で十分です。

解像度とデータ容量

解像度を 2 倍にすると、読み込んだ画像データの容量は 4 倍になります。データ容量があまり増えると、処理速度が極端に遅くなったり、メモリが不足するなどの不都合が生じます。解像度は、使用目的に合わせて、必要最小限に設定してください。

WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）

WIA ドライバの画面で次のように操作してください。
WIA ドライバを表示する方法 → 「アプリケーションから画像を読み込む」

重要

無線 LAN 接続の場合、WIA ドライバは使用することができません。



1 原稿をどのような画像として読み込むかによって、［カラー画像］、［グレースケール画像］、［白黒画像またはテキスト］のいずれかをクリックします。

細かく指定したいとき → 「WIA ドライバで細かい設定をする」

2 プレビュー（仮読み込み）するときは、［プレビュー］をクリックします。
右側にプレビューした画像が表示されますので、■ をドラッグして読み込み範囲を指定してください。

3 ［スキャン］をクリックします。

「スキャナとカメラ」から読み込む（USB 接続のみ）

1 タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロール パネル］をクリックします。

2 ［プリンタとその他のハードウェア］→［スキャナとカメラ］を順にクリックし、［WIA Canon MP375］をダブルクリックします。

3 ［スキャナとカメラ ウィザード］が表示されますので、画面の指示にしたがって操作を進めてください。

WIA ドライバで細かい設定をする

WIA ドライバの画面で次のように操作してください。

→「WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）」

1 ［スキャンした画像の品質の調整］をクリックします。

［スキャナとカメラ ウィザード］から操作した場合は、［カスタム設定］をクリックします。



2 ［詳細プロパティ］画面で、読み込みの設定をします。

■［画像の種類］で、原稿をどのような画像として読み込むかを選びます。

■スライダを動かして明るさを調整します。スライダを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。数値（-127 ～ 127）を入力することもできます。

■カラーまたはグレースケールの画像のときは、スライダを動かしてコントラストを調整します。スライダを左に動かすとコントラストは弱まり、右に動かすと強くなります。数値（-127 ～ 127）を入力することもできます。

■解像度を入力します。50 ～ 600dpi の数値を指定できます。

→「解像度の決めかた」

■元の設定に戻すときは、［リセット］をクリックします。

3 ［OK］をクリックすると、指定した読み込みの設定が有効になり、［詳細プロパティ］画面が閉じます。
［キャンセル］をクリックすると、指定した読み込みの設定は無効になり、［詳細プロパティ］画面が閉じます。

→「WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）」

4

MP Network Utility

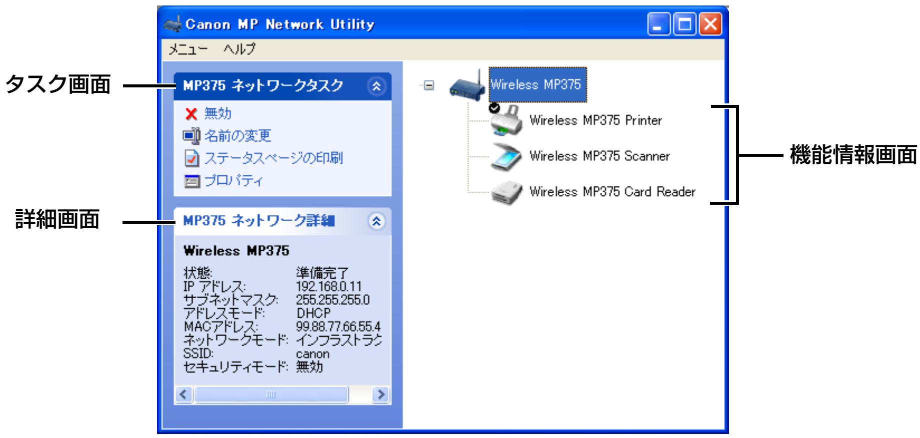
4章 MP Network Utility

MP Network Utility の機能

無線 LAN 接続で本機のプリンタ、スキャナ、メモリカード（ストレージデバイス）の各機能を使用できるようにするには、MP Network Utility をパソコン上で動作させておく必要があります。通常、MP Network Utility は、Windows を起動したときに、自動的に起動します。
MP Network Utility を使って、各機能の設定を変更したり、状態を確認することができます。MP Network Utility コンソールを表示させるには、タスクバーの［Canon MNU］アイコンを右クリックし、［コンソール］をクリックするか、アイコンをダブルクリックします。

重要

Windows 2000/XP で設定を変更するときは、Administrator または管理者としてログオンするか、Administrator 権限が必要です。



機能情報画面

この画面では、本機の無線 LAN 接続、プリンタ、スキャナ、メモリカード（ストレージデバイス）の各機能がアイコンで表示されます。電源が入っていないなど、機能が使用できない状態のときは、アイコンが薄く表示されます。

タスク画面

タスク画面では、機能情報画面で表示されている各機能に対するタスクコマンドが表示されます。［^］/［v］をクリックするとタスク画面の表示／非表示を切り替えることができます。機能情報画面の［Wireless MP375 Printer］アイコンと［Wireless MP375 Card Reader］アイコンを右クリックしても、タスクコマンドを表示させることができます。

詳細画面

詳細画面では、無線ネットワーク設定の情報や、選択されている機能の状態などが表示されます。［Wireless MP375］を選択した場合は、無線ネットワークの設定情報が表示されます。/ をクリックすると詳細画面の表示／非表示を切り替えることができます。

タスクバーのアイコンでできること

MP Network Utility が動作していることを確認する

［Canon MNU］アイコンが Windows のタスクバーに表示されていることを確認してください。



タスクバーに［Canon MNU］アイコンが表示されていない場合は、［スタート］ボタンから［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MP Network Utility］をクリックします。

MP Network Utility コンソールを開く

1 **［Canon MNU］アイコンを右クリックし、［コンソール］をクリックするか、アイコンをダブルクリックします。**

MP Network Utility コンソールが開きます。

MP Network Utility を終了する

1 **［Canon MNU］アイコンを右クリックします。**

2 **［終了］をクリックします。**

警告画面が表示されます。［OK］をクリックすると、MP Network Utility が終了します。

重要

タスクバーから MP Network Utility を終了した後で、本機の設定が変更されると、無線 LAN 接続と本機の各機能が利用できなくなります。MP Network Utility を再起動するまで、印刷やスキャンができなくなり、また、メモリカードも使用できません。

MP Network Utility コンソールでできること

基本のタスクを使う

ここでは、MP Network Utility の基本のタスクについて説明します。

無線 LAN 接続の設定情報を見る

1 機能情報画面で、[Wireless MP375] アイコンをクリックします。

設定情報が詳細画面に表示されます。最新の設定情報を表示するには、メニューで [更新] をクリックします。

テストページを印刷する

1 機能情報画面で、[Wireless MP375 Printer] アイコンをクリックします。

2 タスク画面の [テストページの印刷] をクリックします。

参考

タスクバーの [スタート] ボタンから、[設定] → [プリンタ]（Windows XP のときは、[スタート] ボタンから、[プリンタと FAX]）をクリックして、本機のアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で、[テストページの印刷]（Windows 98/Me のときは [印字テスト]）をクリックして印刷することもできます。

プリンタの印刷設定をする

1 機能情報画面で、[Wireless MP375 Printer] アイコンをクリックします。

2 タスク画面の [プロパティ] をクリックします。

3 プリンタのプロパティまたは印刷設定画面で印刷設定を行います。→「印刷するすべての文書の設定をする」

参考

タスクバーの [スタート] ボタンから、[設定] → [プリンタ]（Windows XP のときは、[スタート] ボタンから、[プリンタと FAX] ）をクリックして、本機のアイコンを右クリックし、[印刷設定]（Windows 98/Me のときは [プロパティ]）から行うこともできます。

通常使うプリンタに設定する

MP ドライバのインストール完了後、本機が「通常使うプリンタ」に設定されないことがあります。「通常使うプリンタ」に設定したいときは、必ず次の操作をしてください。

1 **機能情報画面で、[Wireless MP375 Printer] アイコンをクリックします。**

2 **タスク画面の [通常使うプリンタに設定] をクリックします。**

参考

- 他に利用可能なプリンタがない場合は、通常使うプリンタの設定をすることができません。
- タスクバーの [スタート] ボタンから、[設定] → [プリンタ] (Windows XP のときは、[スタート] ボタンから、[プリンタと FAX]) をクリックして、本機のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] を選んで設定することもできます。

設定情報を印刷する

ステータスページには、本機のネットワーク設定や、プリンタ名などの情報が印刷されます。

1 **機能情報画面で、[Wireless MP375] アイコンをクリックします。**

2 **タスク画面の [ステータスページの印刷] をクリックします。**

3 **[印刷] 画面で本機のアイコンを選び、[印刷] をクリックします。**

参考

- プリンタやスキャナの動作中は、それぞれのアイコンの上に矢印が表示されます。
- 問題を解決するときに、無線 LAN 接続の設定情報が必要になることがあります。

無線 LAN 接続を有効または無効にする

ネットワーク上に複数の無線 LAN 接続された MP375R が存在する場合、使用しないものを無効にすることができます。

1 **機能情報画面で、[Wireless MP375] アイコンをクリックします。**

2 **タスク画面の [無効] をクリックします。**

[このデバイスをアンインストールします。よろしいですか？] と表示されたら、[はい] をクリックしてください。

参考

- この操作を行っても MP ドライバは削除されません。
- [Wireless MP375] アイコンは薄く表示されます。

3 再び接続を有効にするには、タスク画面の［有効］をクリックします。

本機の名前を変更する

利用可能な無線 LAN 接続された MP375R が複数存在する場合に、設置場所を名前に入れるなど、区別しやすい名前を付けることができます。

1 機能情報画面で、[Wireless MP375] アイコンをクリックします。

2 タスク画面の［名前の変更］をクリックします。

3 本機の名前を変更します。

参考

- 本機の名前として入力できるのは半角 31 文字までです。
- プリンタ名の変更は、[プリンタ]（Windows XP のときは［プリンタと FAX]）フォルダから行ってください。変更すると、MP Network Utility コンソールにも同じプリンタ名が表示されます。

接続していない MP375R を削除する

無線 LAN 機能が使用できなくなった場合、各機能のアイコンが薄く表示され［Wireless MP375] アイコンを削除することができます。削除すると、接続されているプリンタ、スキャナ、メモリカードの各アイコンも削除されます。無線 LAN 機能が使用可能な状態になると、各アイコンが自動的にリストに再表示されます。

1 機能情報画面で、[Wireless MP375] アイコンをクリックします。

2 タスク画面の［削除］をクリックします。

［このデバイスを削除します。よろしいですか？］と表示されたら、[はい] をクリックしてください。

参考

この操作を行っても MP ドライバは削除されません。

ネットワーク上の MP375R を検知する

ネットワークに新しく MP375R を追加した場合や、本機をセットアップするときに無線 LAN 接続の設定をせずに MP ドライバだけインストールした場合、MP Network Utility を使ってネットワーク上の MP375R を検知することができます。

1 **メニューで、[更新] をクリックします。**

重要

検知中に本機の電源を切ったり入れたりしないでください。故障する恐れがあります。

参考

- ネットワークに別の MP375R が追加された場合、自動的に検知するように設定することもできます。→「2 台目以降の MP375R を追加するときの設定をする」
- ネットワーク上にあるはずの MP375R が検知されない場合は、「インストールする前の準備」を参照して設定を確認してください。

MP Network Utility コンソールを終了する

1 **メニューで、[閉じる] をクリックします。**

参考

MP Network Utility コンソールを終了しても、MP Network Utility の起動中は [Canon MNU] アイコンがタスクバーに表示されたままになります。MP Network Utility を終了したい場合は、タスクバーの [Canon MNU] アイコンを右クリックし、[終了] をクリックします。

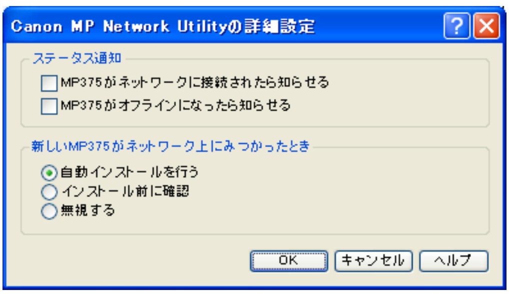
その他のタスクを使う

ここでは、設定の問題点を調べるときなどに使用するタスクについて説明します。

2 台目以降の MP375R を追加するときの設定をする

ここでは、ネットワークに 2 台目以降の MP375R を追加したときや接続を切断したときに、どのようにパソコンに処理させるかを設定します。

1 **メニューで、[詳細設定] をクリックします。**



ステータス通知

ネットワーク上で MP375R が見つかったり接続が切断されたりした場合、通知するかどうかを設定します。Windows 98 をお使いの場合は、通知する設定にしても通知されません。

●MP375 がネットワークに接続されたら知らせる
　MP375R がネットワーク上で見つかった場合に通知します。

●MP375 がオフラインになったら知らせる
　MP375R との無線 LAN 接続が切断された場合に通知します。

新しい MP375 がネットワーク上にみつかったとき

ネットワーク上でMP375Rが見つかった場合、パソコンに自動的にドライバをインストールするかどうかを設定します。

●自動インストールを行う
　パソコンに自動的にドライバをインストールします。この場合、セットアップCD-ROMは必要ありません。

●インストール前に確認
　パソコンにドライバをインストールする前に、確認のメッセージを表示します。

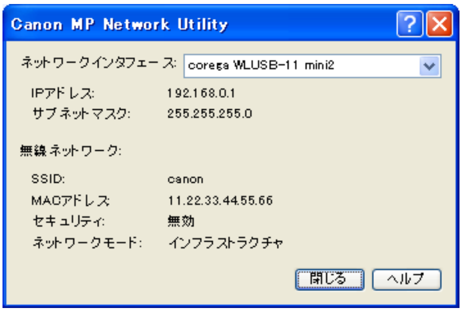
●無視する
　ネットワーク上で MP375R が見つかっても、自動的にドライバをインストールしません。

2 [OK］をクリックします。

パソコンのネットワーク設定を確認する

1 メニューで、［ネットワーク設定］をクリックします。

パソコンに複数の LAN カード / アダプタが装着されているときは、［ネットワークインタフェース］から、本機と接続されている無線 LAN カード / アダプタを選びます。



2 ［閉じる］をクリックします。

重要

ネットワーク設定の問題を調べる場合、この設定を確認する必要があります。

本機の IP アドレス、SSID（ESSID）、セキュリティを変更する

1 機能情報画面で、［Wireless MP375］アイコンをクリックします。

2 タスク画面の［プロパティ］をクリックします。

3 ［設定］タブで、次のいずれかの操作を行います。

固定 IP アドレスを使用する場合：

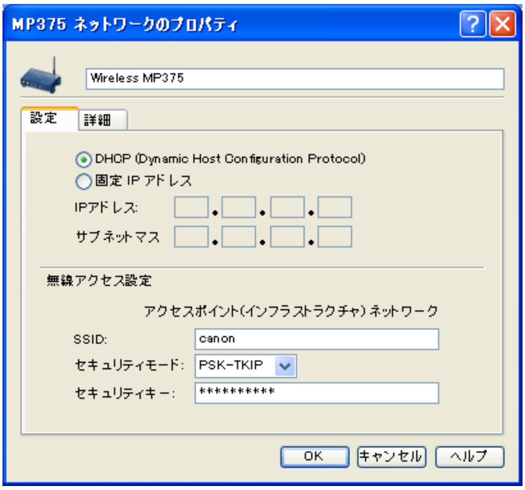
○ ［固定 IP アドレス］を選択し、［IP アドレス］と［サブネットマスク］に適切な情報を入力します。

SSID（ESSID）を変更する場合（インフラストラクチャモードのみ）：

○ ［SSID］に、適切な SSID（ESSID）を入力します。

セキュリティを有効にする場合（インフラストラクチャモードのみ）：

○ ［セキュリティモード］で、セキュリティモードを選択します。次に、［セキュリティキー］に適切なキーを入力します。



無線 LAN カード / アダプタや無線アクセスポイントの設定と同じものを設定してください。

重要

- 固定 IP アドレスを使用する場合は、無線アクセスポイントやパソコンと同じネットワークの IP アドレスを登録してください。例えば、ネットワークで使用している IP アドレスが XXX.XXX.XXX.YYY の場合、無線アクセスポイントとパソコンの IP アドレスも XXX.XXX.XXX の部分を同じに設定してください。サブネットマスクは、XXX.XXX.XXX の部分をそれぞれ「255」に設定（255.255.255.0）してください。
- SSID（ESSID）を設定するとき、半角大文字・小文字を間違えないように注意して下さい。
- [セキュリティキー］には、[セキュリティモード］で［WEP 64bit］または［WEP 128bit］を選んだ場合には 16 進数でのみ入力可能です。[WEP 64bit］を選んだ場合は 10 桁の、[WEP 128bit］を選んだ場合は 26 桁の「0」～「9」および「a」～「f」までの半角英数字で WEP キーを入力します。
- [セキュリティキー］には、[セキュリティモード］で［PSK-TKIP］を選んだ場合は文字列でのみ入力可能です。8 ～ 63 文字の半角英大文字、半角英小文字、数字、記号で暗号化キーを入力します。

4 [OK］を押します。

重要

- 設定を変更すると本機の機能が使えなくなります。本機の設定を変更した場合は、お使いのパソコンまたは無線 LAN カード / アダプタ、無線アクセスポイントにも同様の設定を行ってください。
- パソコンと無線アクセスポイントの WEP キーインデックスは「1」に設定してください。

参考

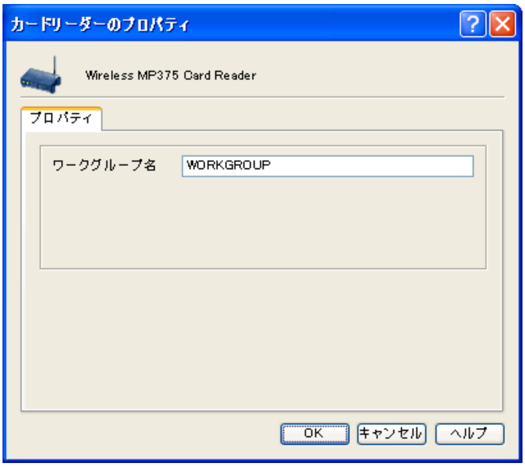
［詳細］タブにはネットワークアダプタのファームウェアのバージョン情報が表示されます。これは問題を解決するときに必要になることがあります。

メモリカードのワークグループ名を変更する

1 機能情報画面で、[Wireless MP375 Card Reader] アイコンをクリックします。

2 タスク画面の [プロパティ] をクリックします。

3 [ワークグループ名] にワークグループ名を入力します。



4 [OK] を押します。

参考

- ワークグループ名として入力できるのは半角 15 文字までです。また、「: ; " ＜ ＞ * ＋ ＝ ¥ ｜ ? ,」の文字は使えません。
- Windows の設定でワークグループ名を変更していない場合は、変更する必要はありません。初期設定のワークグループ名が表示されます。

索引

お

か

き

く

け

こ

さ